

西郷村
地域福祉に関するアンケート調査報告書

令和6年3月

目 次

1. 調査概要	1
2. 回答者の属性等	2
3. 住んでいる地域のこと、地域との関わりなど	6
4. 地域での福祉活動・ボランティアに関すること	31
5. 西郷村社会福祉協議会	41
6. 暮らしのこと・災害時のことなど	45
7. 再犯防止	48
8. 墓地に関すること	55
9. 福祉サービス等	73

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、地域福祉に関する村民の生活実態や要望などを把握し、令和6年度からの「第1期西郷村地域福祉計画・西郷村地域福祉活動計画」の策定に反映するため実施する。

(2) 実施要領

基準日：令和5年12月1日

対象者：18歳以上の村民3,000人を無作為に抽出

調査方法：郵送により配布・回収（無記名式による回答）

調査期間：令和5年12月11日～12月25日

(3) 回答状況

配布数	回収数	回収率
3,000 件	897 件	29.9%

(4) 報告書の見方

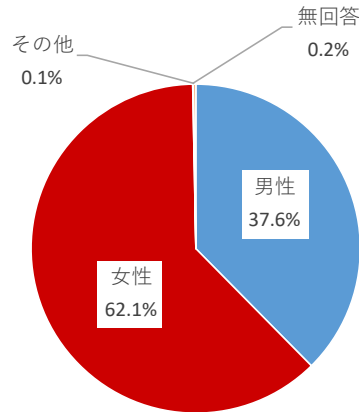
集計値は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位で表記しており、数値の合計が100.0%にならない場合がある。母数となる実数はN（number of cases の略）で表示している。複数回答の比率は合計して100.0%を超えることがある。

2. 回答者の属性等

問1 宛名のご本人の性別をお答えください。

全体では「女性」が62.1%、「男性」が37.6%と「女性」が半数以上を占めている。

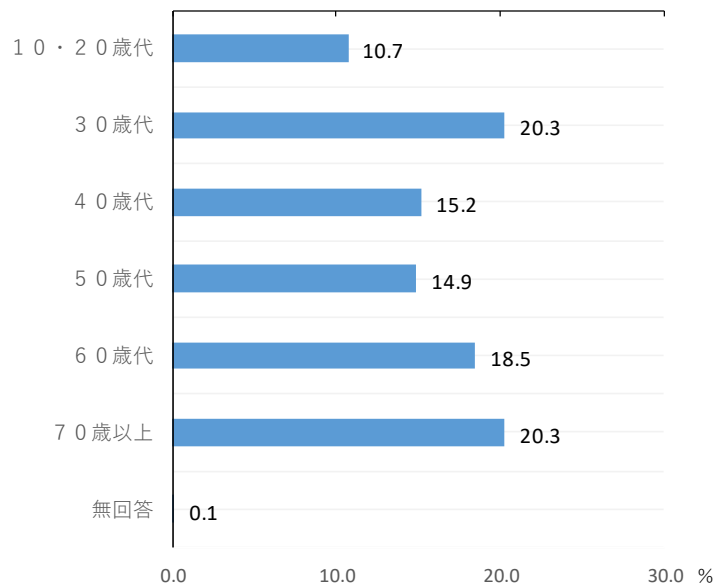
問1. 性別



問2 あなたの年代をお答えください。

全体では「30 歳代」と「70 歳以上」が20.3%と高く、「60 歳代」が18.5%、「40 歳代」が15.2%、「50 歳代」が14.9%と続く。「10・20 歳代」は10.7%と最も低くなっている。

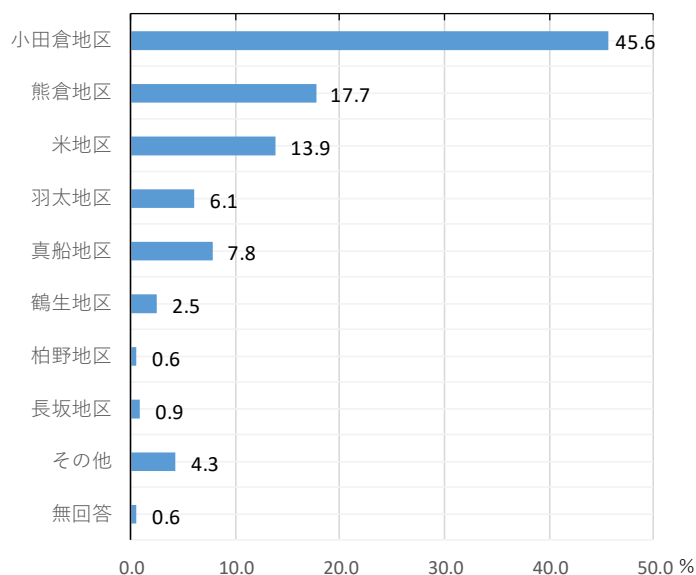
問2. 年代



問3 あなたが住んでいる地区はどこですか。

全体では「小田倉地区」が 45.6%と半数以上を占め、「熊倉地区」が 17.7%、米地区が 13.9%と、全体と比べて多くなっている。

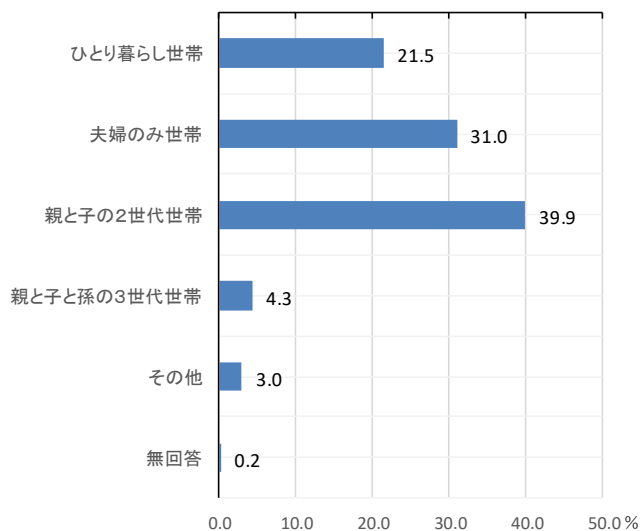
問3. 居住地区



問4 あなたの世帯は次のどれですか。

全体では「親と子の2世代世帯」が 39.9%と最も多く、「夫婦のみ世帯」が 31.0%、「ひとり暮らし世帯」が 21.5%と続く。

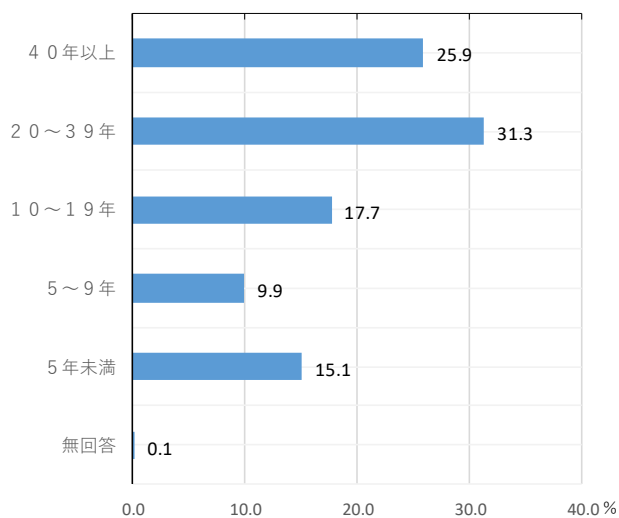
問4. 世帯構成



問5 あなたは、西郷村に住んで何年になりますか。

全体では「20～39年」が31.3%、「40年以上」が25.9%とそれぞれ多い。

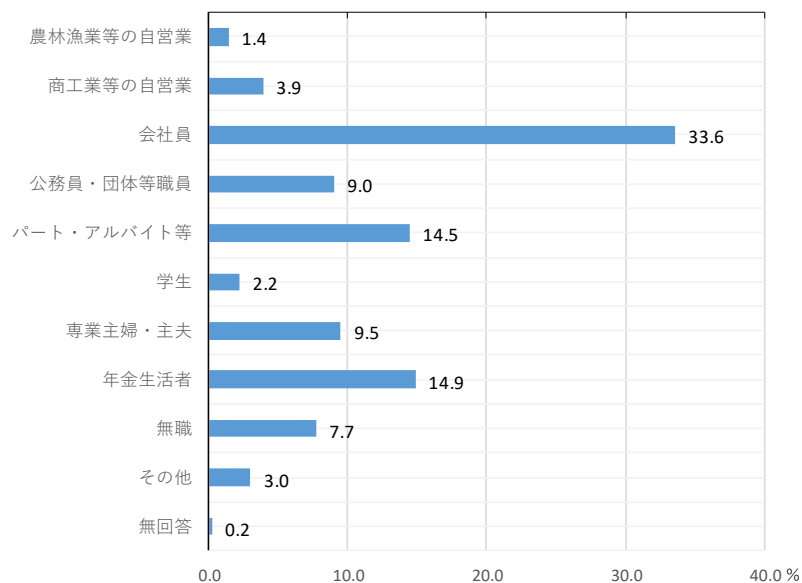
問5. 居住年数



問6 あなたの職業は次のどれですか。

全体では「会社員」が33.6%と最も多く、「年金生活者」が14.9%、「パート・アルバイト等」が14.5%とそれぞれ多い。最も少ないのが「農林漁業等の自営業」で、1.4%となっている。

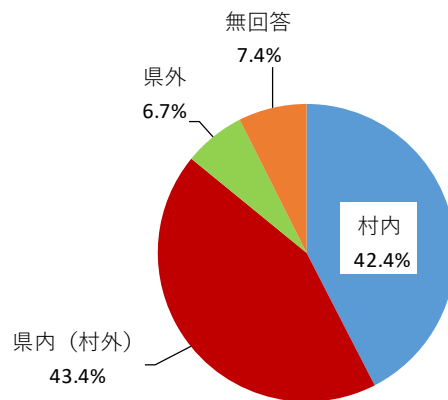
問6. 職業



問6-1 【前問で1.～6.を回答した方】あなたの通勤・通学先はどこですか。

全体では「県内（村外）」が43.4%、「村内」が42.4%と、85%以上が福島県内に通勤・通学をしている。

問6-1. 通勤・通学先



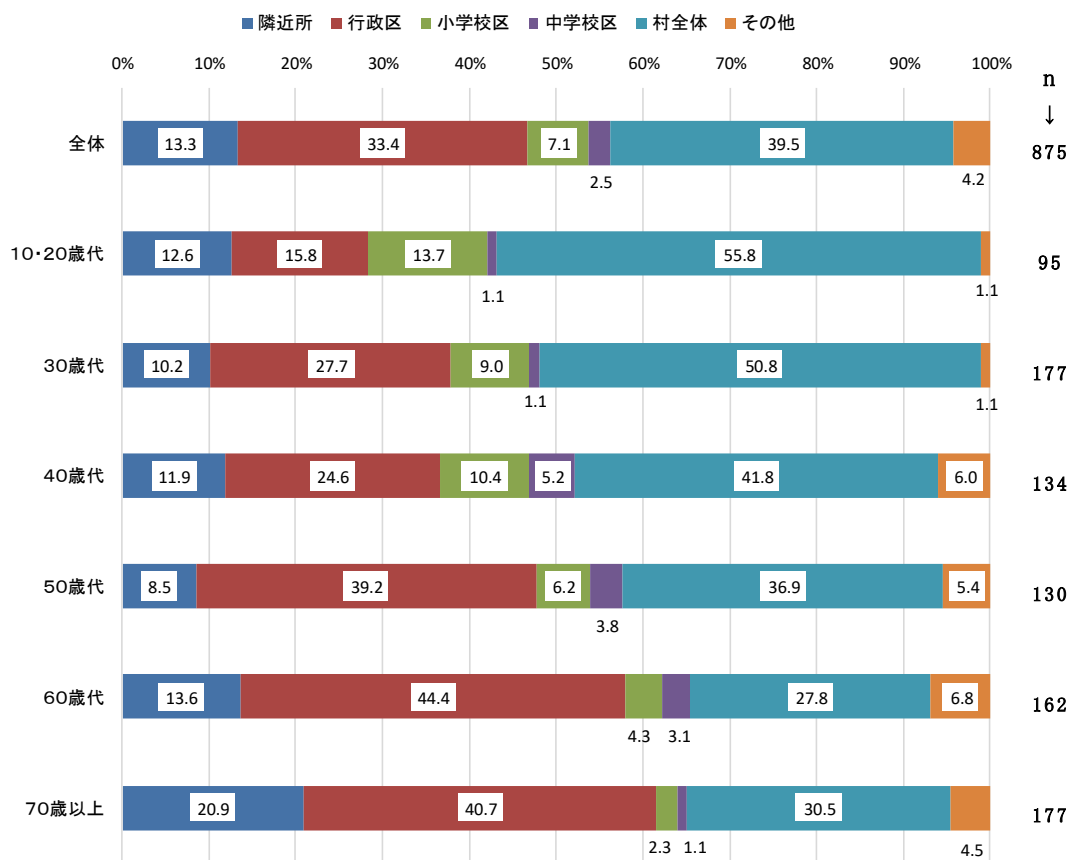
3. 住んでいる地域のこと、地域との関わりなど

問7 あなたが考える「生活上の地域」は、どの範囲のことをいいますか。

全体では「村全体」が 39.5%と最も多く、「行政区」が 33.4%、「隣近所」が 13.3%と続いている。

年代別では「村全体」と回答したのは 10・20 歳代が 55.8%と最も多く、年代が上がるにつれて減少する傾向にある。「行政区」と回答したのは 60 歳代が 44.4%、70 歳以上が 40.7%とそれぞれ多い。

問2. 年代×問7.「生活上の範囲」の認識

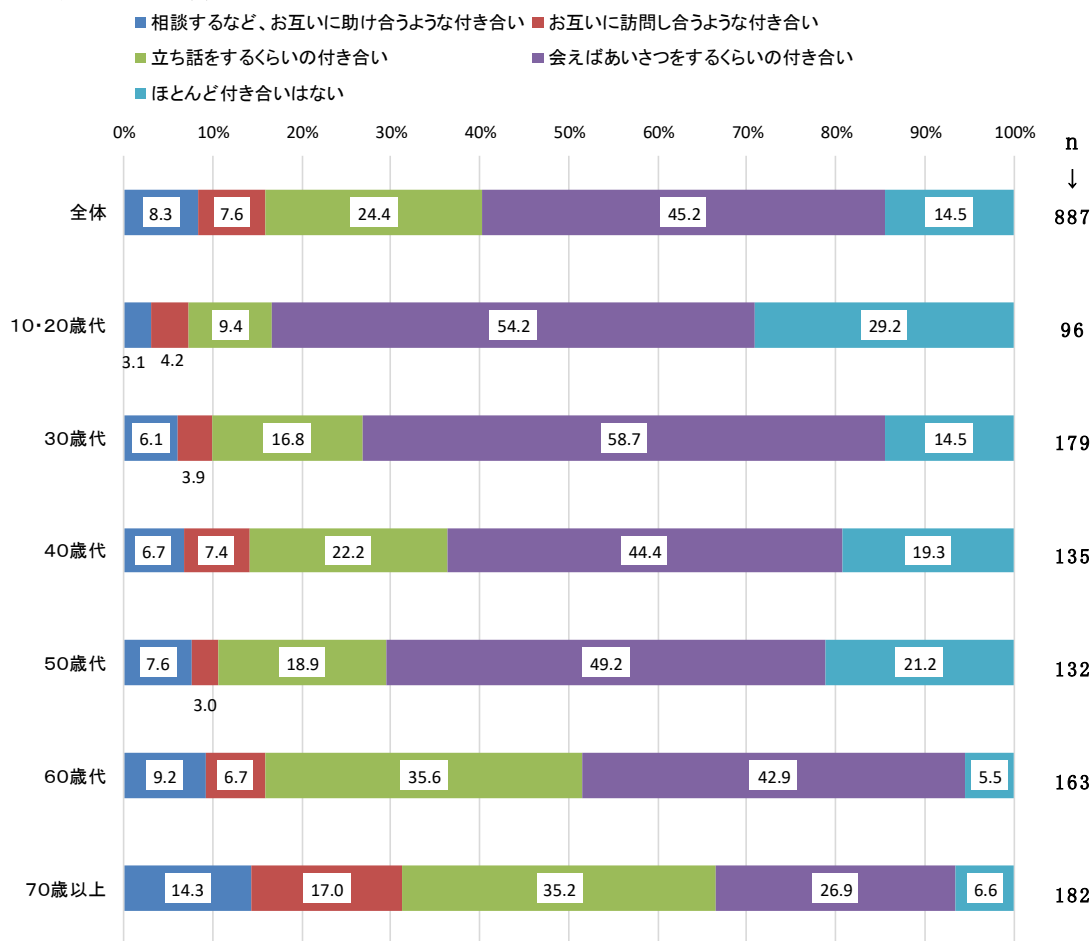


問8 あなたの世帯では、近所付き合いをどの程度されていますか。

全体では「会えばあいさつをするくらいの付き合い」が45.2%と最も多く、次いで「立ち話をするくらいの付き合い」が24.4%と多い。一方、「ほとんど付き合いはない」は14.5%となっている。

年代別では「会えばあいさつをするくらいの付き合い」と回答したのは30歳代が58.7%と最も多く、次いで10・20歳代が54.2%と多い。「立ち話をするくらいの付き合い」は60歳代が35.6%と最も多く、世代が下がるにつれて現象する傾向にある。「ほとんど付き合いはない」と回答したのは10・20歳代が最も多く、29.2%である。

問2. 年代×問8. 近所付き合いの程度



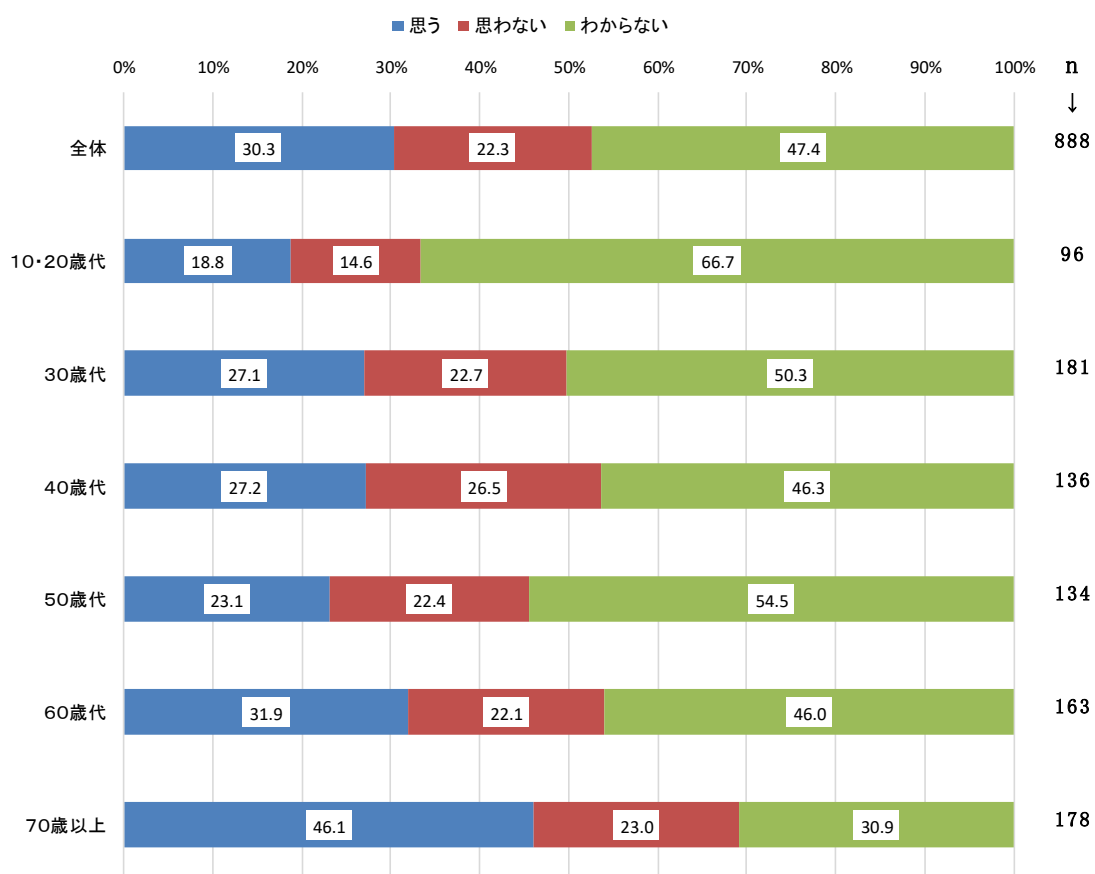
問9 あなたの身近な地域についてうかがいます。

① あなたの住んでいる地域は、まとまりがある方だと思いますか。

全体では「わからない」が47.4%と半数近くを占めている。「思う」は30.3%、「思わない」は22.3%となっている。

年代別では「わからない」と回答したのは10・20歳代が66.7%と最も多く、次いで50歳代が54.5%と多い。「思う」と回答したのは70歳以上が最も多く、46.1%となっている。

問2. 年代×問9①. 地域のまとまりの有無

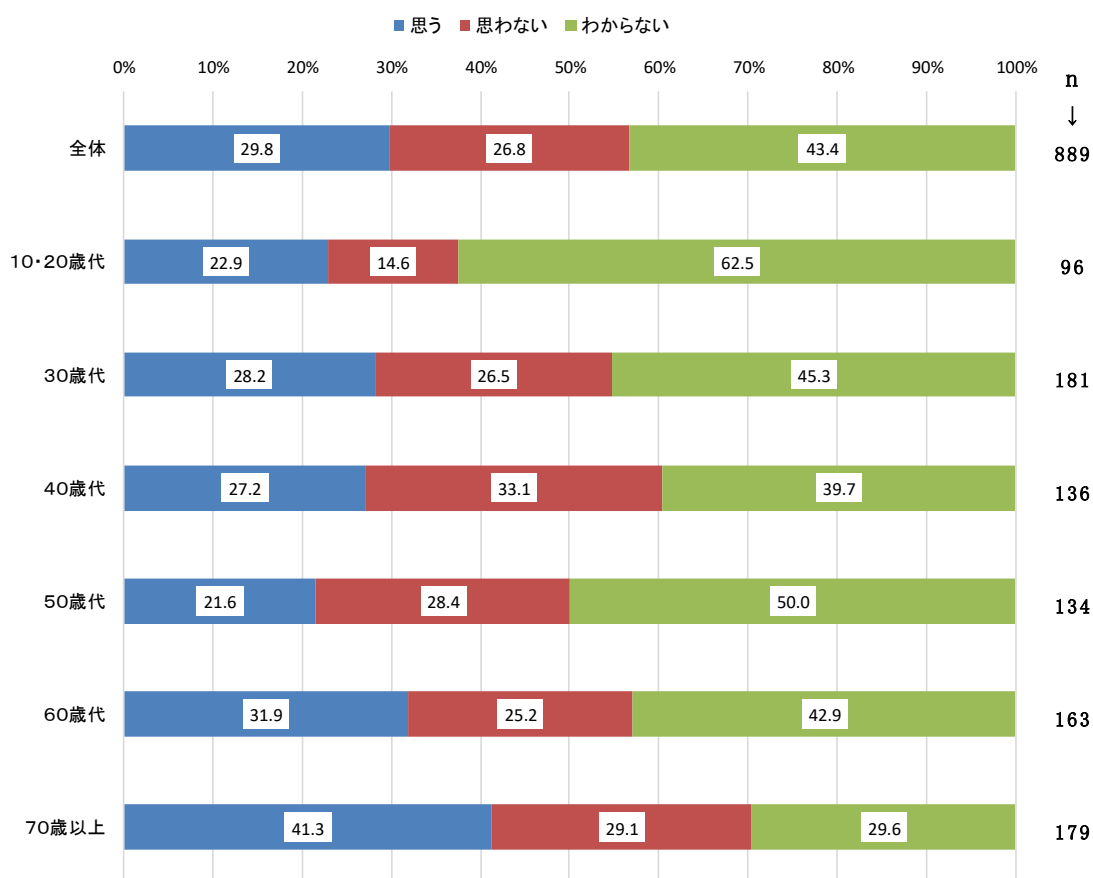


② あなたの住んでいる地域では、声かけや支え合い活動がみられますか。

全体では「わからない」が43.4%と最も多く、「思う」は29.8%、「思わない」は26.8%となっている。

年代別では「わからない」と回答したのは10・20歳代が62.5%と最も多く、次いで50歳代が50.0%と多くなっている。「思う」と回答したのは70歳以上が最も多く、41.3%となっている。

問2. 年代×問9②. 声かけや支え合い活動の有無

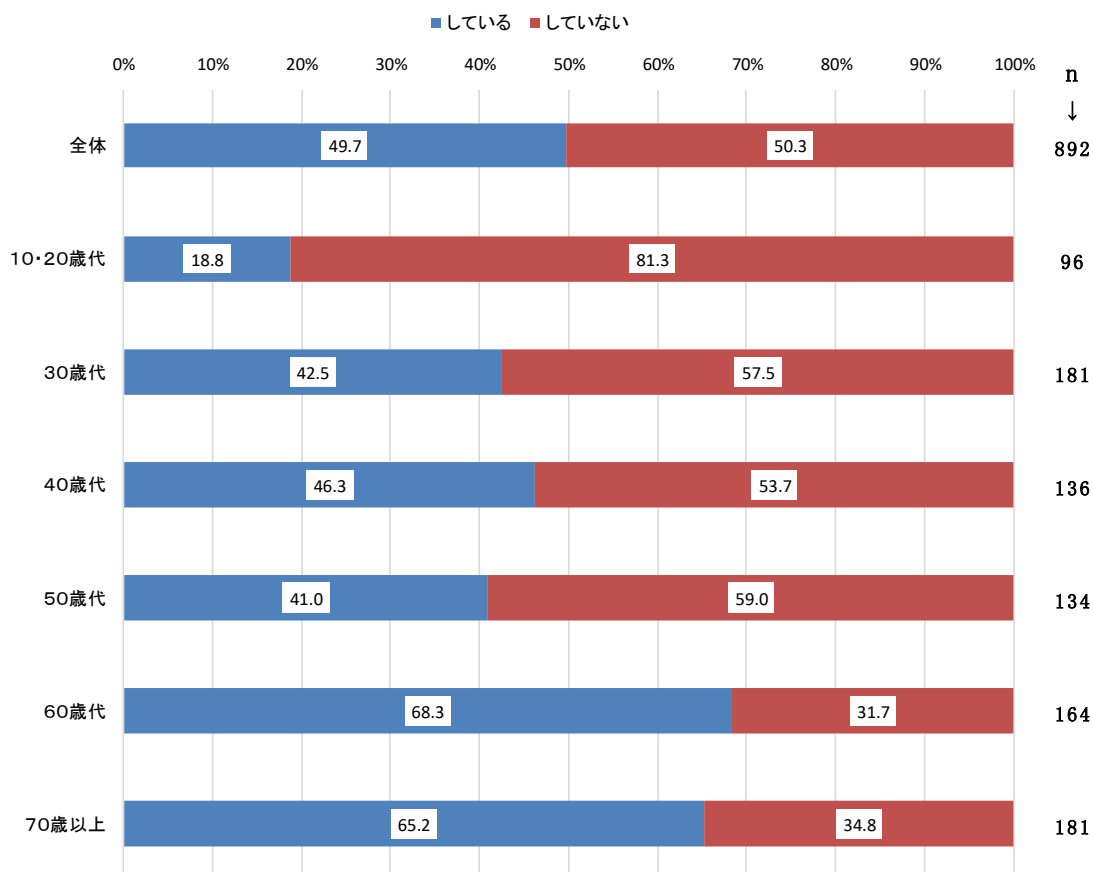


③ あなたは地域の行事や活動などに参加・協力していますか。

全体では「している」が49.7%、「していない」が50.3%となっている。

年代別では「している」と回答したのは60歳代が68.3%と最も多く、次いで70歳以上が65.2%と多い。一方、10・20歳代は「していない」と回答した人が81.3%に上る。

問9③. 地域の行事・活動への参加・協力有無 × 問2. 年代

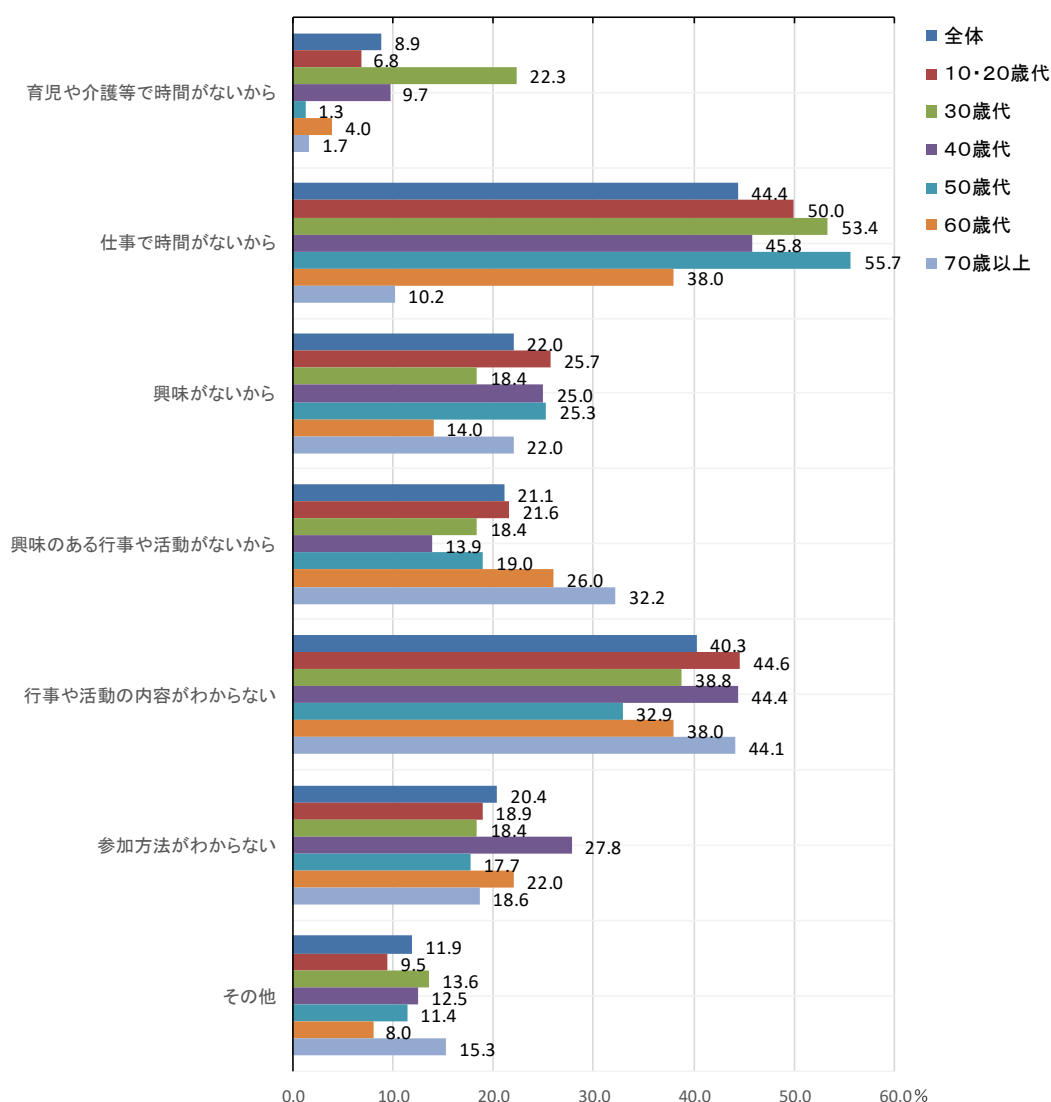


問9-1 【前問③で2.を回答した方】参加・協力していない主な理由は何ですか。

全体では「仕事で時間がないから」が44.4%と最も多く、「行事や活動の内容がわからない」が40.3%、「興味がないから」が22.0%、「興味のある行事や活動がないから」が21.1%、「参加方法がわからないから」が20.4%と続いている。

年代別では「仕事で時間がないから」と回答したのは50歳代で55.7%と最も多く、30歳代で53.4%、10・20歳代で50.0%と続く。「行事や活動の内容がわからない」と回答したのは10・20歳代が最も多く、44.6%だった。

問2. 年代×問9-1. 参加・協力していない理由

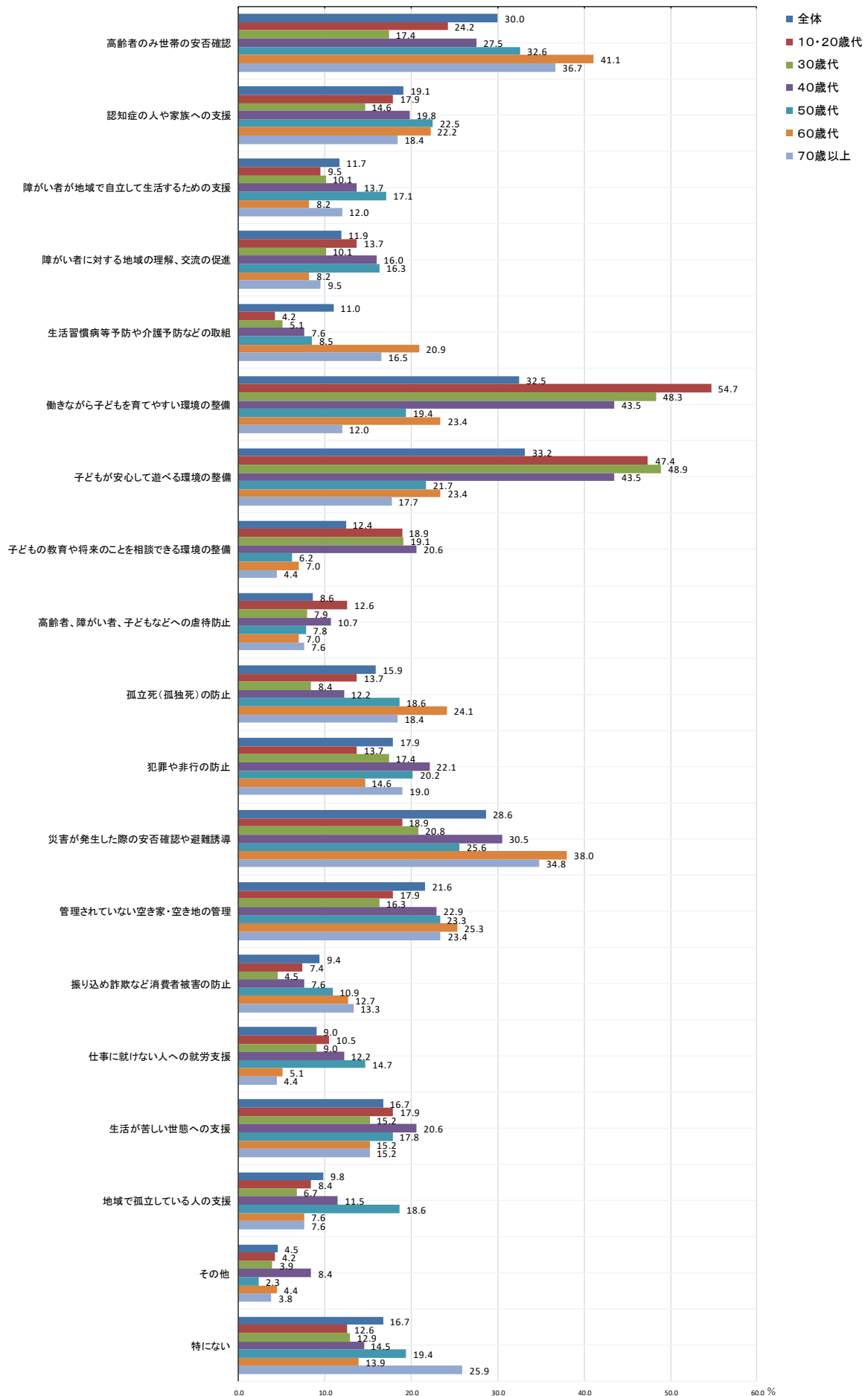


問 10 現在、あなたの住んでいる地域で優先的に解決すべきと思う課題はありますか。

全体では「子どもが安心して遊べる環境の整備」が 33.2%と最も多く、「働きながら子どもを育てやすい環境の整備」が 32.5%、「高齢者のみ世帯の安否確認」が 30.0%、「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」が 28.6%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「働きながら子どもを育てやすい環境の整備」と回答した人が 10・20 歳代で 54.7%と最も多く、次いで 30 歳代が 48.3%と多くなっている。一方、「子どもが安心して遊べる環境の整備」と回答した人は 30 歳代が 48.9%と最も多く、10・20 歳代で 47.4%だった。

問2. 年代×問10. 優先的に解決すべき課題



「その他」回答者については経済・福祉関係の支援体制の充実を求める声が最も多く、子どもの遊び場の充実や保全に関する意見も多く見られた。

居住地域における優先課題

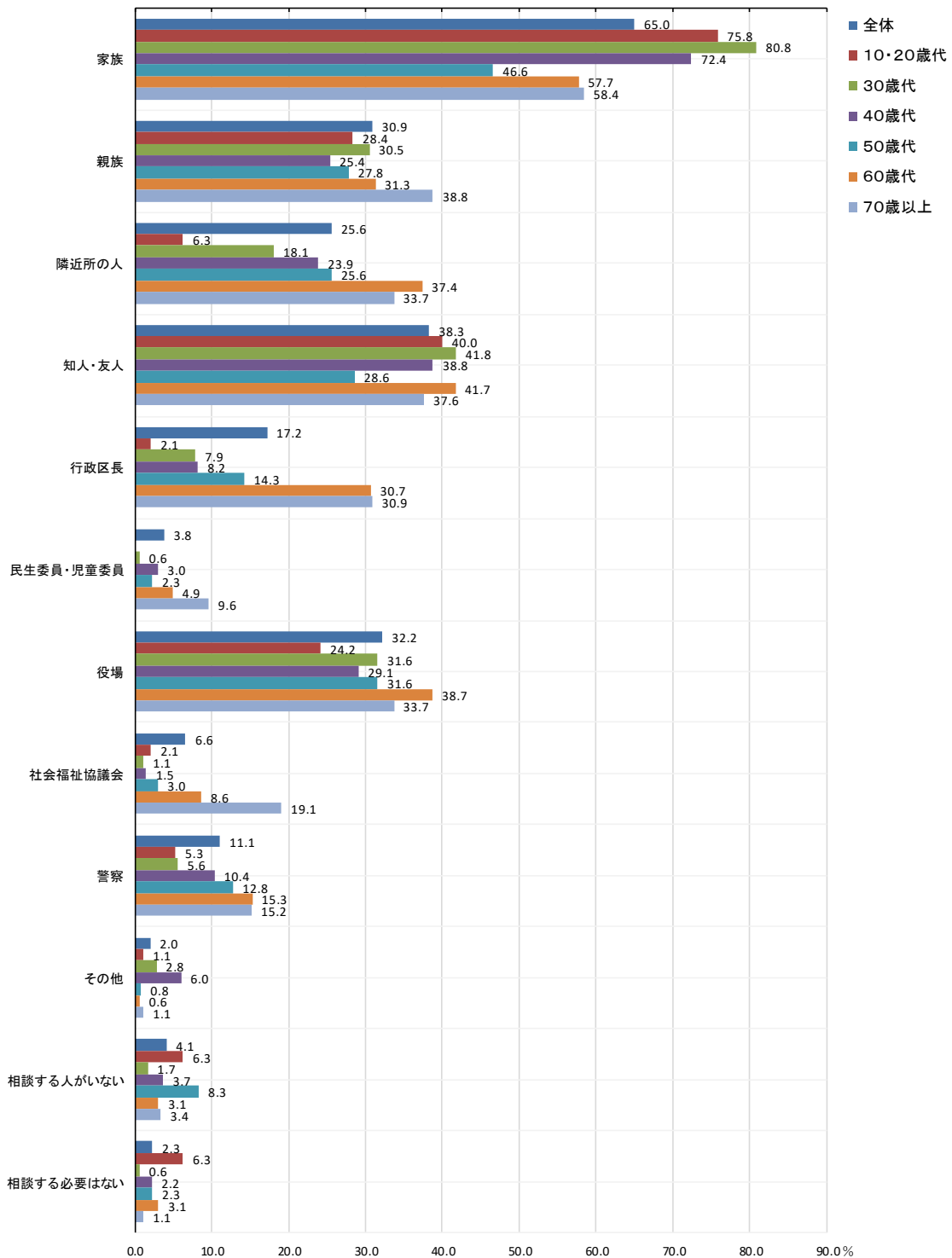
順位	内容	件数
1位	支援体制の充実	41
	・物価高対策として近隣市町村では給付金やクーポン券など、季節ごとの給付等を行っている様子が見られます。西郷村でも、全世帯に給付金、クーポン券等を配分してもらえたらと思います。 ・高齢者のみの家庭が増えてきているため安心して入所できる介護施設を増やしてほしいです。 ・障害者が働ける場所がない。	
2位	遊び場の充実・保全	33
	・公園など、子どもだけで安全に遊べる環境がほしい。 ・家がどんどん建っているわりに公園が少ない。子供の遊べる場所がない。 ・中高校生の遊ぶ場所がほぼない。小学生等が遊ぶ場所や環境はあるが、「そりゃ若者出ていくわ」と思う。	
3位	子育て環境	24
	・保育園に入れないことがある(定員オーバー)。 ・将来を考えて、子育て世代及び子どもに対する問題への対応は必要。 ・子供が遊べる場所(遊具ありの室内室外も)と小児科が増えてくれたら嬉しい。	
4位	高齢者・障害者の見守り強化	21
	・身近で独居のご高齢の方が部屋で亡くなった事があったので安否確認体制が必要。 ・自宅の向かいの家の方が孤独死しました。行政区にも加入しておらず、亡くなった事もしばらく分かりませんでした。家はそれ以後空き家になっていて、心配しています。 ・各地区の中で高齢者のみの世帯を把握し、組長、区長等が安否確認する。様子を見に行く等の関わりがあると良い。	
5位	空き家・空き地問題	15
	・空き地の草刈りが負担になっている。 ・隣の家が空き家で、すぐにでもこわれそうなくらいボロボロで、家の中もそのまま汚い。 ・空き家、空き地は努力すれば何かに生かせるのではないかな？	

問 11 住んでいる地域で困ったことがある場合は、誰に相談しますか。

全体では「家族」が65.0%と半数以上を占め、次いで「知人・友人」が38.3%、「役場」が32.2%、「親族」が30.9%、「隣近所の人」が25.6%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「家族」と回答した人が30歳代で80.8%と最も多く、10・20歳代が75.8%、40歳代が72.4%といずれも全体より多い傾向にある。「知人・友人」と回答した人は30歳代と60歳代がそれぞれ41.8%、41.7%と全体より多い。

問2. 年代×問11. 困りごとの相談先・相談相手



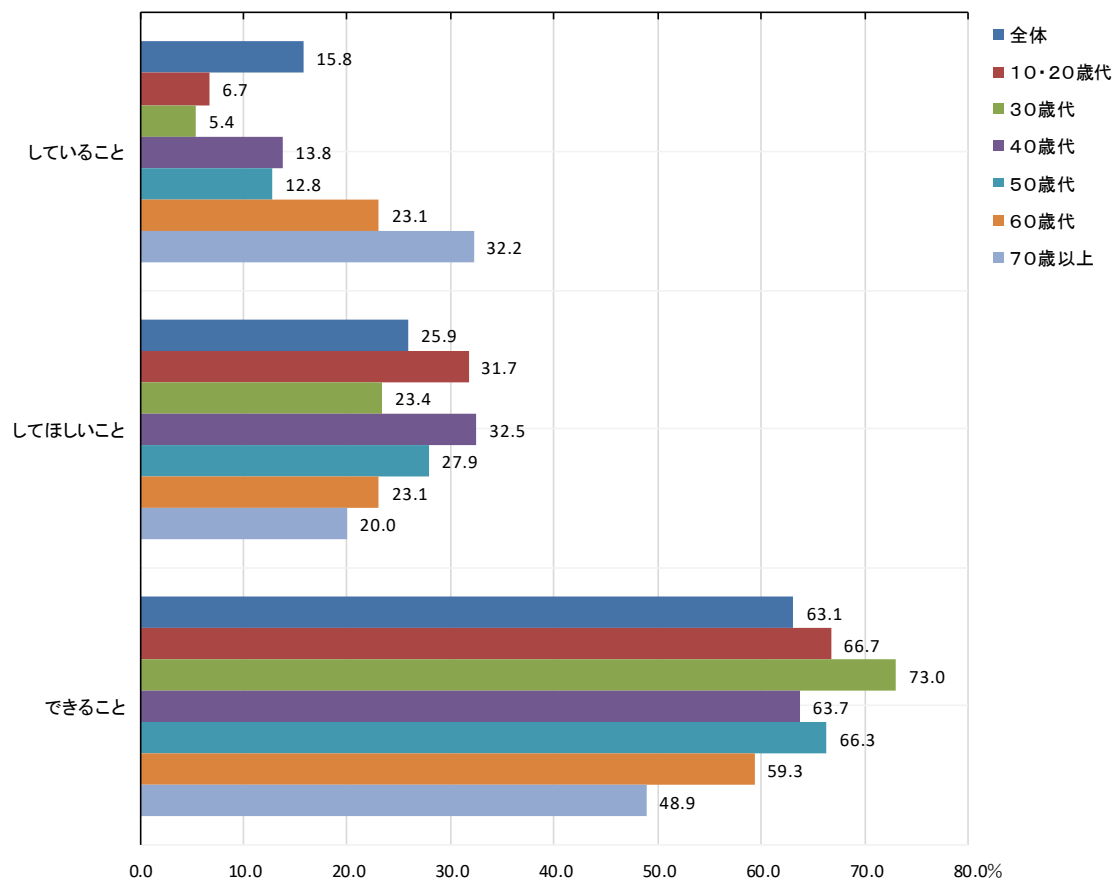
問 12 現在、あなたは日常生活の中で地域の人に行っていること、してほしいことや、今後
できることがありますか。

①安否確認の声かけ

全体では「できること」として回答した人が 63.1%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 30 歳代が 73.0%と最も多く、10・20 歳代と 50 歳代がそれぞれ 66.7%、66.3%と続く。

問2. 年代×問12①. 安否確認の声かけ

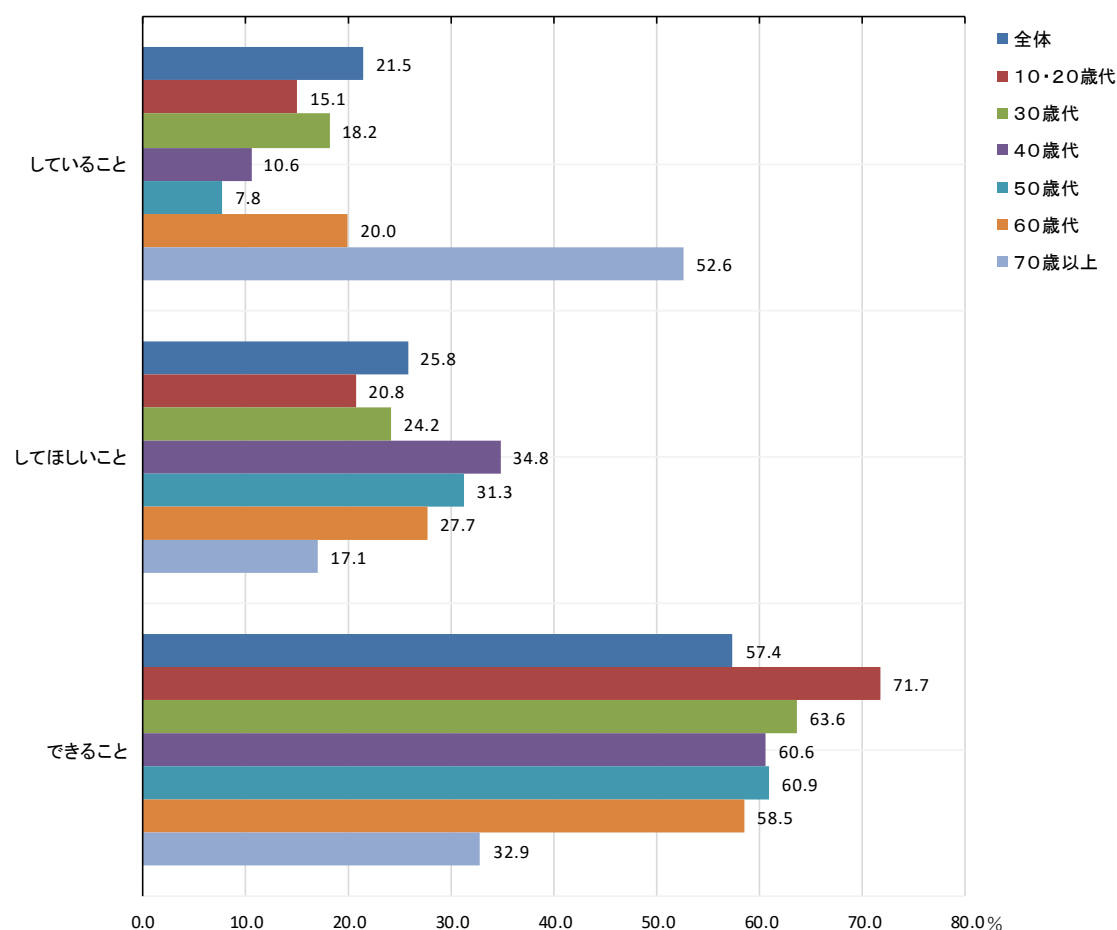


②趣味などの話し相手

全体では「できること」として回答した人が 57.4%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 10・20 歳代が 71.7%と最も多く、年代が上がるにつれ減少する傾向にある。「していること」として回答したのは 70 歳以上で 52.6%と全体より多い。

問2. 年代×問12②. 趣味などの話し相手

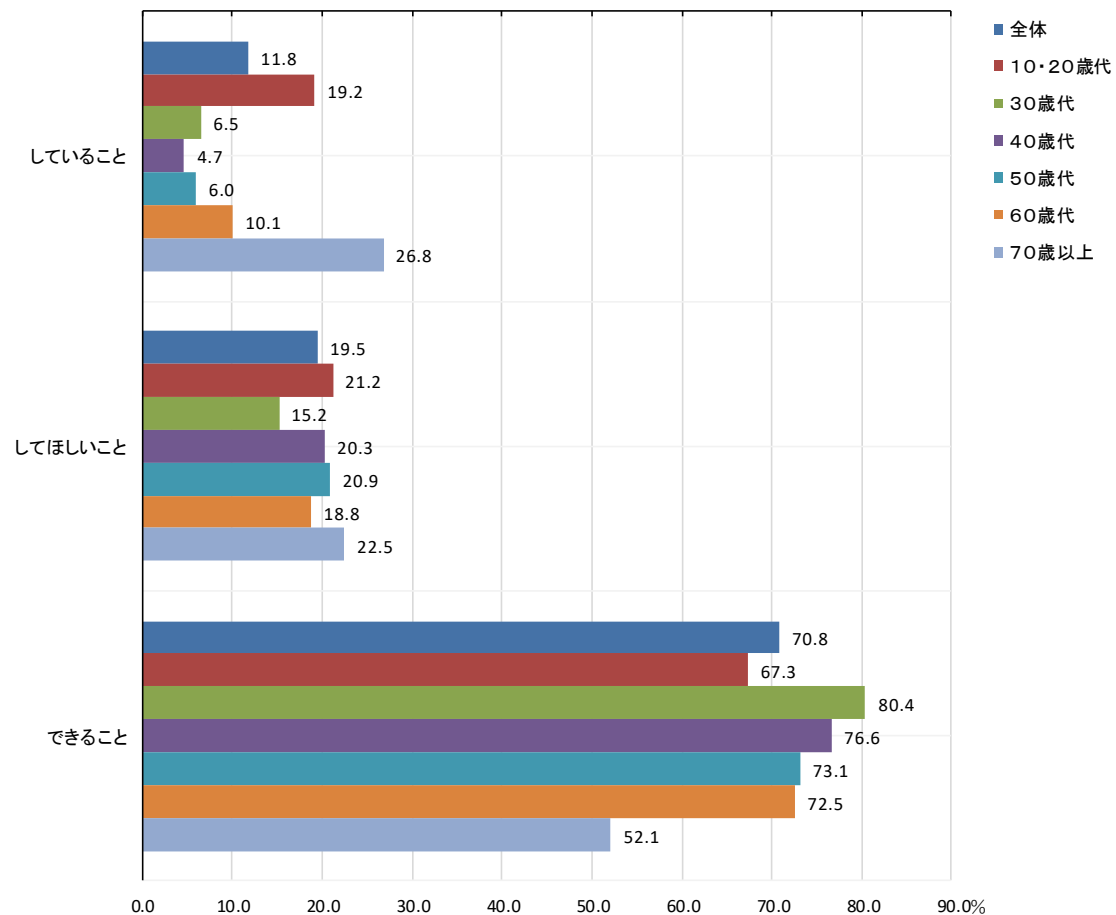


③買物の手伝い

全体では「できること」として回答した人が 70.8%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 30 歳代が 80.4%と最も多く、40 歳代は 76.6%、50 歳代は 73.1%、60 歳代は 72.5%といずれも全体より多い。

問2. 年代×問12③. 買物の手伝い

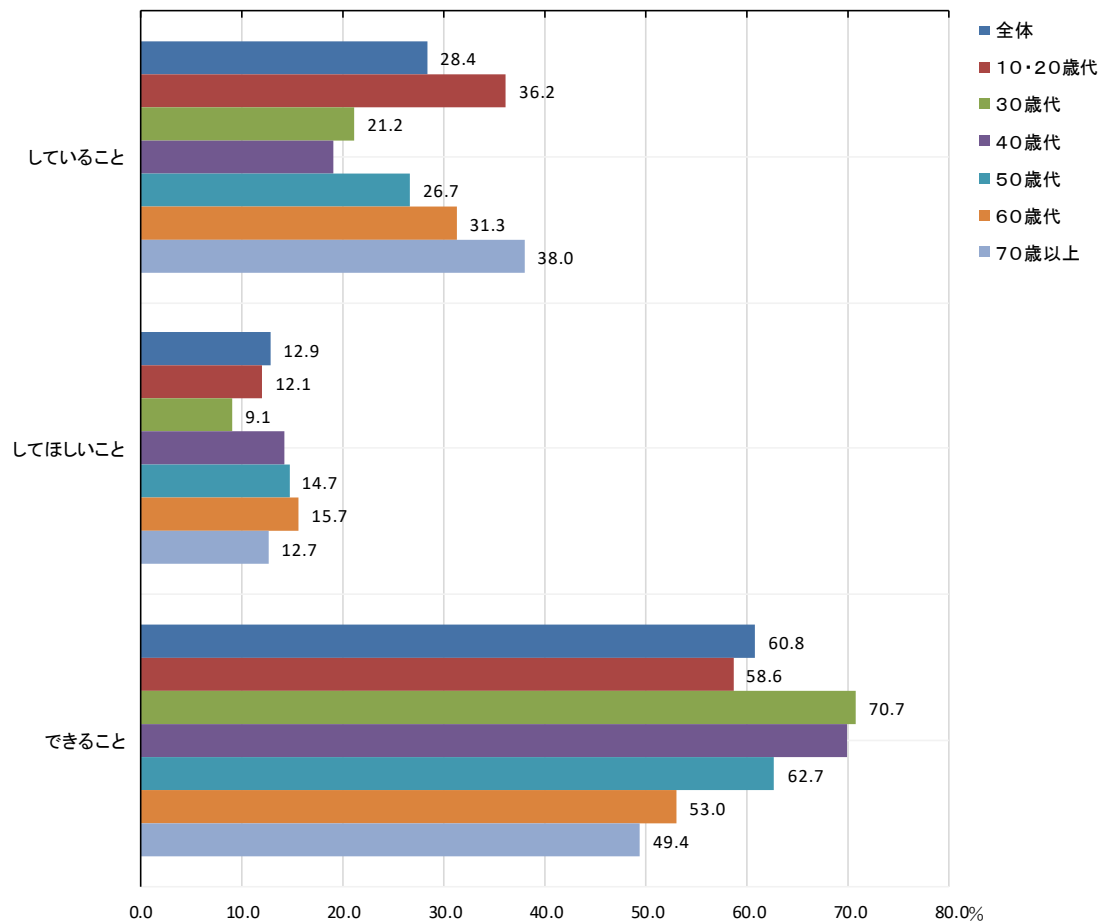


④ごみ出し

全体では「できること」として回答した人が 60.8%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 30 歳代が 70.7%と最も多く、40 歳代は 69.8%、50 歳代は 62.7%といずれも全体より多い。「していること」として回答したのは 70 歳以上が最も多く、10・20 歳代も 36.2%と全体より多い。

問2. 年代×問12④. ごみ出し

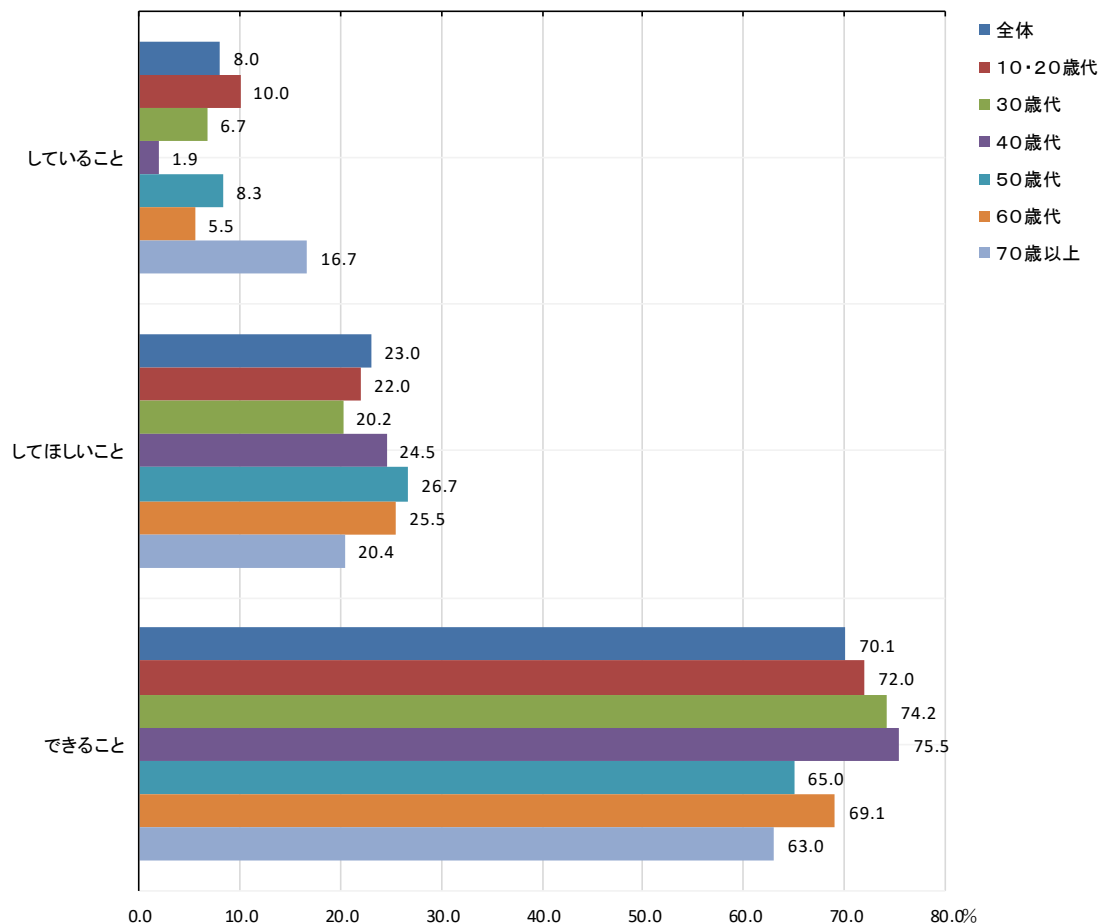


⑤外出の手助け

全体では「できること」として回答した人が 70.1%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 40 歳代が 75.5%と最も多く、次いで 30 歳代が 74.2%、10・20 歳代は 72.0%といずれも全体より多い。

問2. 年代×問12⑤. 外出の手助け

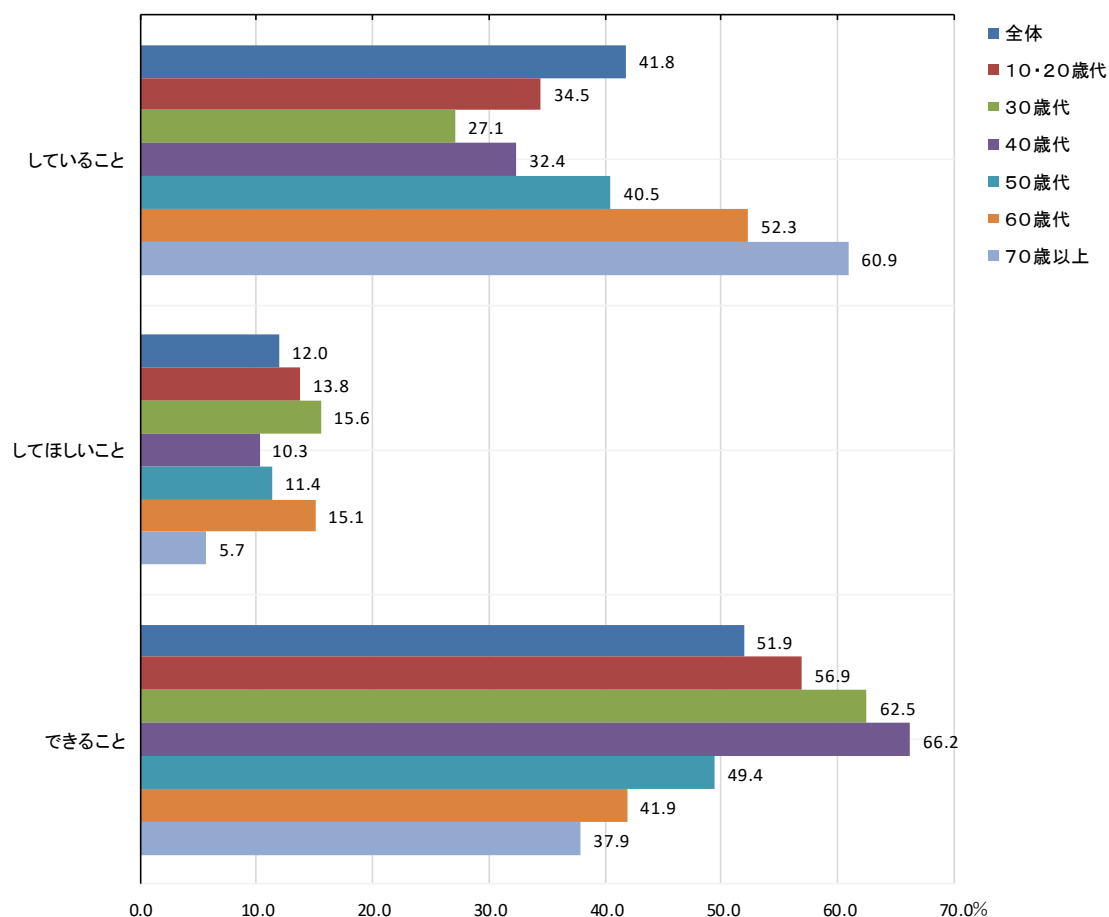


⑥家の前などの掃除

全体では「できること」として回答した人が 51.9%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 40 歳代が 66.2%と最も多く、次いで 30 歳代が 62.5%、10・20 歳代は 56.9%といずれも全体より多い。また、「していること」として回答したのは 70 歳以上が 60.9%、60 歳代が 52.3%と全体より多くなっている。

問2. 年代×問12⑥. 家の前などの掃除

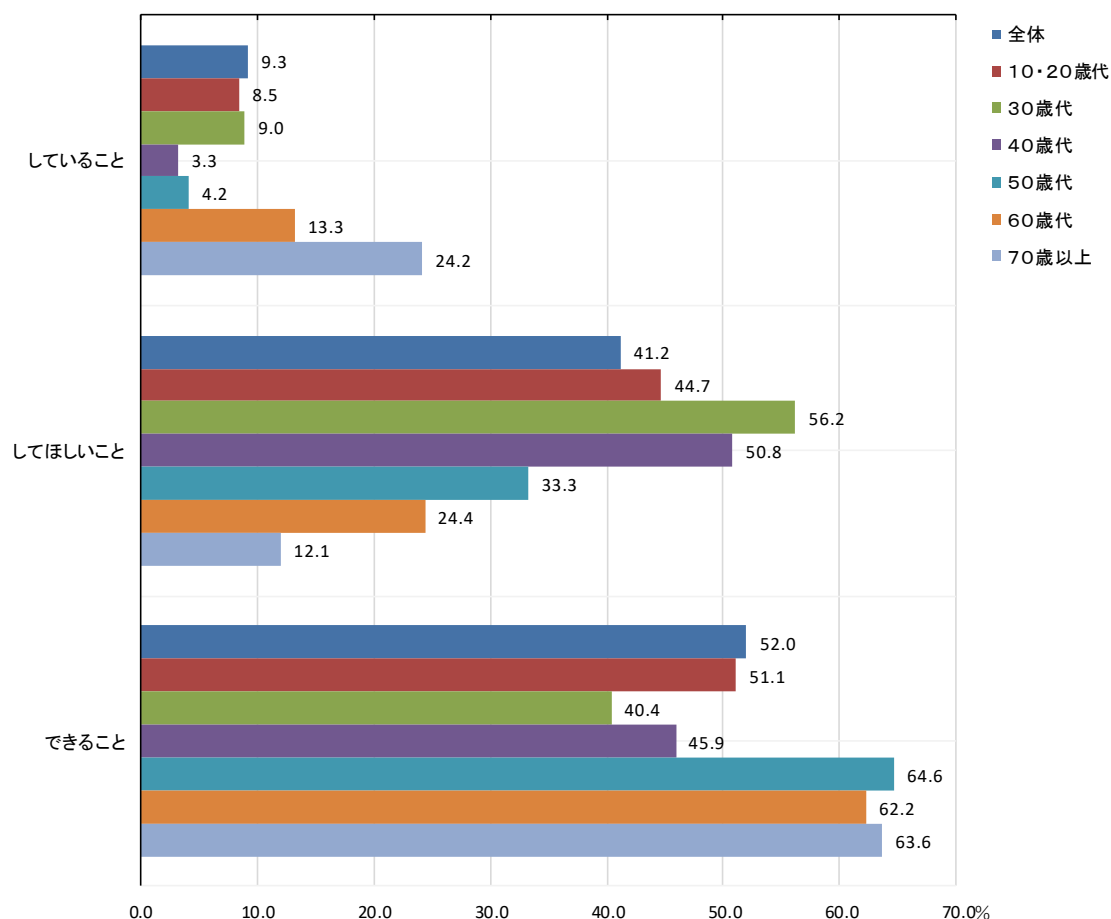


⑦短時間の子どもの預かり

全体では「できること」として回答した人が52.0%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは50歳代が64.6%と最も多く、次いで70歳以上が63.6%、60歳代は62.2%といずれも全体より多い。また、「してほしいこと」として回答したのは30歳代が56.2%と全体より多くなっている。

問2. 年代×問12⑦. 短時間の子どもの預かり

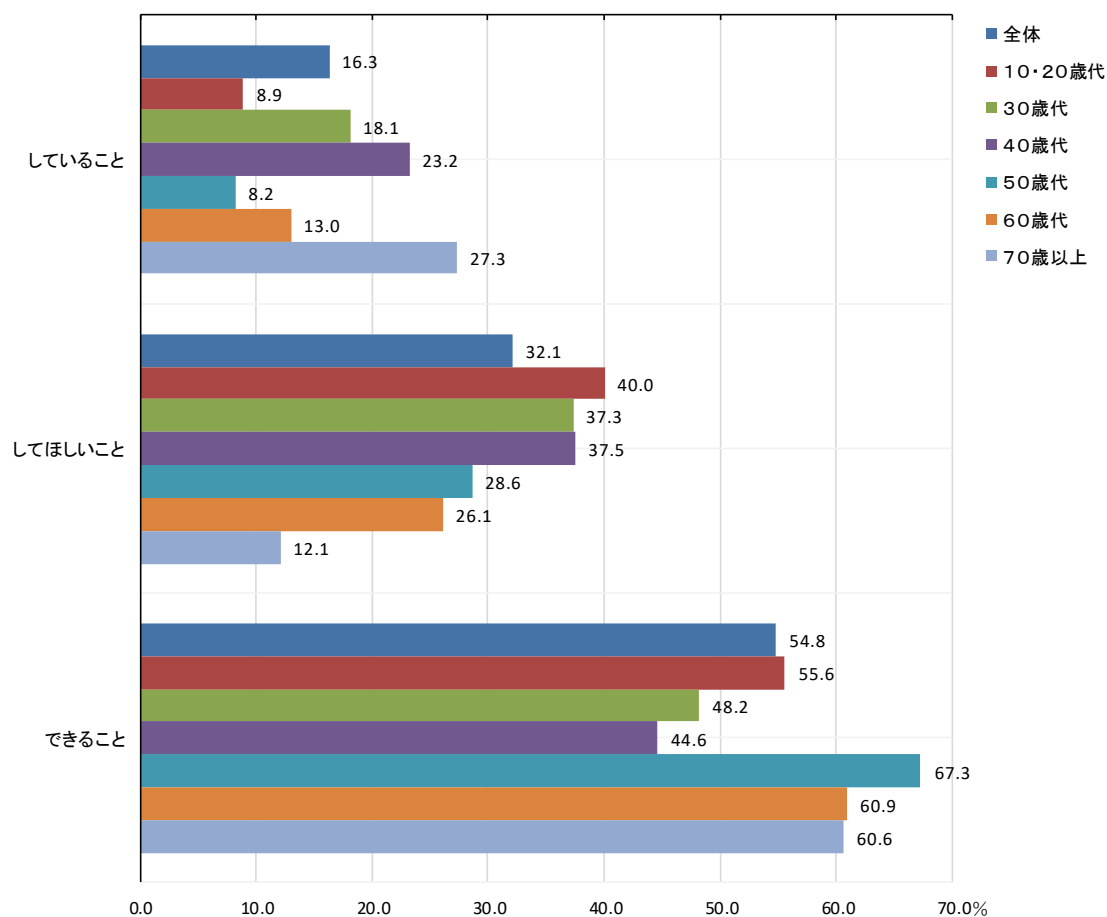


⑧子どもの送り迎え

全体では「できること」として回答した人が54.8%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは50歳代が67.3%と最も多く、次いで60歳代が60.9%、70歳以上は60.6%といずれも全体より多い。また、「してほしいこと」として回答したのは10・20歳代が40.0%と全体より多くなっている。

問2. 年代×問12⑧. 子どもの送り迎え

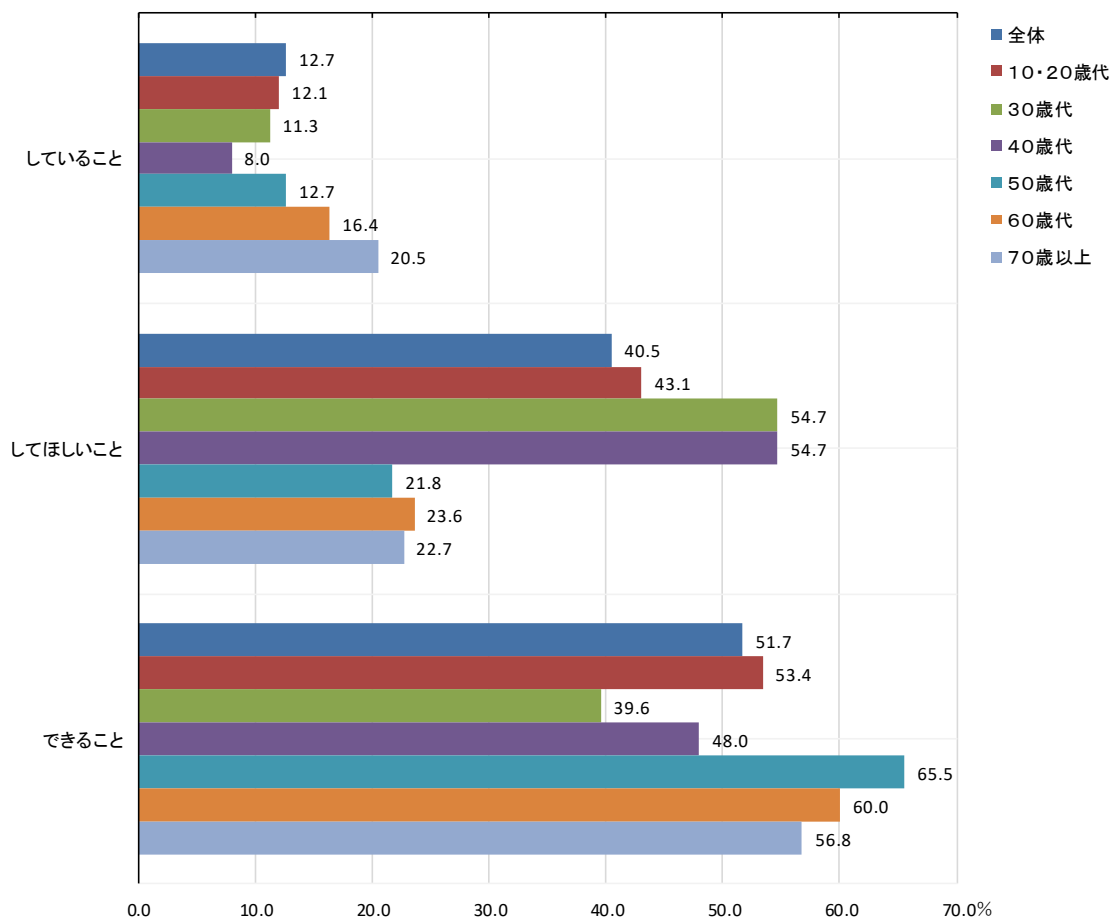


⑨子どもの通学路の見守り

全体では「できること」として回答した人が51.7%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは50歳代が65.5%と最も多く、次いで60歳代が60.0%、70歳以上は56.8%といずれも全体より多い。また、「してほしいこと」として回答したのは30歳代と40歳代が54.7%、10・20歳代が43.1%と全体より多くなっている。

問2. 年代×問12⑨. 子どもの通学路の見守り

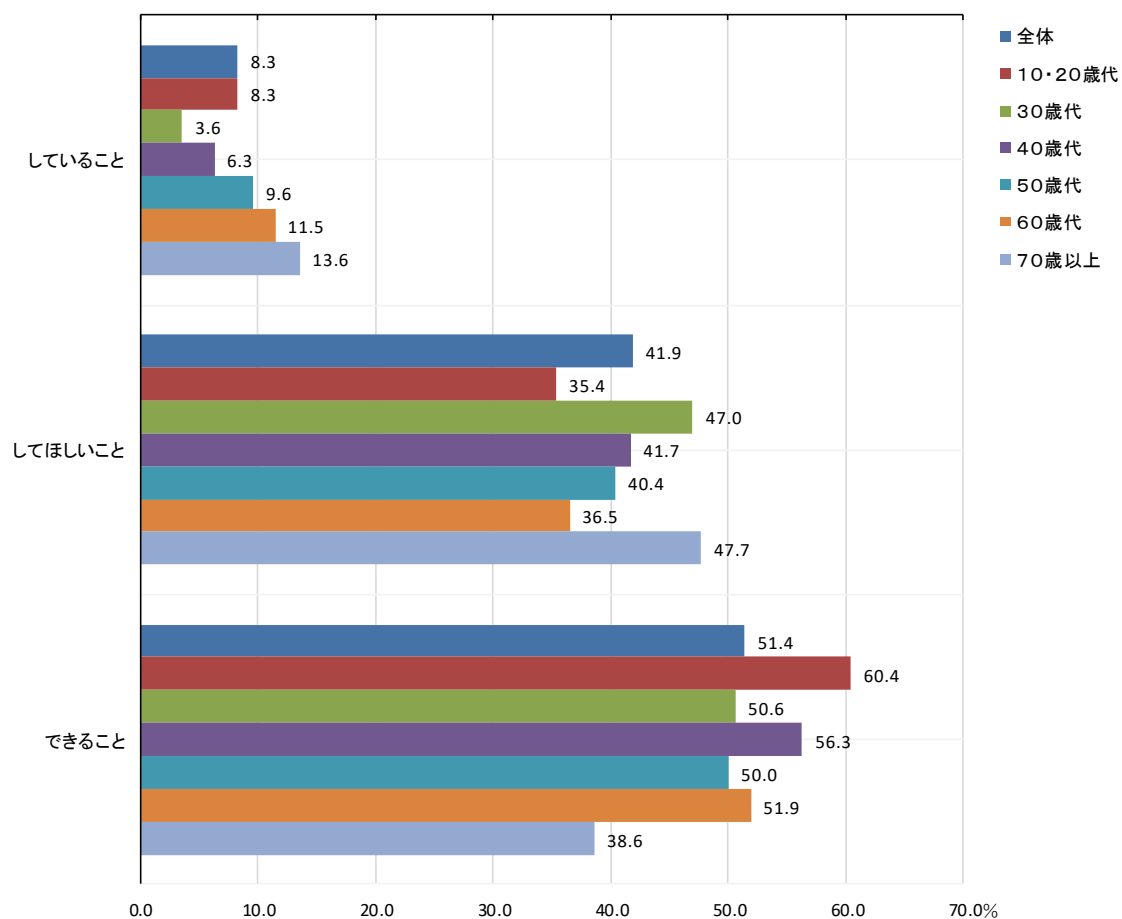


⑩高齢者の介護

全体では「できること」として回答した人が51.4%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは10・20歳代が60.4%と最も多く、次いで40歳代が56.3%と全体より多くなっている。また、「してほしいこと」として回答したのは70歳以上が47.7%、30歳代が47.0%と全体より多くなっている。

問2. 年代×問12⑩. 高齢者の介護

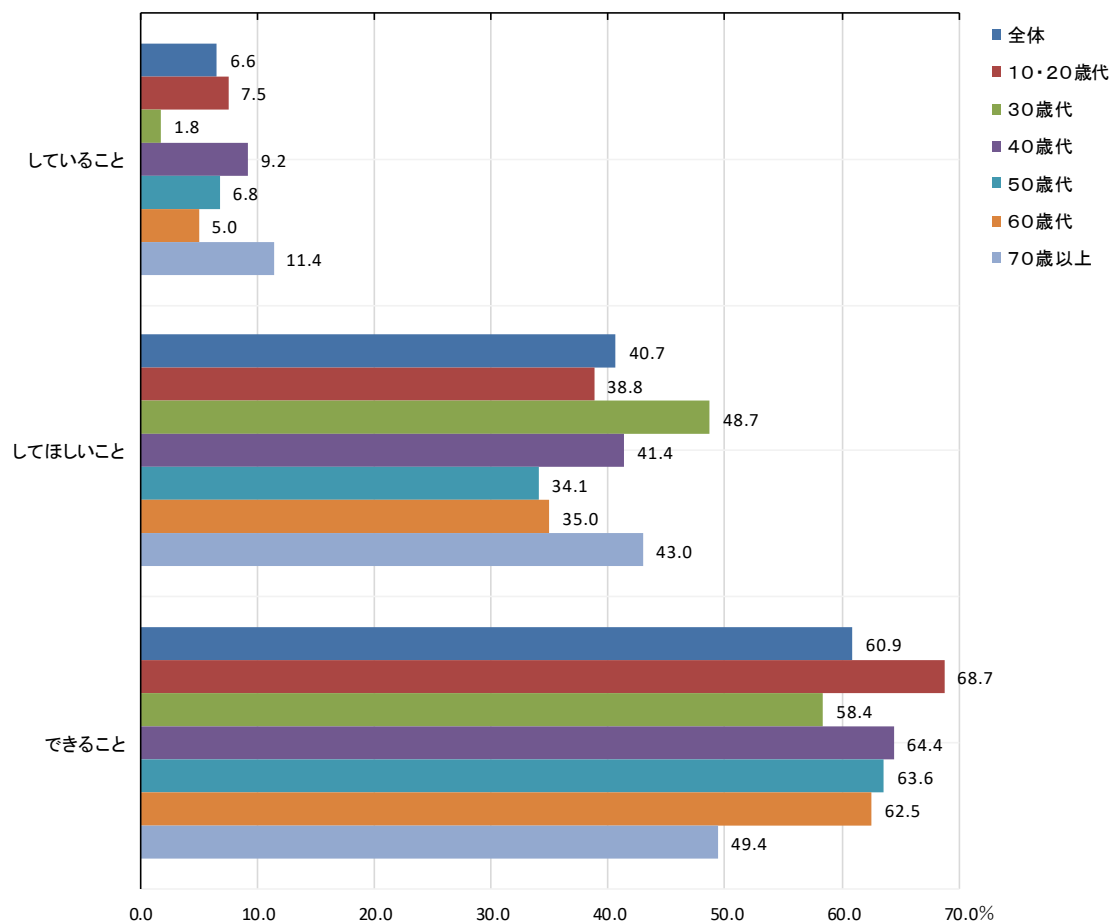


⑪緊急時の手助け

全体では「できること」として回答した人が 60.9%と最も多い。

年代別では「できること」として回答したのは 10・20 歳代が 68.7%と最も多く、次いで 40 歳代が 64.4%、50 歳代が 63.6%、60 歳代が 62.5%と全体より多くなっている。

問2. 年代×問12⑩. 緊急時の手助け

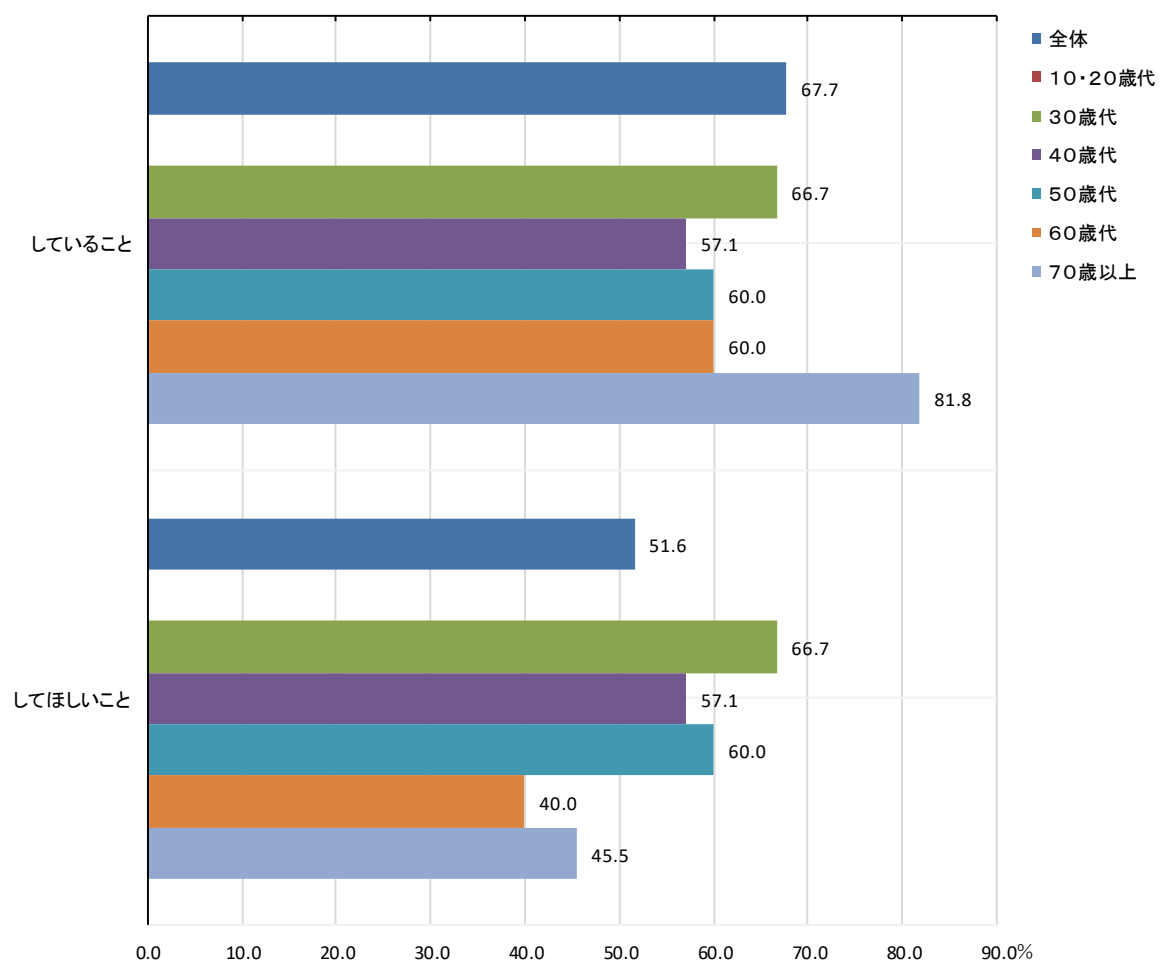


⑫その他（していること・してほしいこと）

全体では「していること」として回答した人が 67.7%と多い。

年代別では「していること」として回答したのは 70 歳以上が 81.8%と最も多い。「してほしいこと」として回答したのは 30 歳代が 66.7%と全体より多くなっている。

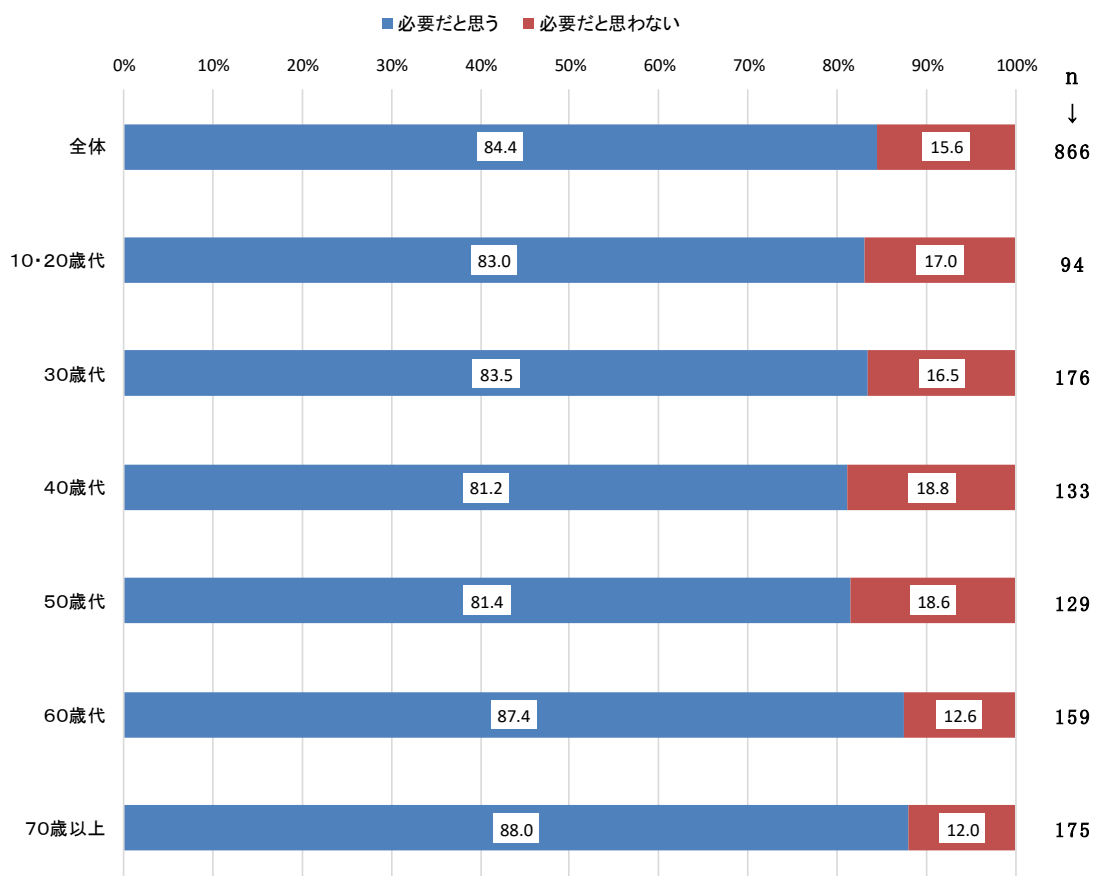
問2. 年代×問12⑫. その他



問 13 今後、あなたの住んでいる地域で起こる様々な生活の課題を解決していくために、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。

全体では「必要だと思う」が84.4%と、大多数がその必要性を認識している。
年代別では「必要だと思う」と回答したのは70歳以上が88.0%と最も多い。

問2. 年代×問13. 住民相互の自主的な協力関係の必要性

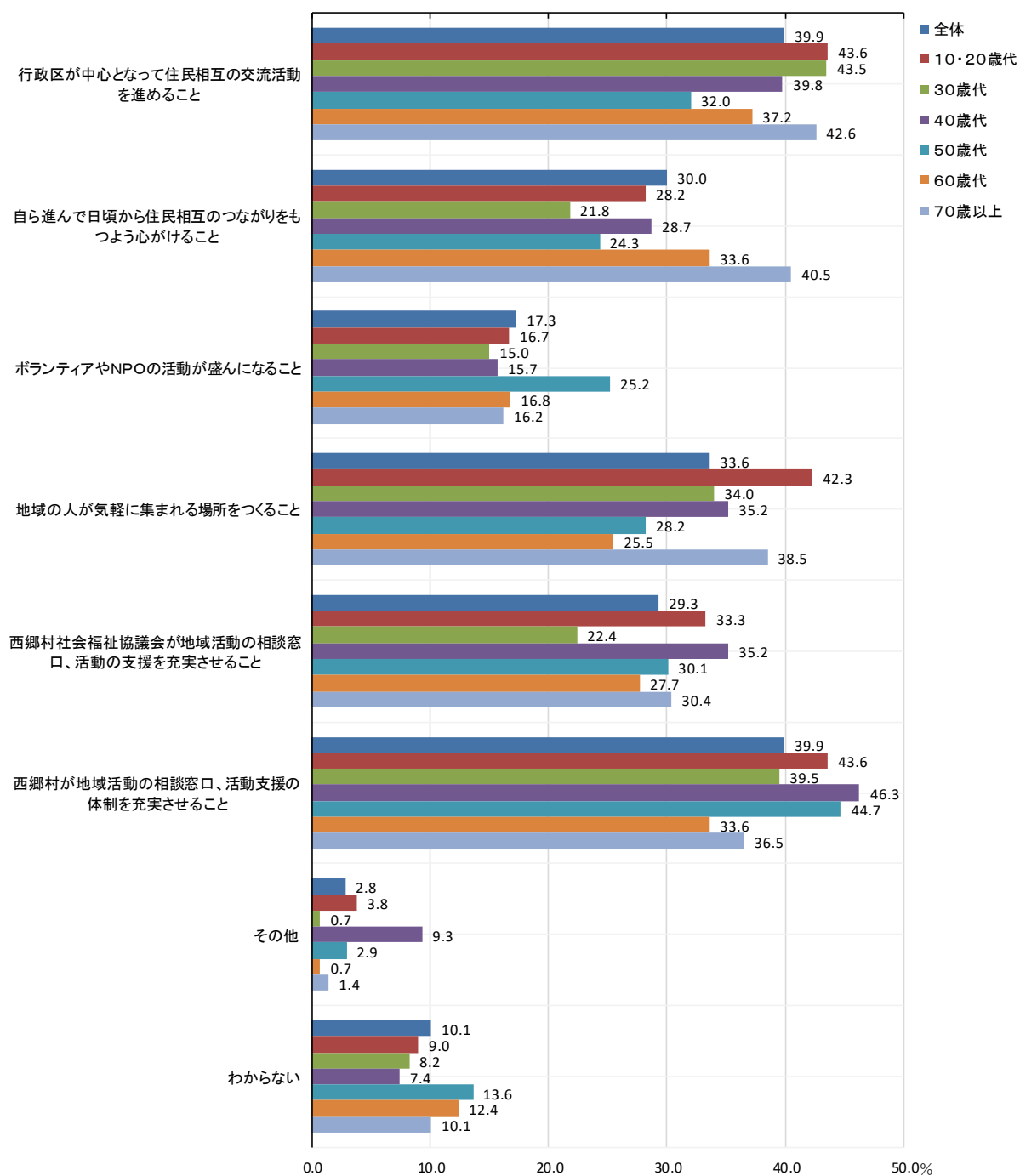


問 13-1 【前問で 1. を回答した方】地域で起きる様々な生活の課題について、住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりするために必要だと思うことは何ですか。

全体では「行政区が中心となって住民相互の交流活動を進めること」と「西郷村が地域活動の相談窓口、活動支援の体制を充実させること」がそれぞれ 39.9%と最も多くなっている。次いで「地域の人が気軽に集まれる場所をつくること」が 33.6%、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつよう心がけること」が 30.0%、「西郷村社協が地域活動の相談窓口、活動の支援を充実させること」が 29.3%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「行政区が中心となって住民相互の交流活動を進めること」と回答したのは 10・20 歳代が 43.6%、30 歳代が 43.5%、70 歳以上が 42.6%といずれも全体より多く、「西郷村が地域活動の相談窓口、活動支援の体制を充実させること」と回答した人は 40 歳代が 46.3%、50 歳代が 44.7%、10・20 歳代が 43.6%となっている。

問2. 年代×問13-1. 支え合い・助け合いのために必要だと思うこと



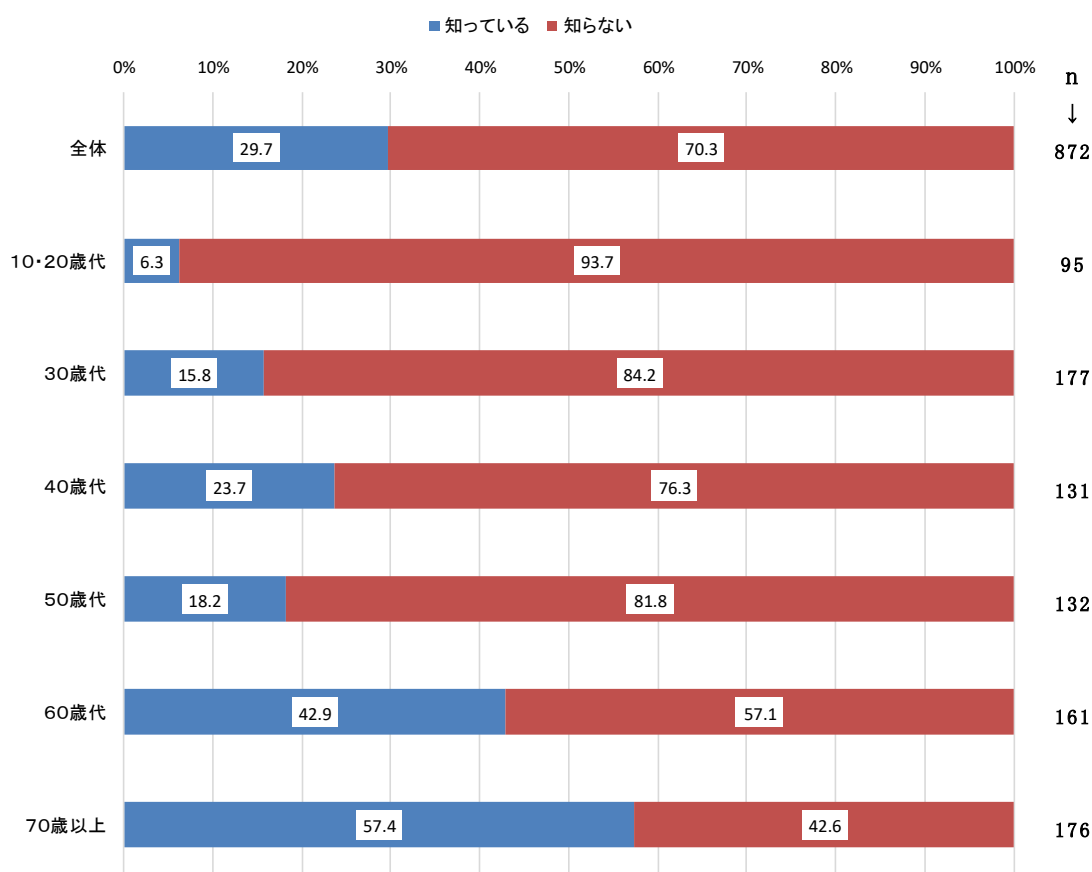
4. 地域での福祉活動・ボランティアに関すること

問 14 お住まいの地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。

全体では「知らない」が 70.3%と多く、「知っている」は 29.7%にとどまる。

年代別では「知らない」と回答したのは 10・20 歳代が 93.7%と最も多く、「知っている」と回答したのは 70 歳以上が 57.4%と多い。

問2. 年代×問14. 民生委員・児童委員の認知度

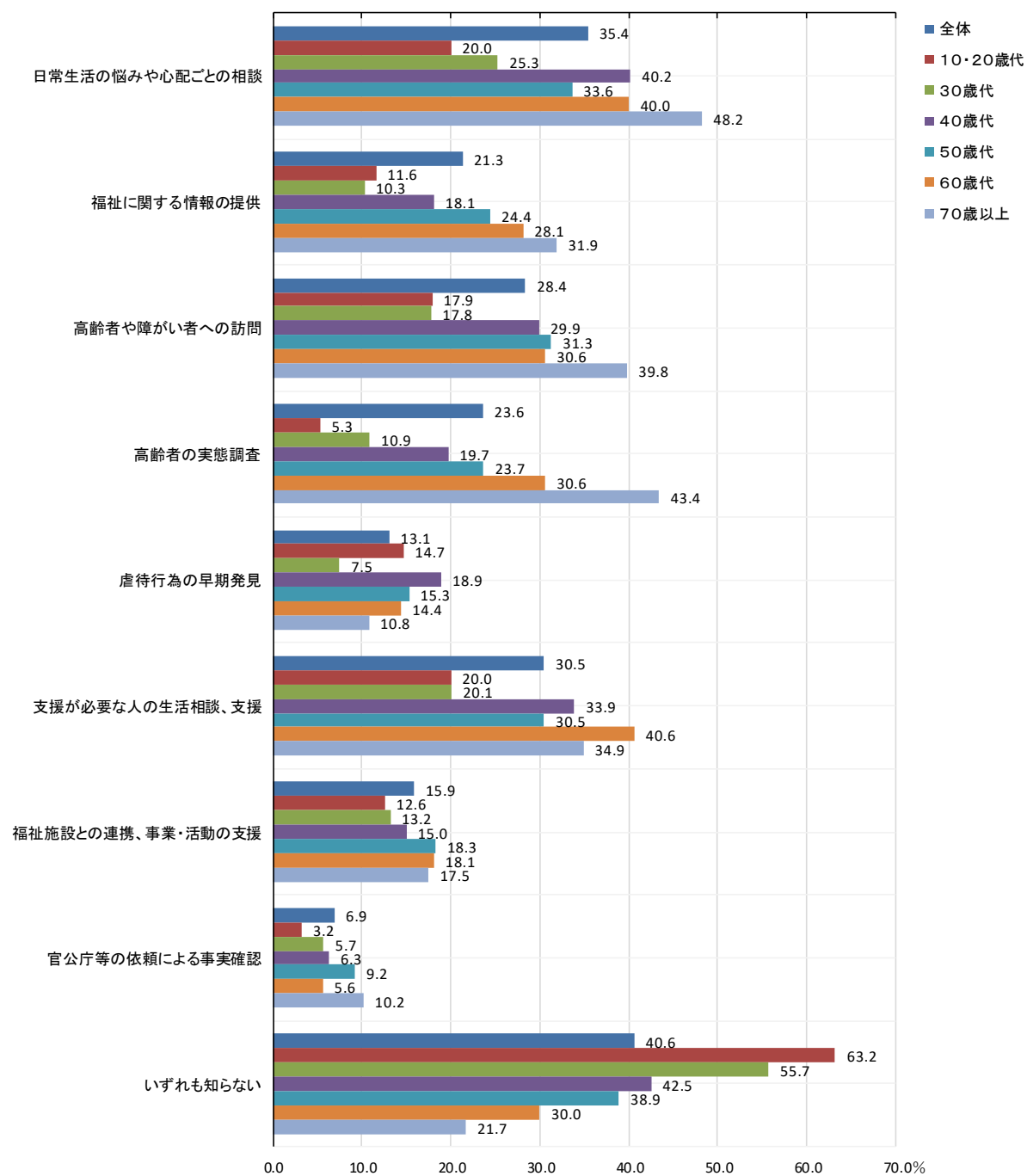


問 15 民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会づくりをめざして、様々な活動に取り組んでいます。民生委員・児童委員が行う活動として、あなたが知っているものを選んでください。

全体では「いずれも知らない」が 40.6%と最も多く、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が 35.4%、「支援が必要な人の生活相談、支援」が 30.5%、「高齢者や障がい者への訪問」が 28.4%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「いずれも知らない」と回答したのは 10・20 歳代が 63.2%と最も多く、30 歳代は 55.7%、40 歳代は 42.5%といずれも全体より多い。また、「日常生活の悩みや心配ごとの相談」「高齢者の実態調査」「高齢者や障がい者への訪問」と回答したのは 70 歳以上がそれぞれ 48.2%、43.4%、39.8%といずれも全体より多い傾向にある。

問2. 年代×問15. 民生委員・児童委員の活動で知っているもの

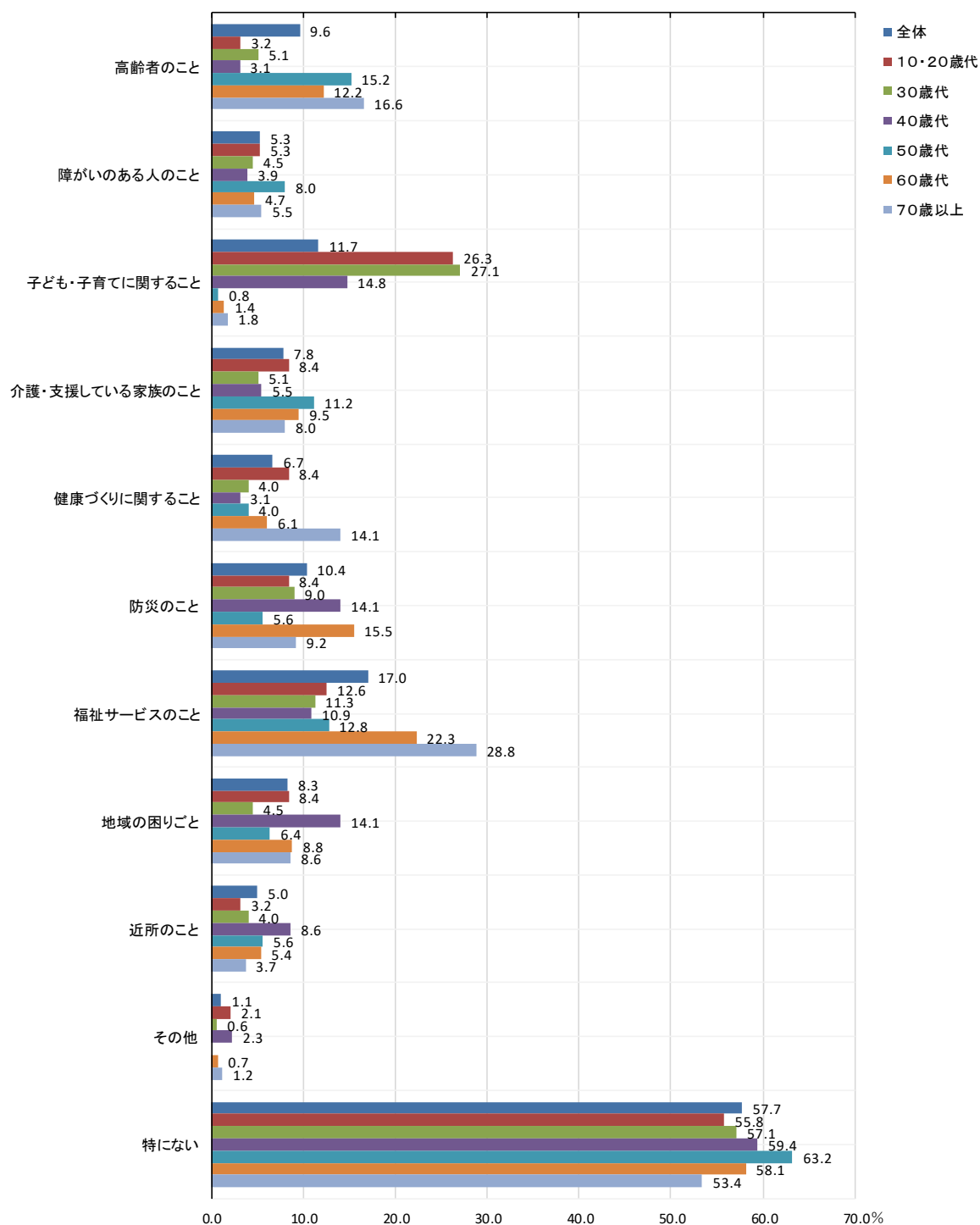


問 16 民生委員・児童委員に相談してみたいことは何ですか。

全体では 57.7%の「特にない」を除くと「福祉サービスのこと」が 17.0%と最も多く、「子ども・子育てに関すること」が 11.7%、「防災のこと」が 10.4%、「高齢者のこと」が 9.6%と続く。

年代別では「福祉サービスのこと」が 70 歳以上で 28.8%、60 歳代で 22.3%、「子ども・子育てに関すること」が 30 歳代で 27.1%、10・20 歳代で 26.3%といずれも全体より多くなっている。

問2. 年代×問16. 民生委員・児童委員に相談してみたいこと

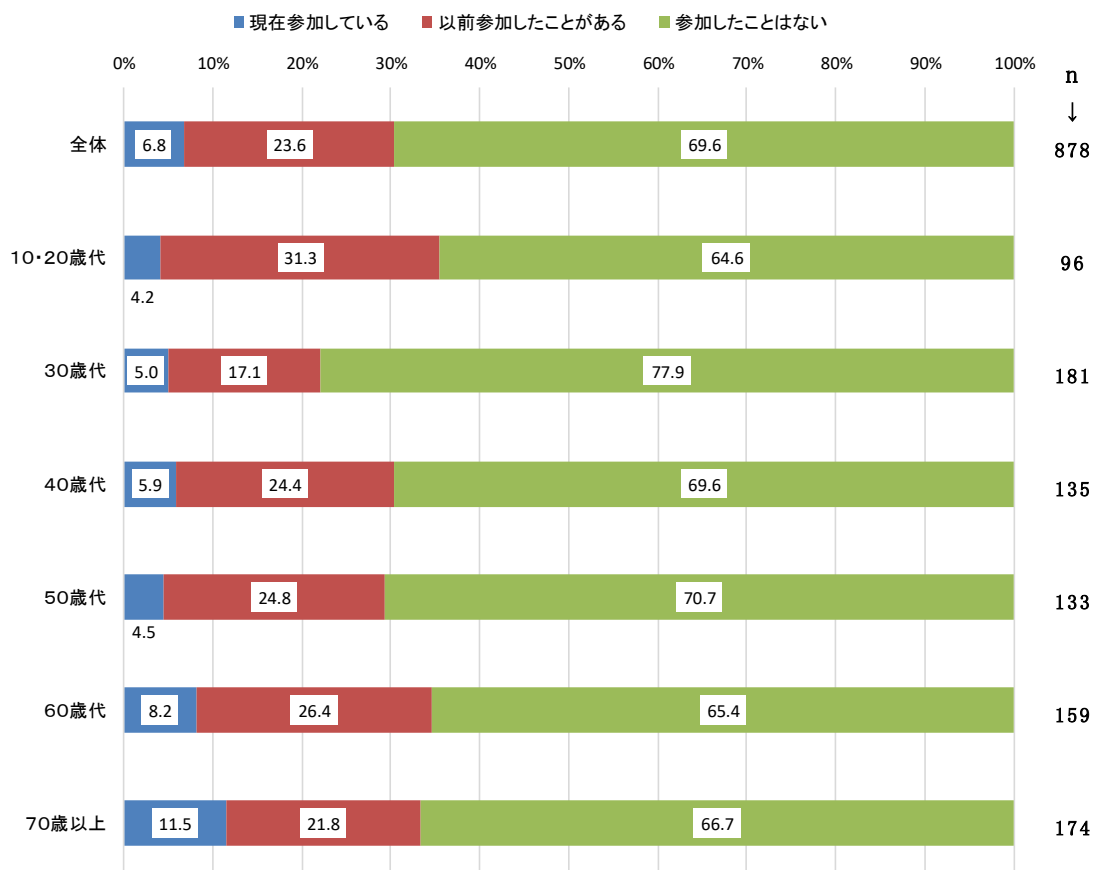


問 17 今までに、ボランティア活動に参加したことがありますか。

全体では「参加したことはない」が 69.6%と最も多く、「以前参加したことがある」は 23.6%、「現在参加している」は 6.8%となっている。

年代別では「以前参加したことがある」と回答したのは 10・20 歳代が 31.3%と最も多く、「現在参加している」は 70 歳以上が 11.5%と多い。

問2. 年代×問17. ボランティア活動の参加経験

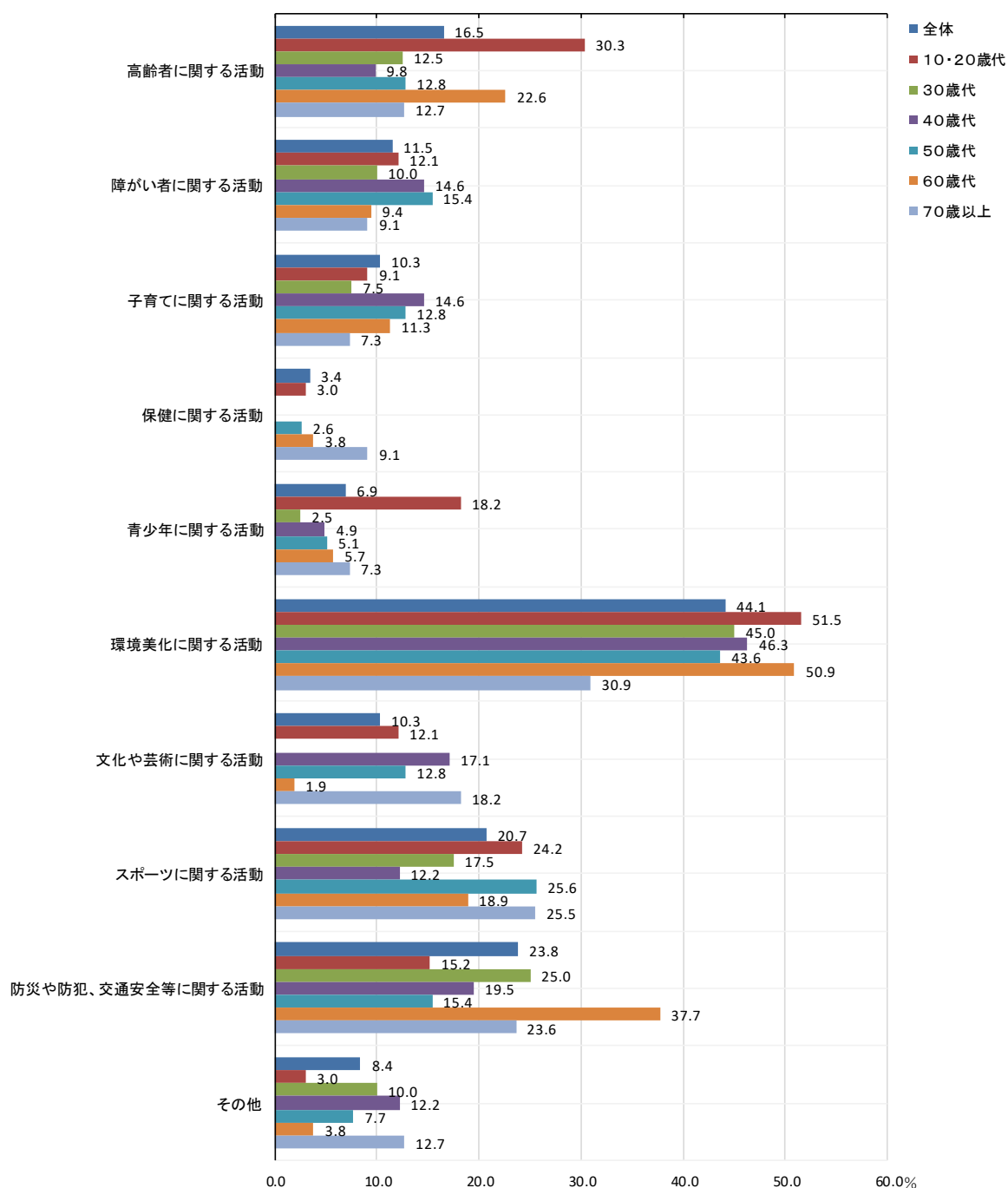


問 17-1 【前問で 1. または 2. を回答した方】どのような活動に参加しましたか。

全体では「環境美化に関する活動」が 44.1%と最も多く、次いで「防災や防犯、交通安全等に関する活動」が 23.8%、「スポーツに関する活動」が 20.7%とそれぞれ多い。

年代別では 10・20 歳以上で「環境美化に関する活動」と「高齢者に関する活動」と回答した人がそれぞれ 51.5%、30.3%と全体より多い傾向にある。また、「防災や防犯、交通安全等に関する活動」は 60 歳代が 37.7%と多くなっている。

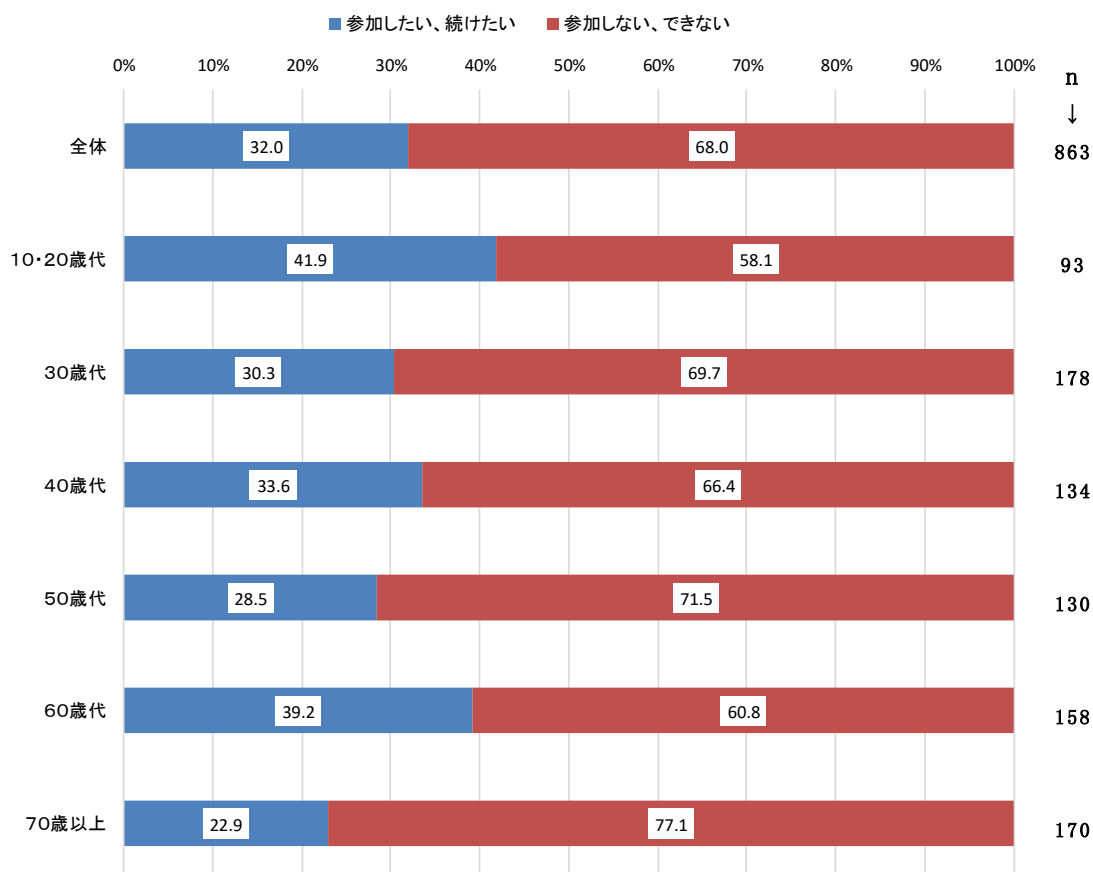
問2. 年代×問17-1. どのような活動に参加したか



問 18 今後（も）、ボランティア活動に参加したいと思いますか。

全体では「参加しない、できない」が 68.0%と半数以上を占める。
年代別では「参加しない、できない」と回答した 70 歳以上が 77.1%に上る。

問2. 年代×問18. 今後のボランティア活動の参加意向

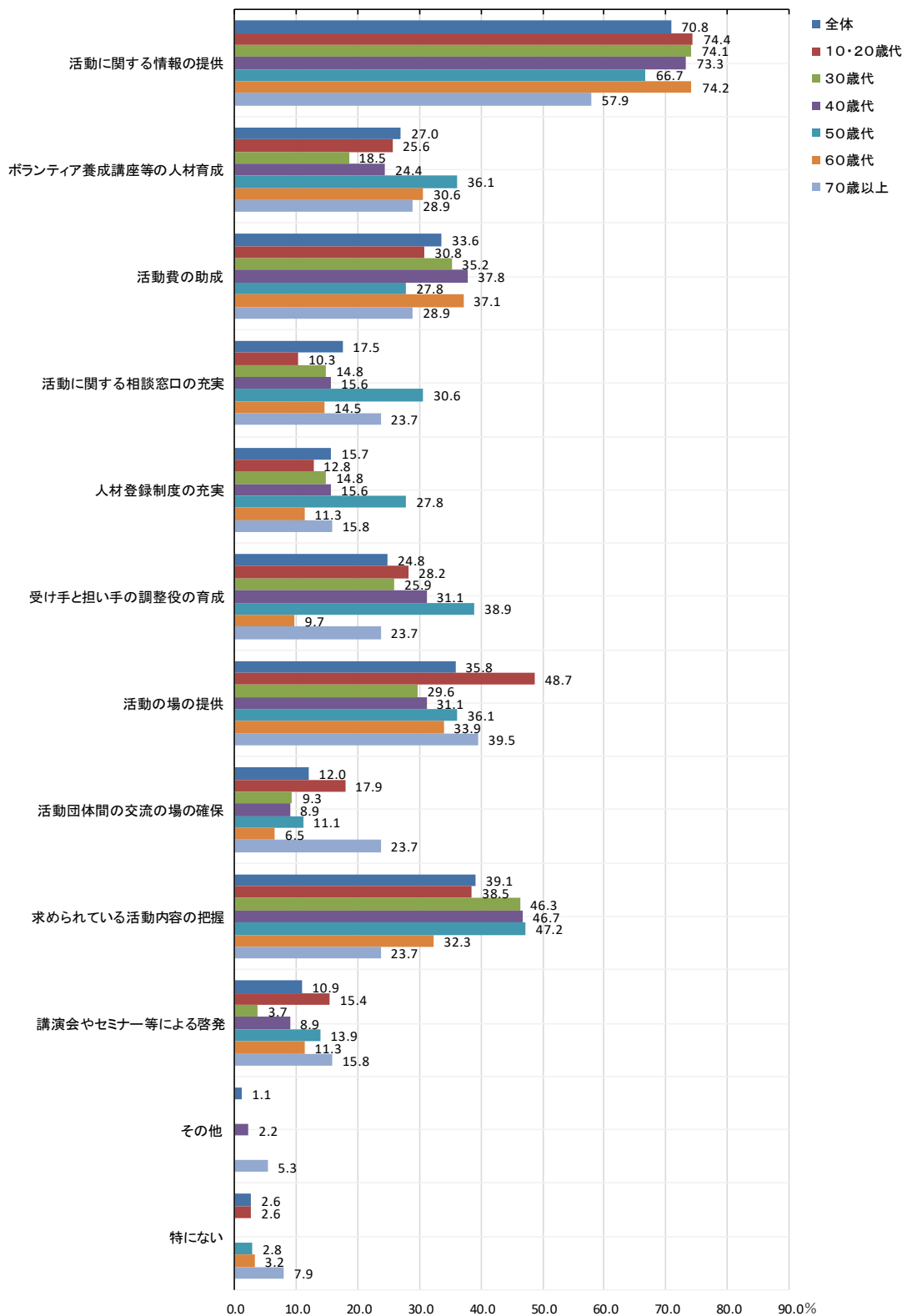


問 18-1 【前問で 1. を回答した方】ボランティア活動を活性化するためには、行政・関係機関はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。

全体では「活動に関する情報の提供」が 70.8%と最も多く、「求められている活動内容の把握」が 39.1%、「活動の場の提供」が 35.8%、「活動費の助成」が 33.6%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「活動に関する情報の提供」と「活動の場の提供」と回答したのは 10・20 歳代がそれぞれ 74.4%、48.7%と多く、「活動費の助成」は 40 歳代が 37.8%、「求められている活動内容の把握」は 50 歳代が 47.2%と、全体よりやや多い傾向にある。

問2. 年代×問18-1. ボランティア活動活性化のために必要なこと

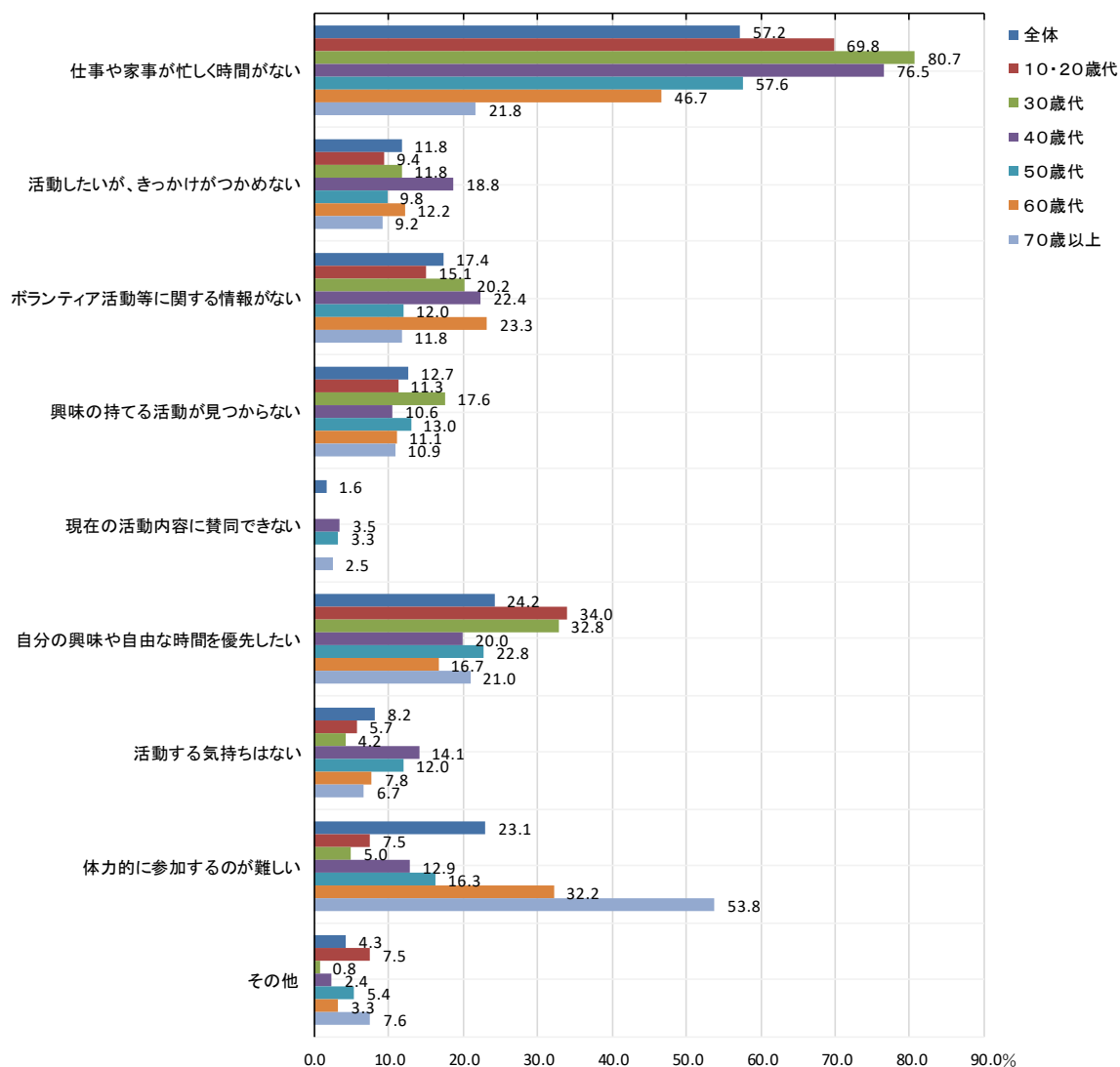


問 18-2 【問 18 で 2. を回答した方】参加しない、参加できない主な理由は何ですか。

「仕事や家事が忙しく時間がない」が57.2%と最も多く、「自分の興味や自由な時間を優先したい」が24.2%と、時間に関する理由が続く。

年代別では「仕事や家事が忙しく時間がない」と回答したのは30歳代が80.7%と最も多く、「自分の興味や自由な時間を優先したい」は10・20歳代が34.0%と多い。

問2. 年代×問18-2. 参加しない、参加できない理由



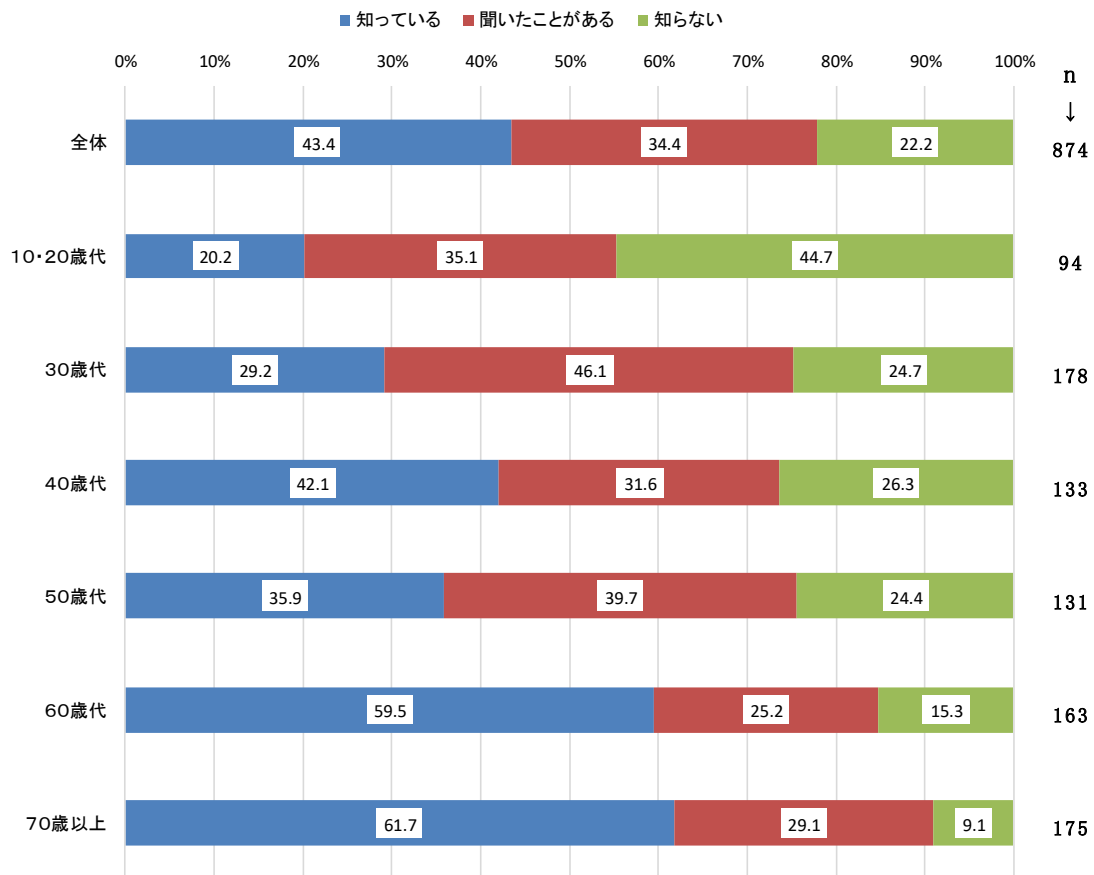
5. 西郷村社会福祉協議会

問 19 あなたは「西郷村社会福祉協議会」を知っていますか。

全体では「知っている」が43.4%、「聞いたことがある」が34.4%と、合わせて75%以上が認知している。一方、22.2%の人が「知らない」と回答した。

年代別では「知っている」と回答したのは70歳以上が61.7%と最も多い。

問2. 年代×問19. 西郷村社協の認知度

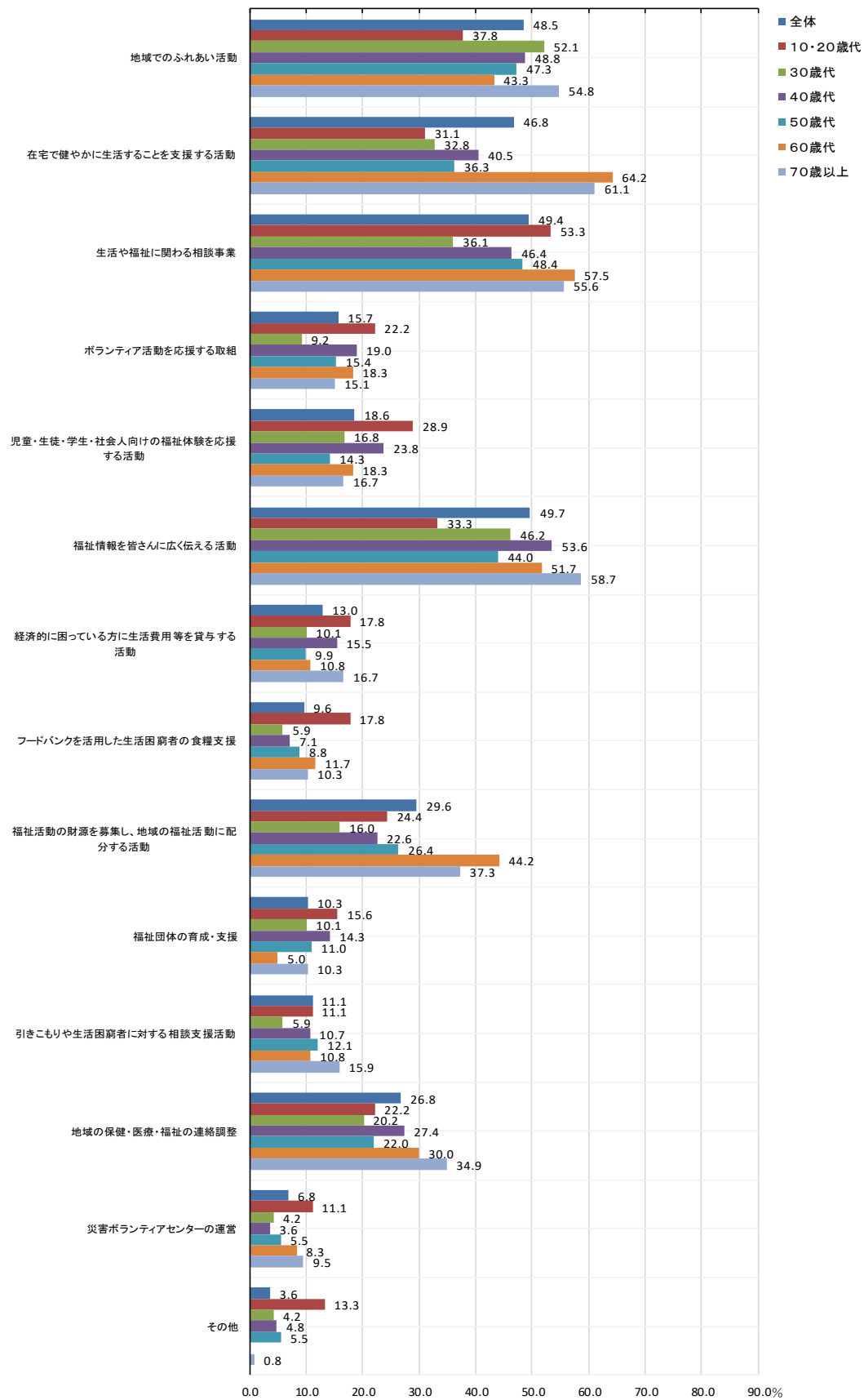


問 19-1 【前問で 1. または 2. を回答した方】西郷村社会福祉協議会の行う事業で知っているものをお答えください。

「福祉情報を皆さんに広く伝える活動」が 49.7%、「生活や福祉に関わる相談事業」が 49.4%、「地域でのふれあい活動」が 48.5%、「在宅で健やかに生活することを支援する活動」が 46.8%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「福祉情報を皆さんに広く伝える活動」「地域でのふれあい活動」と回答した人は 70 歳以上でそれぞれ 58.7%、54.8%と全体より多く、「在宅で健やかに生活することを支援する活動」と回答した人は 60 歳代が 64.2%、70 歳以上が 61.1%と、高齢者層を中心に多くなっている。

問2. 年代×問19-1. 社協事業で知っているもの

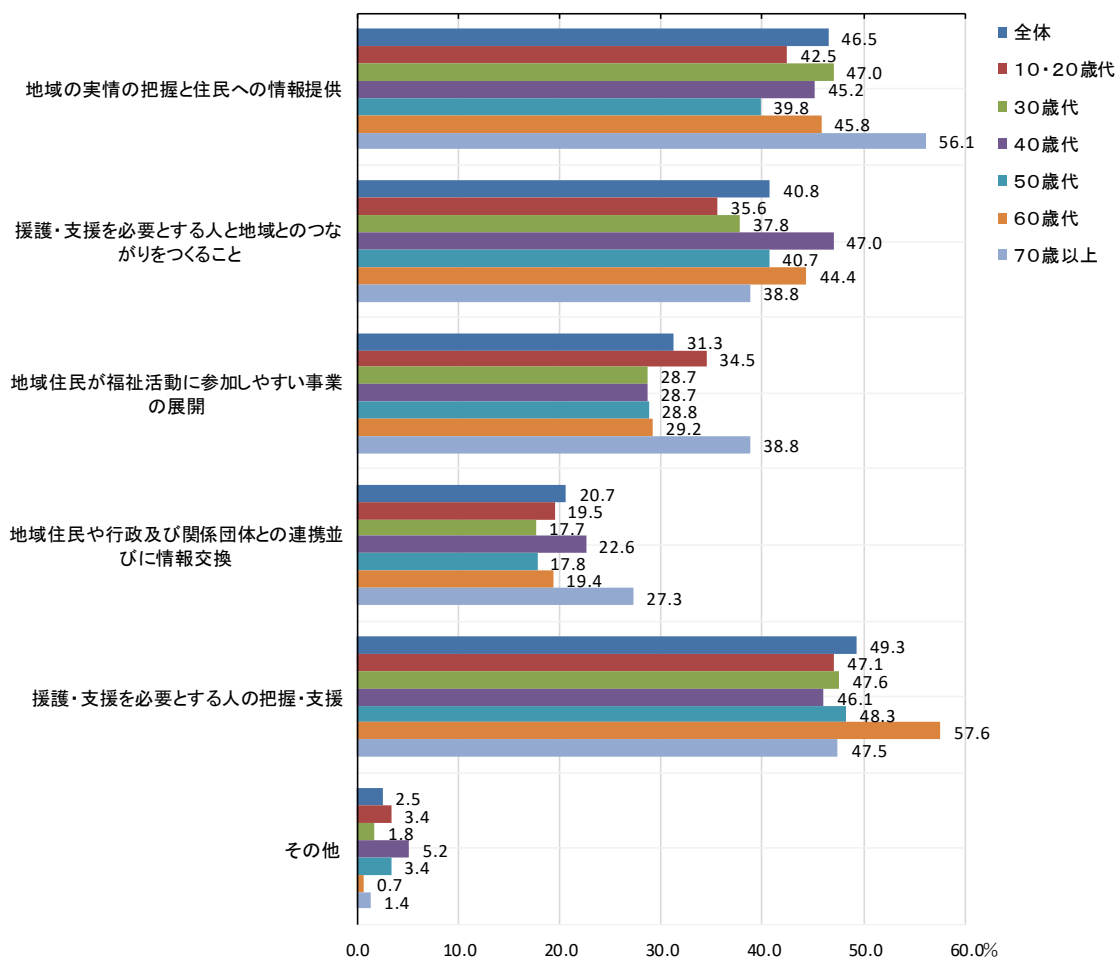


問 20 西郷村社会福祉協議会にどのような活動を期待しますか。

「援護・支援を必要とする人の把握・支援」が 49.3%と最も多く、「地域の実情の把握と住民への情報提供」が 46.5%、「援護・支援を必要とする人と地域とのつながりをつくること」が 40.8%と続く。

年代別では「援護・支援を必要とする人の把握・支援」と回答した人が 60 歳代で 57.6%、「地域の実情の把握と住民への情報提供」と回答した人が 70 歳以上で 56.1%と全体より多い傾向にある。

問2. 年代×問20. 西郷村社協に期待する活動



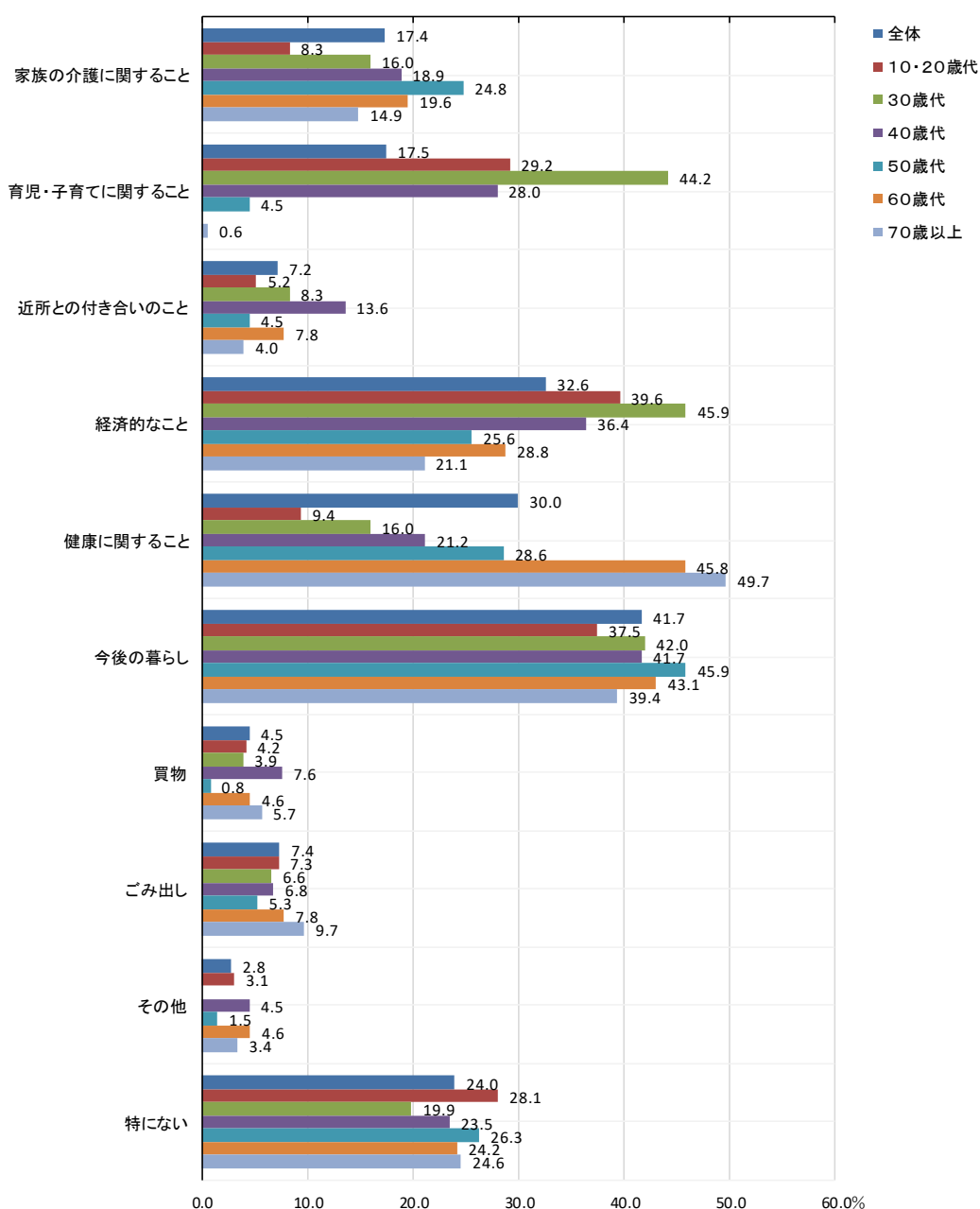
6. 暮らしのこと・災害時のことなど

問21 毎日の暮らしの中で、悩みや不安を感じていることはありますか。

全体では「今後の暮らし」が41.7%と最も多く、次いで「経済的なこと」が32.6%、「健康に関すること」が30.0%とそれぞれ多い。

年代別では「経済的なこと」「育児・子育てに関すること」と回答したのは30歳代がそれぞれ45.9%、44.2%と最も多く、「健康に関すること」は70歳以上が49.7%、60歳代が45.8%と高齢者層に多い傾向にある。

問2. 年代×問21. 毎日の暮らしで悩みや不安を感じていること



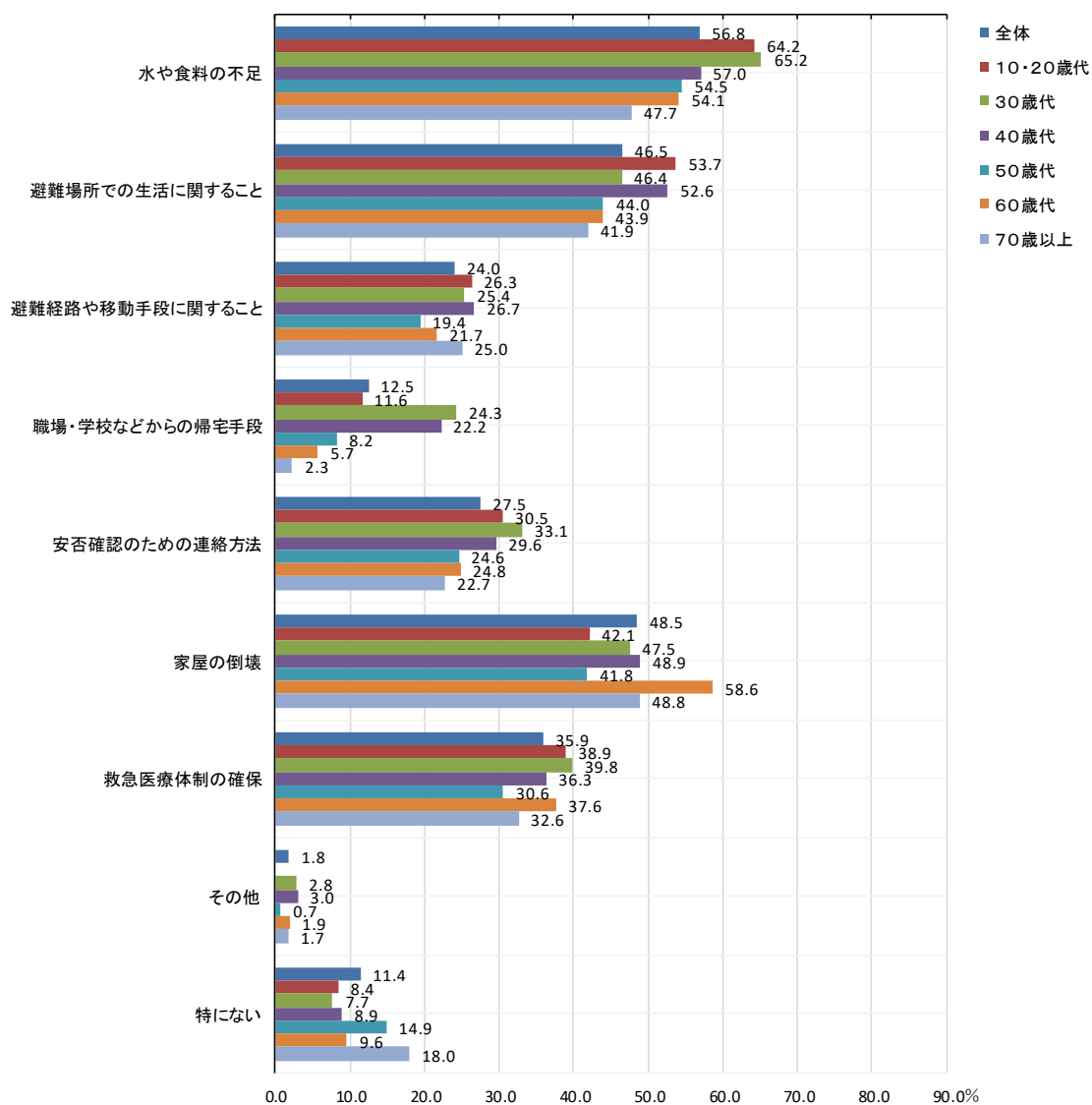
問 22 地震や水害などの災害時の対策について不安に感じることはありますか。

「水や食料の不足」が 56.8%と半数以上の方が不安を感じている結果となった。

そのほか、「家屋の倒壊」が 48.5%、「避難場所での生活に関すること」が 46.5%、「救急医療体制の確保」が 35.9%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「水や食料の不足」と回答したのは 30 歳代が 65.2%、10・20 歳代が 64.2%、「家屋の倒壊」については 60 歳代が 58.6%と多くなっている。

問2. 年代×問22. 災害時の対策について不安に感じること

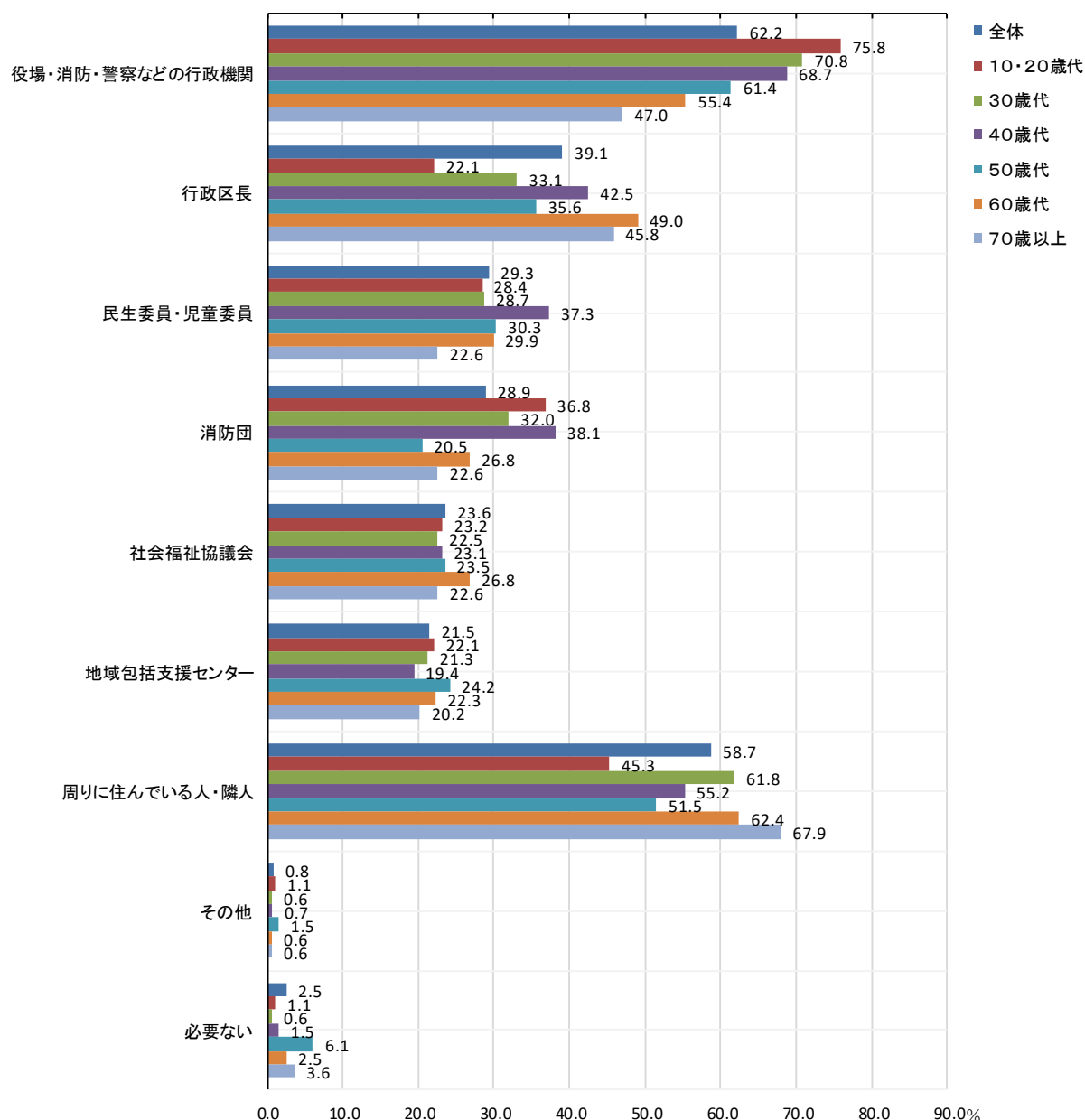


問 23 災害時の避難の手助けや日常の見守りが必要な人の情報を地域で共有することについて、事前にどの範囲（組織）に知っておいてもらった方がよいと思いますか。

「役場・消防・警察などの行政機関」が62.2%と最も多く、次いで「周りに住んでいる人・隣人」が58.7%と多い。

年齢別では「役場・消防・警察などの行政機関」と回答したのは10・20歳代が75.8%、30歳代が70.8%と、全体と比べて多い傾向にある。

問2. 年代×問23. 地域での情報共有の「範囲」



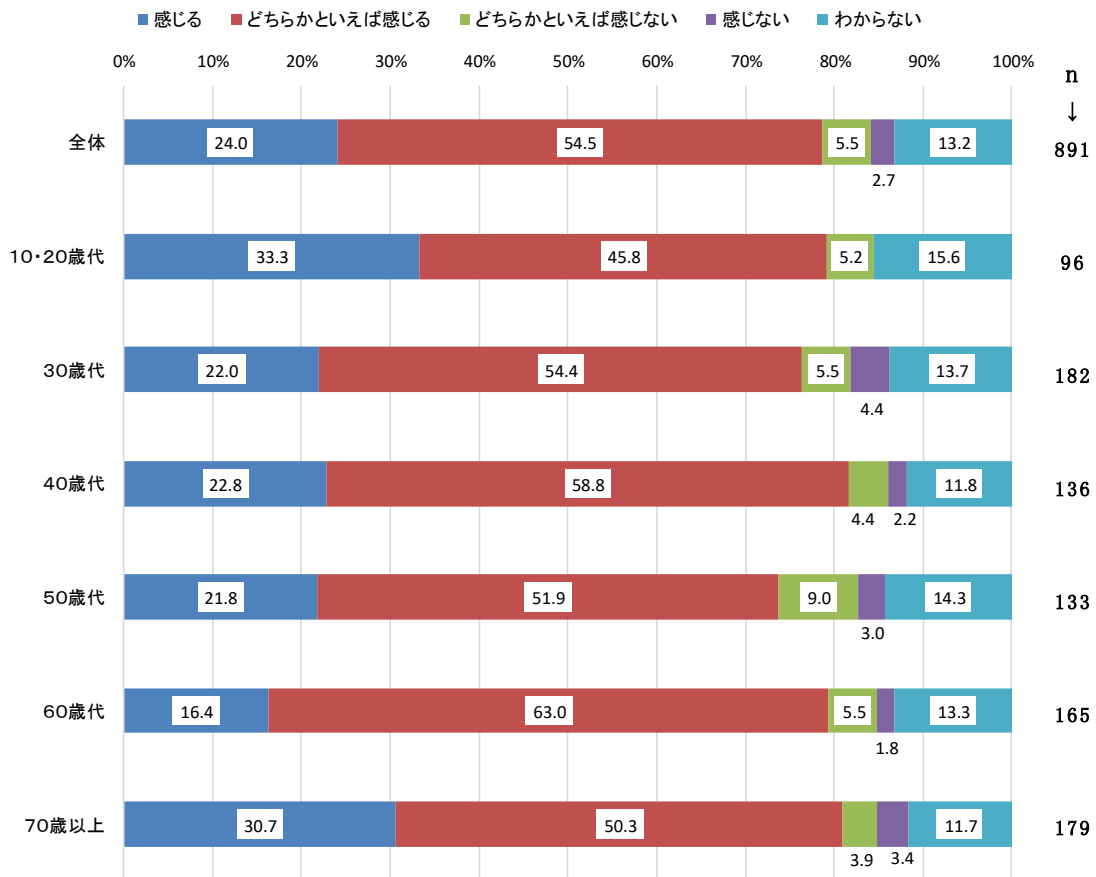
7. 再犯防止

問 24 あなたは、西郷村が犯罪のない（少ない）安全で安心な暮らしやすい村だと感じますか。

全体では「どちらかといえば感じる」が 54.5%、「感じる」が 24.0%と、合わせて 80% 近くの方が安全・安心で暮らしやすいと感じている結果となった。

年代別では「感じる」と回答したのは 10・20 歳代が 33.3%と最も多い。

問2. 年代×問24. 西郷村が安全・安心な村だと感じるか

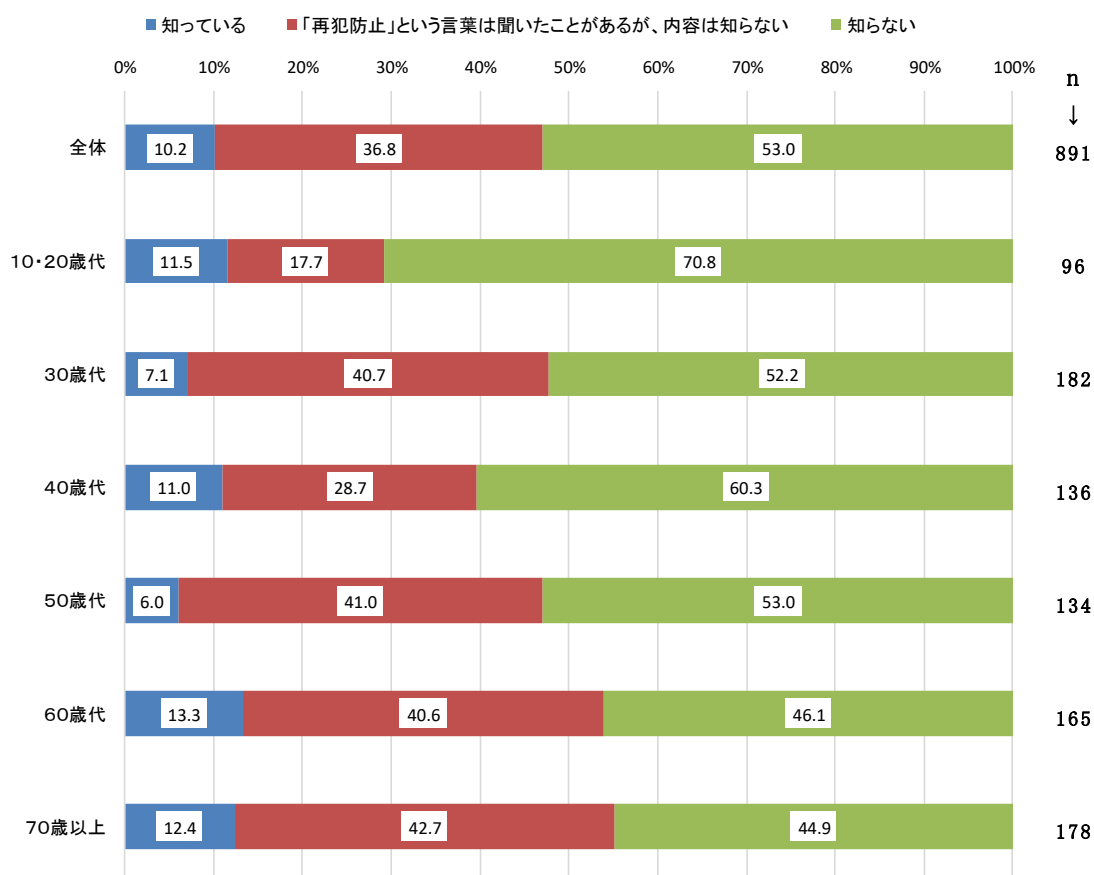


問 25 あなたは、国が平成 28（2016）年に法律を改正し、再犯防止を推進していることを知っていますか。

全体では「知らない」と回答した人は 53.0%と、半数以上の人々が再犯防止推進について認知していないという結果となった。「『再犯防止』という言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答したのは 36.8%だった。

年代別では「知らない」と回答したのは 10・20 歳代が 70.8%だったのに対し、「『再犯防止』という言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答したのは 70 歳以上が 42.7%と多い。

問2. 年代×問25. 国の法改正による再犯防止推進の認知度

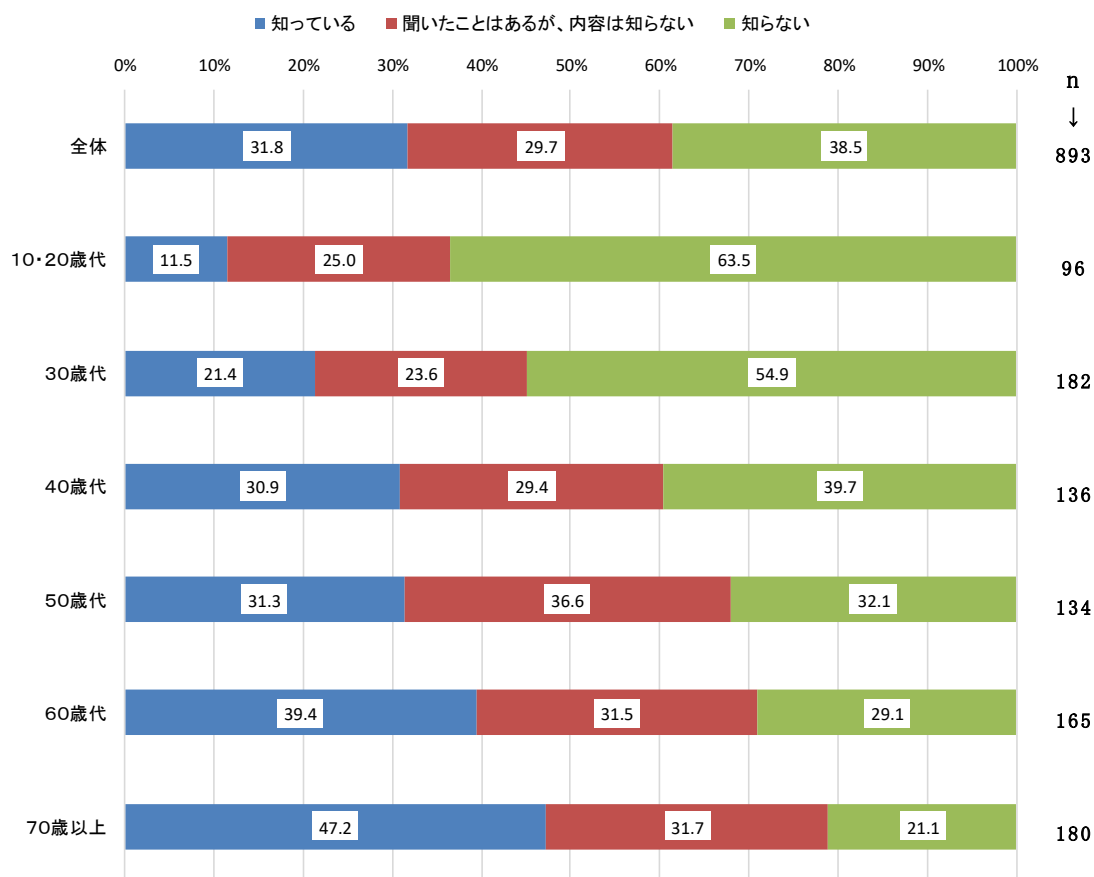


問 26 あなたは、保護司を知っていますか。

全体では「知っている」が 31.8%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 29.7%と、60%以上の方が保護司の存在を認知している。一方、38.5%の人が「知らない」と回答した。

年代別では「知っている」と回答したのは 70 歳以上の方が 47.2%だったのに対し、「知らない」と回答したのは 10・20 歳代が 63.5%と、若年層ほど認知していないという結果になった。

問2. 年代×問26.「保護司」の認知度

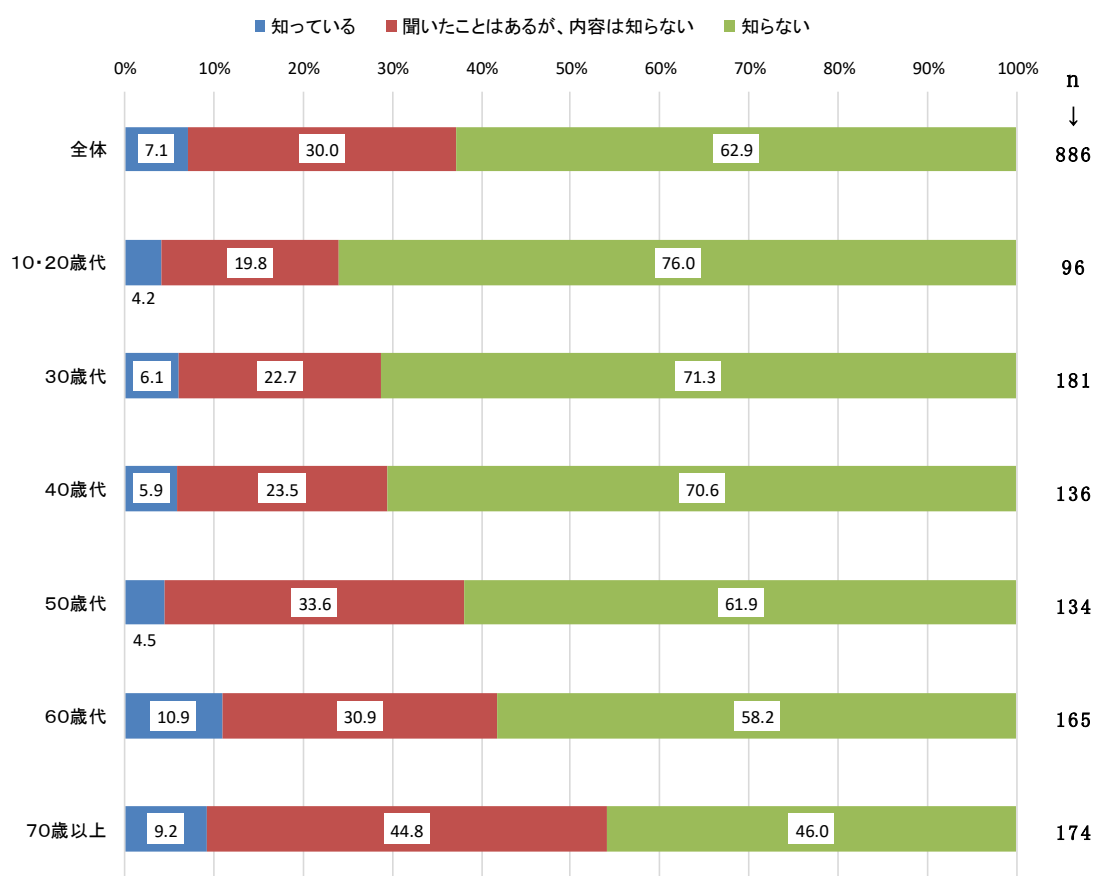


問 27 あなたは、社会を明るくする運動を知っていますか。

全体では「知らない」が 62.9%と最も多く、「知っている」と回答したのは 7.1%に留まる。

年代別では「知らない」と回答したのは 10・20 歳代が 76.0%と最も多く、年齢層が高くなるほど認知度はやや上昇傾向にある。

問2. 年代×問27. 社会を明るくする運動の認知度

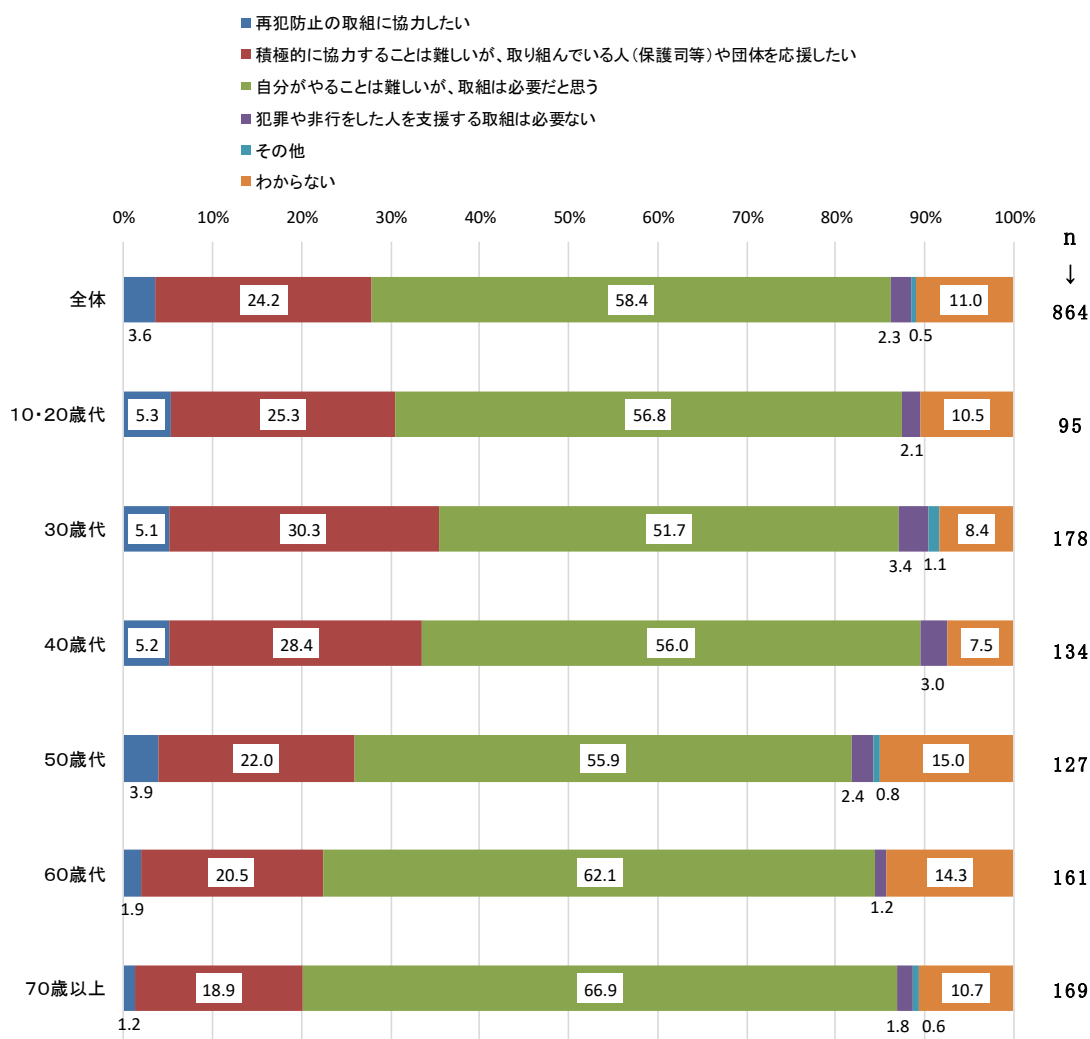


問 28 再犯防止の取組についてのあなたの考え方は次のどれに近いですか。

全体では「自分でやることは難しいが、取組は必要だと思う」が 58.4%と最も多く、次いで「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人や団体を応援したい」と回答したのは 24.2%に上る。

年代別では「自分でやることは難しいが、取組は必要だと思う」と回答したのは 70 歳以上が 66.9%、「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人や団体を応援したい」と回答したのは 30 歳代が 30.3%とそれぞれ多くなっている。

問2. 年代×問28. 再犯防止の取り組みに関する考え

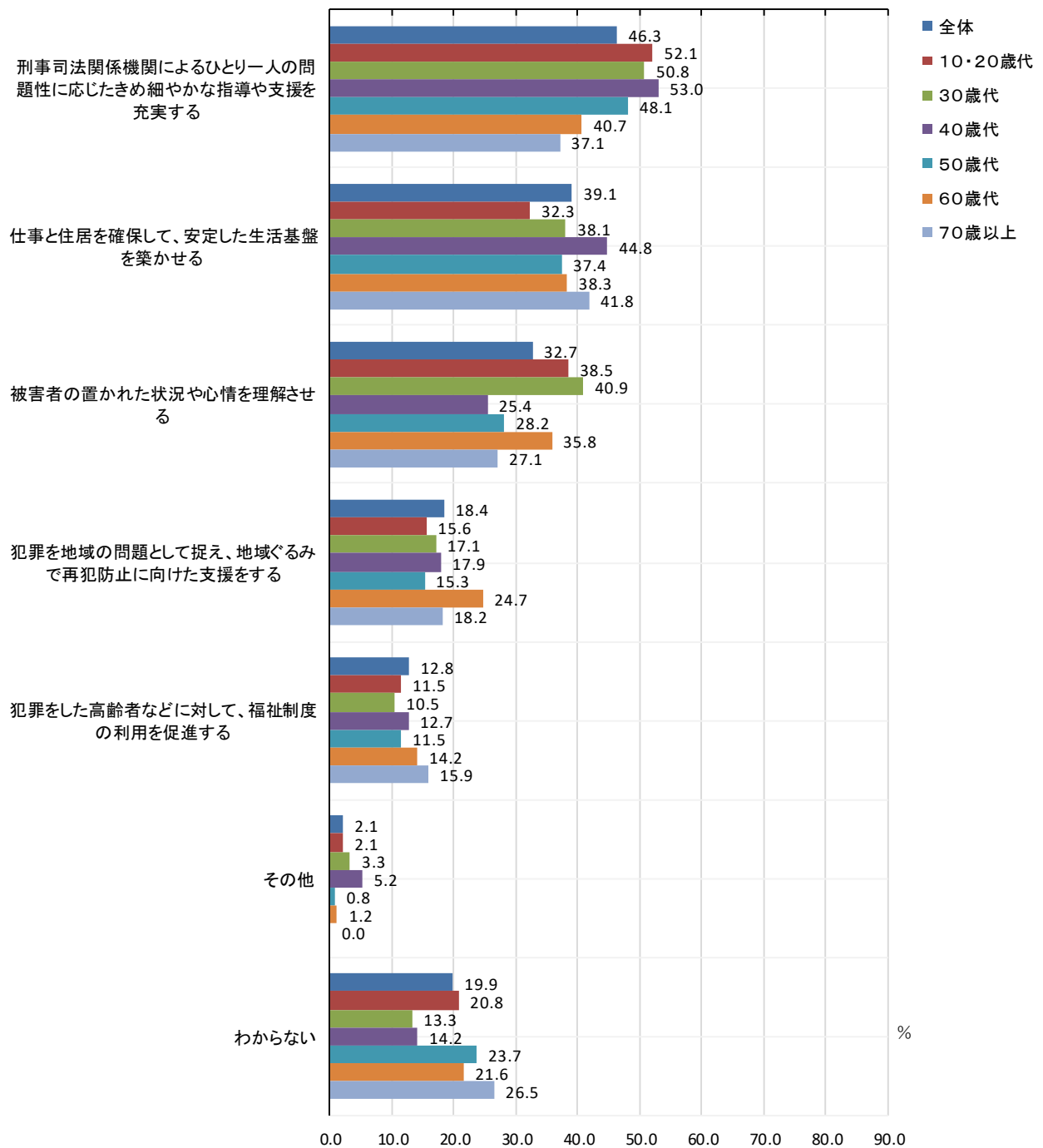


問 29 あなたは、再犯防止のためには具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

全体では「刑事司法関係機関によるひとり一人の問題性に応じたきめ細やかな指導や支援を充実する」が 46.3%と最も多く、「仕事と住居を確保して、安定した生活基準を築かせる」が 39.1%、「被害者の置かれた状況や心情を理解させる」が 32.7%と続く。

年代別では「刑事司法関係機関によるひとり一人の問題性に応じたきめ細やかな指導や支援を充実する」「仕事と住居を確保して、安定した生活基準を築かせる」と回答したのが 40 歳代でそれぞれ 53.0%、44.8%と多くなっている。

問2. 年代×問29. 再犯防止のために必要だと思うこと



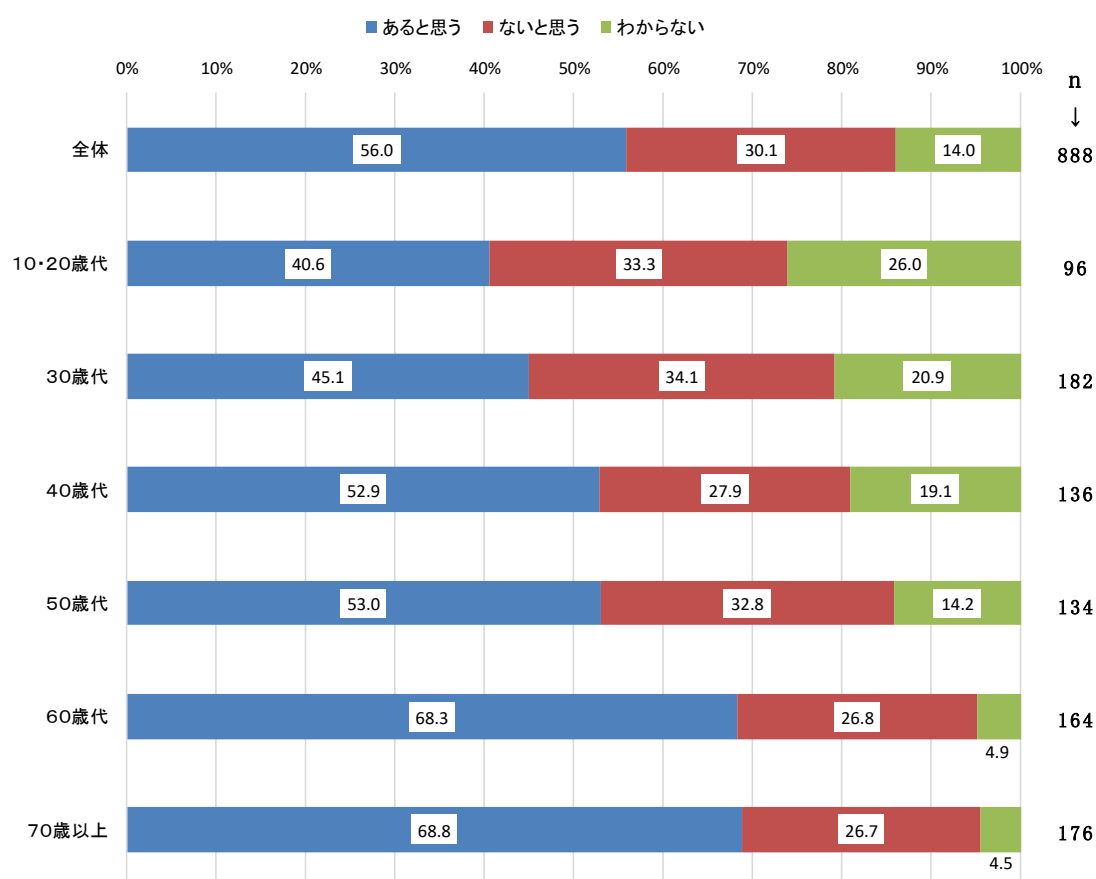
8. 墓地に関すること

問 30 あなたは先祖のお墓を守る立場にありますか。

全体では「あると思う」と回答したのは 56.0%と半数以上に上る。一方、「ないと思う」と回答したのは 30.1%だった。

年代別では「あると思う」と回答したのは 70 歳以上と 60 歳代でそれぞれ 68.8%、68.3%と、高齢者層ほど多い傾向にある。

問2. 年代×問30. 墓の管理有無

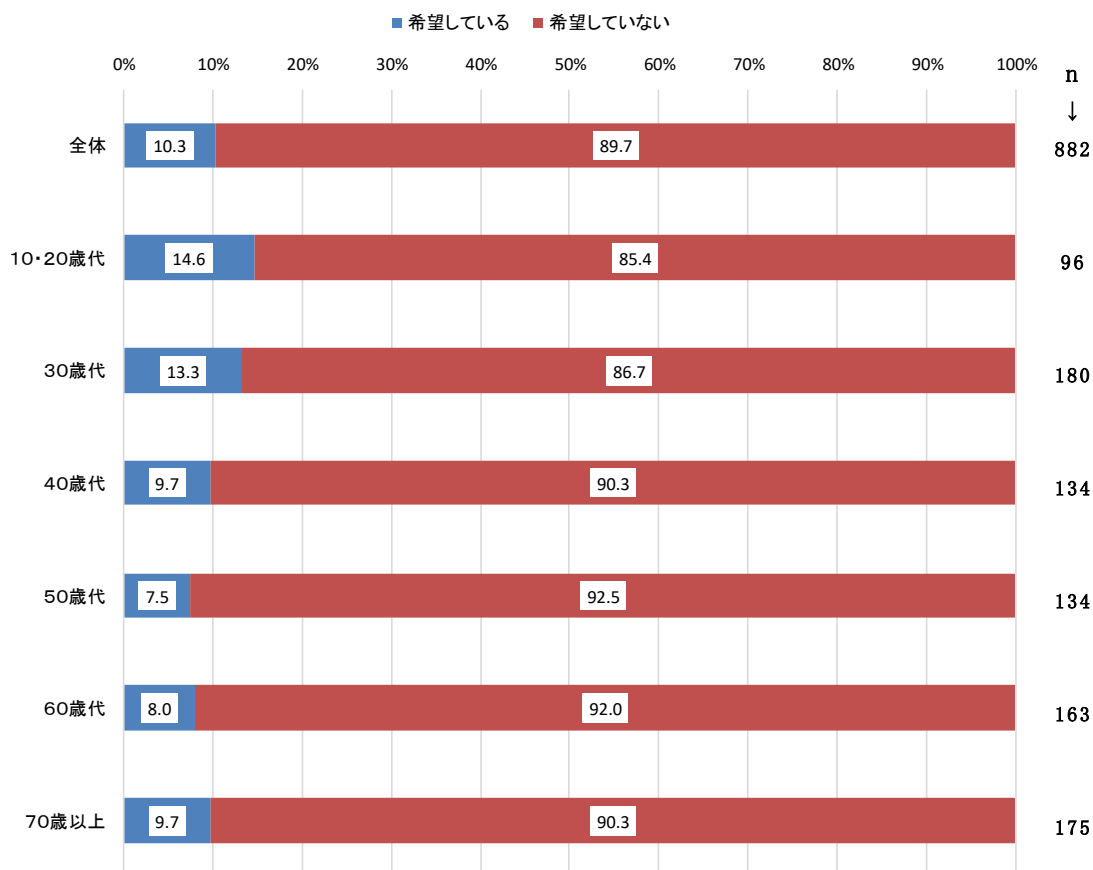


問 31 あなたは墓地の取得を希望していますか。

全体では「希望していない」が 89.7%に上り、大多数が墓地の取得に消極的だという結果となった。「希望している」と回答したのは 10.3%に留まる。

年代別では「希望していない」と回答したのは 70 歳以上と 40 歳代がいずれも 90.3%と最も多い。

問2. 年代×問31. 墓地取得の希望有無

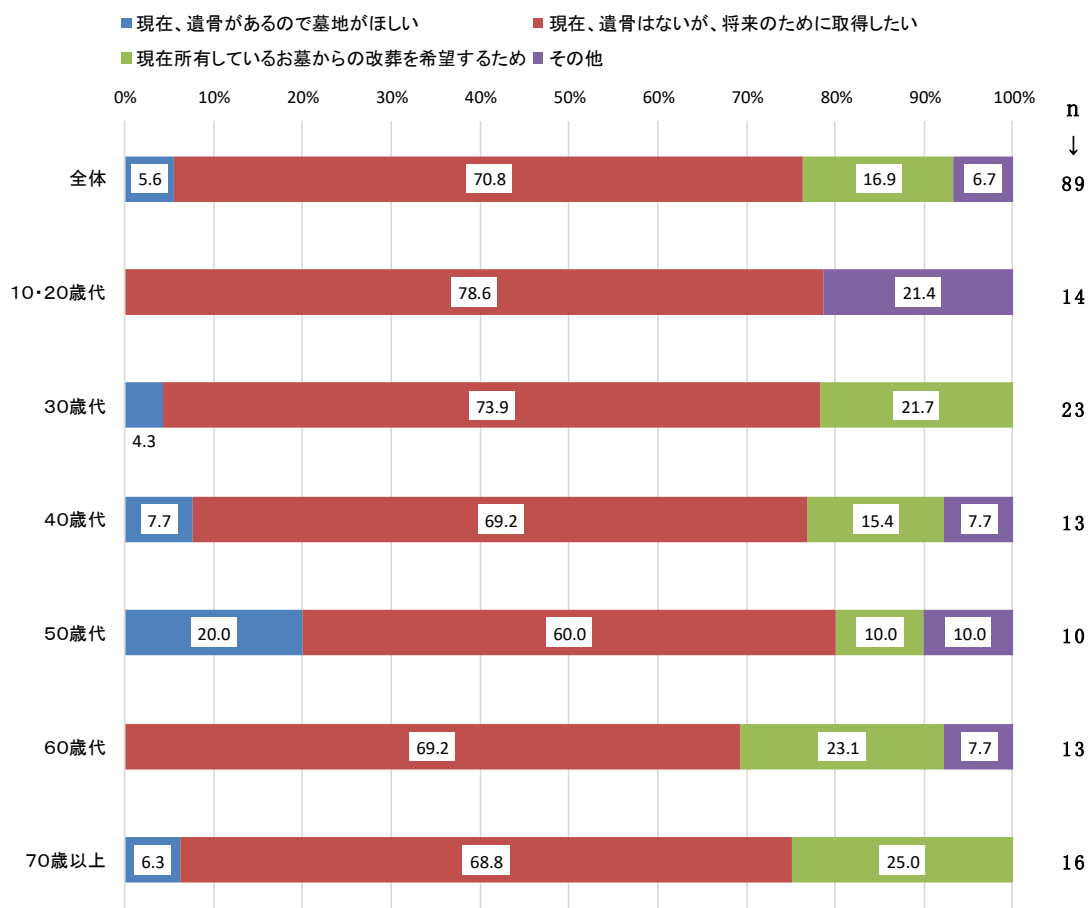


問 31-1【前問で 1. を回答した方】墓地の取得を希望している理由は次のどれですか。

全体では「現在、遺骨はないが、将来のために取得したい」が 70.8%と最も多く、「現在所有しているお墓からの改葬を希望するため」が 16.9%と続いた。

年代別では「現在、遺骨はないが、将来のために取得したい」と回答したのは 10・20 歳代が 78.6%と最も多く、30 歳代が 73.9%と続く。

問2. 年代×問31-1. 墓地取得希望の理由

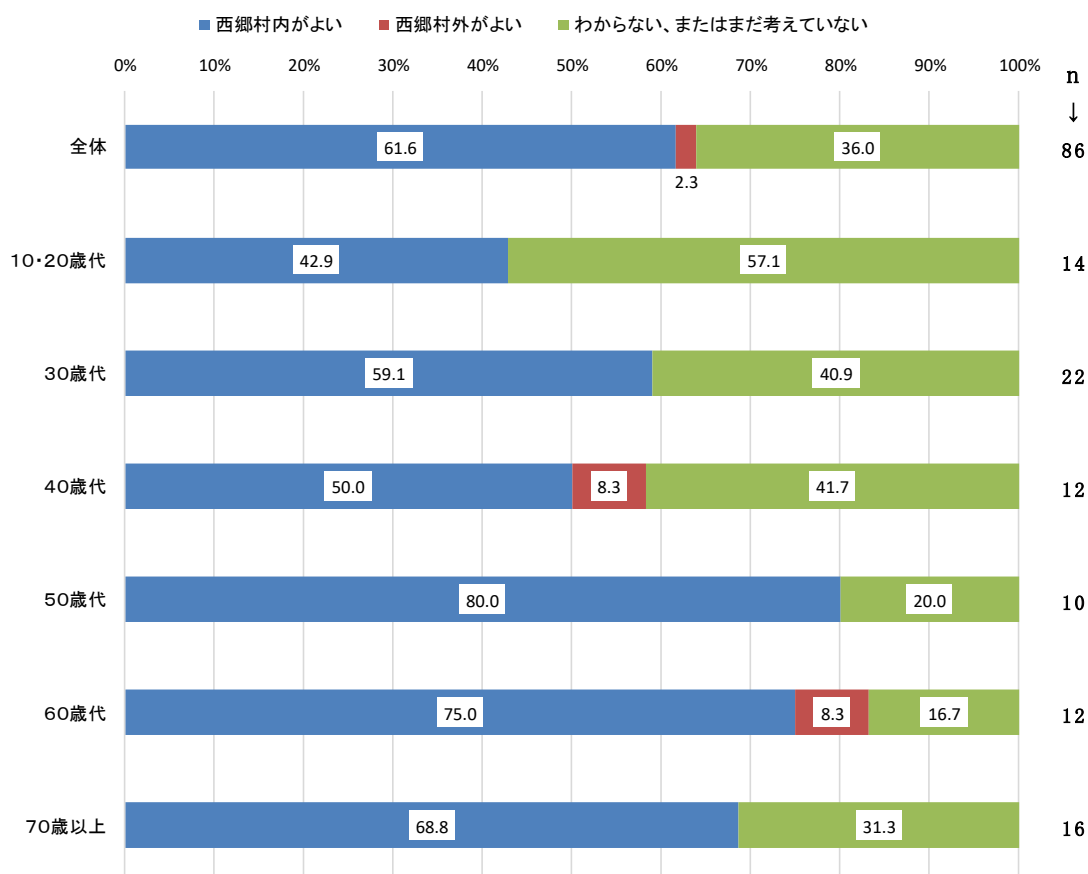


問 31-2【前問で 1. を回答した方】あなたは墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。

全体では「西郷村内がよい」が 61.6%と最も多く、「わからない、またはまだ考えていない」が 36.0%と続いた。「西郷村外がよい」は 2.3%に留まる。

年代別では「西郷村内がよい」と回答したのは 50 歳代が 80.0%、「わからない、またはまだ考えていない」と回答したのは 10・20 歳代が 57.1%と多い。

問2. 年代×問31-2. 墓地取得で希望する地域

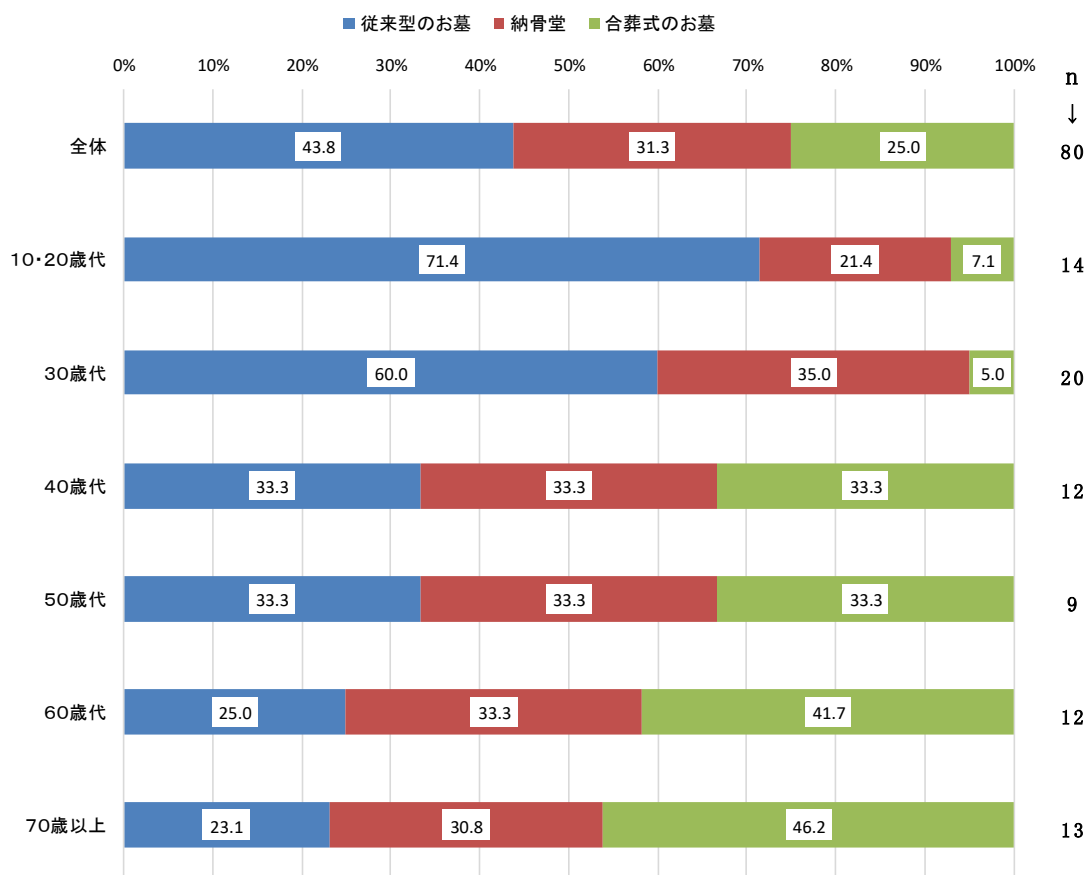


問 31-3【前問で 1. を回答した方】どのような形態を希望しますか。

全体では「従来型のお墓」が 43.8%と最も多く、「納骨堂」が 31.3%、「合葬式のお墓」が 25.0%と続く。

年代別では「従来型のお墓」と回答したのは 10・20 歳代が 71.4%、30 歳代が 60.0%と若年層ほど多く、「合葬式のお墓」と回答したのは 70 歳以上が 46.2%と高齢者層に多い結果となった。

問2. 年代×問31-3. 墓地取得で希望する形態

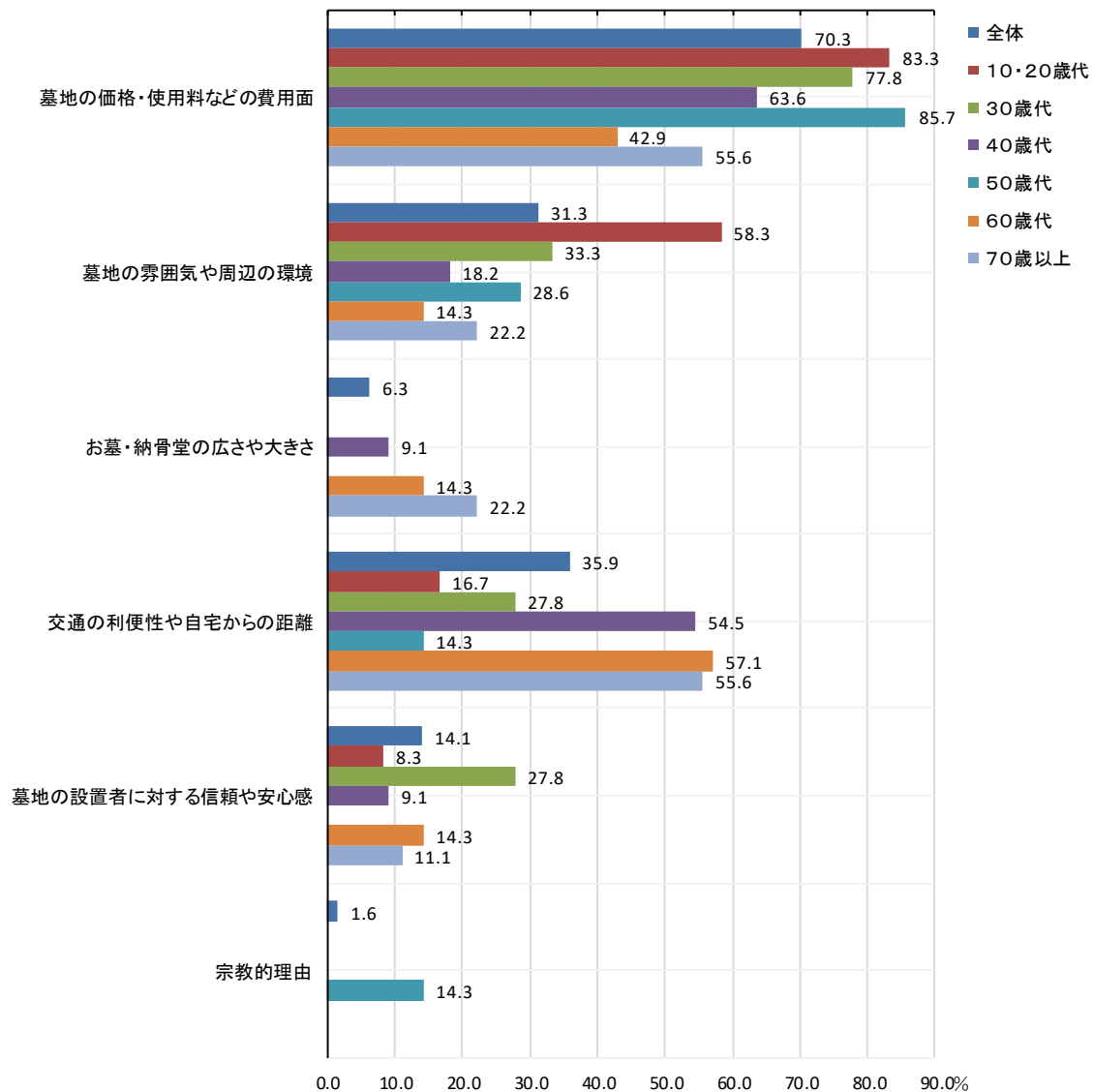


問 31-4【前問で 1. を回答した方】取得する際に特に重視する点は何ですか。

全体では「墓地の価値・使用料などの費用面」が 70.3%と、半数以上の方が回答した。次いで「交通の利便性や自宅からの距離」が 35.9%、「墓地の雰囲気や周辺の環境」が 31.3%とそれぞれ多くなっている。

年代別では「墓地の価値・使用料などの費用面」と回答したのは 50 歳代が 85.7%、10・20 歳代が 83.3%、30 歳代が 77.8%と全体より多く、「墓地の雰囲気や周辺の環境」は 10・20 歳代が 58.3%、「交通の利便性や自宅からの距離」は 60 歳代、70 歳以上、40 歳代がそれぞれ 57.1%、55.6%、54.5%と多くなっている。

問2. 年代×問31-4. 墓地取得の際に重視する点

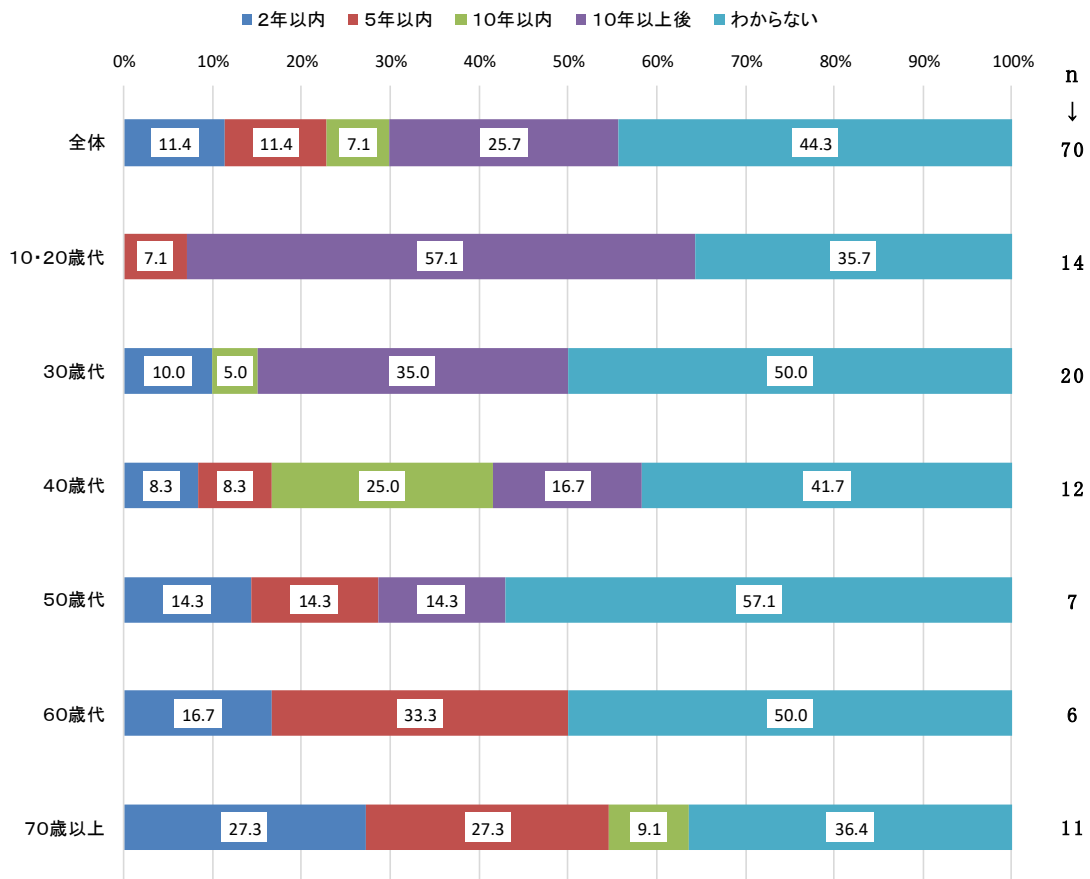


問 31-5【前問で 1. を回答した方】あなたは墓地をいつ頃取得したいと考えていますか。

全体では 44.3%の人が「わからない」と回答。次いで「10 年以上後」が 25.7%と多くなっている。

年代別では「10 年以上後」と回答したのは 10・20 歳代が 57.1%と最も多い。

問2. 年代×問31-5. 墓地取得の希望時期

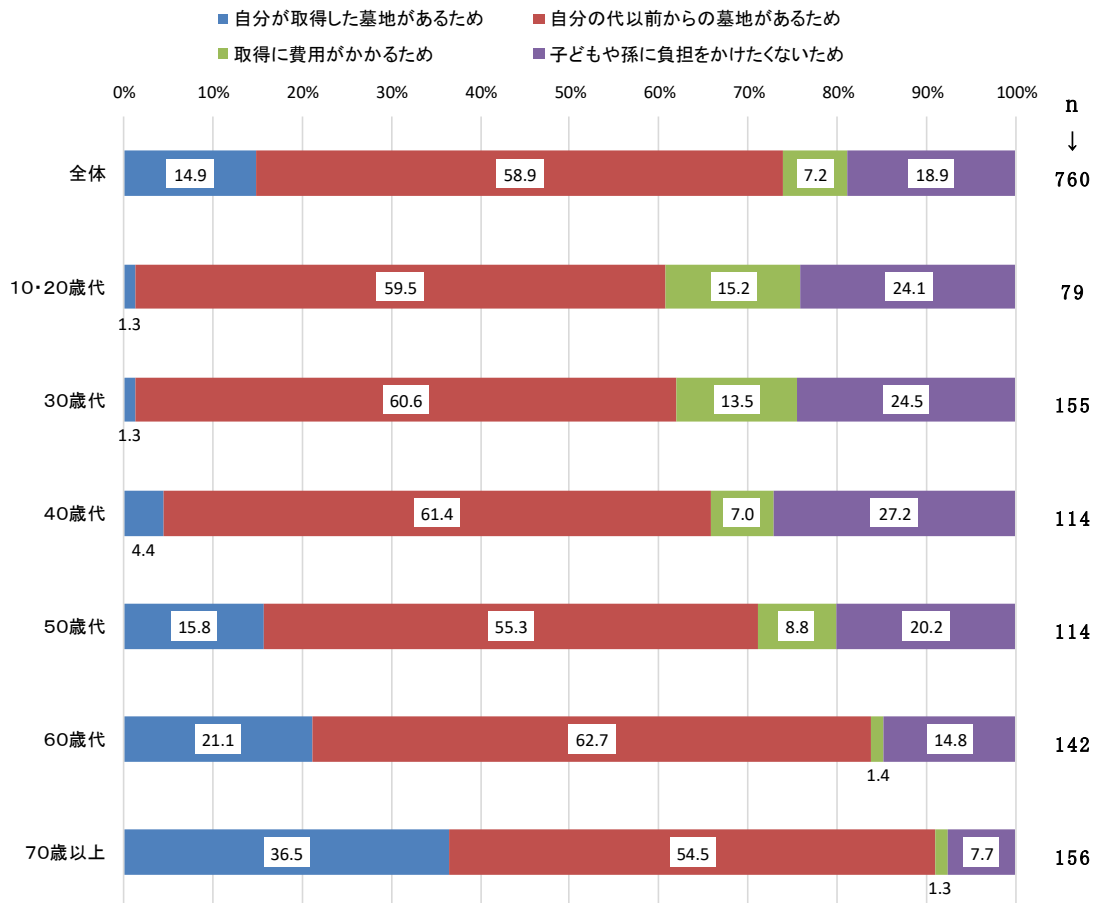


問 31-6【前問で 2. を回答した方】墓地の取得を希望しない理由をお聞かせください。

全体では「自分の代以前からの墓地があるため」が 58.9%と最も多く、「子どもや孫に負担をかけたくないため」が 18.9%、「自分が取得した墓地があるため」が 14.9%と続いた。

年代別では「自分の代以前からの墓地があるため」と回答した人は 60 歳代が 62.7%、「自分が取得した墓地があるため」は 70 歳代以上が 36.5%と多かった一方、40 歳代の 27.2%は「子どもや孫に負担をかけたくないため」と回答した。

問2. 年代×問31-6. 墓地取得を希望しない理由



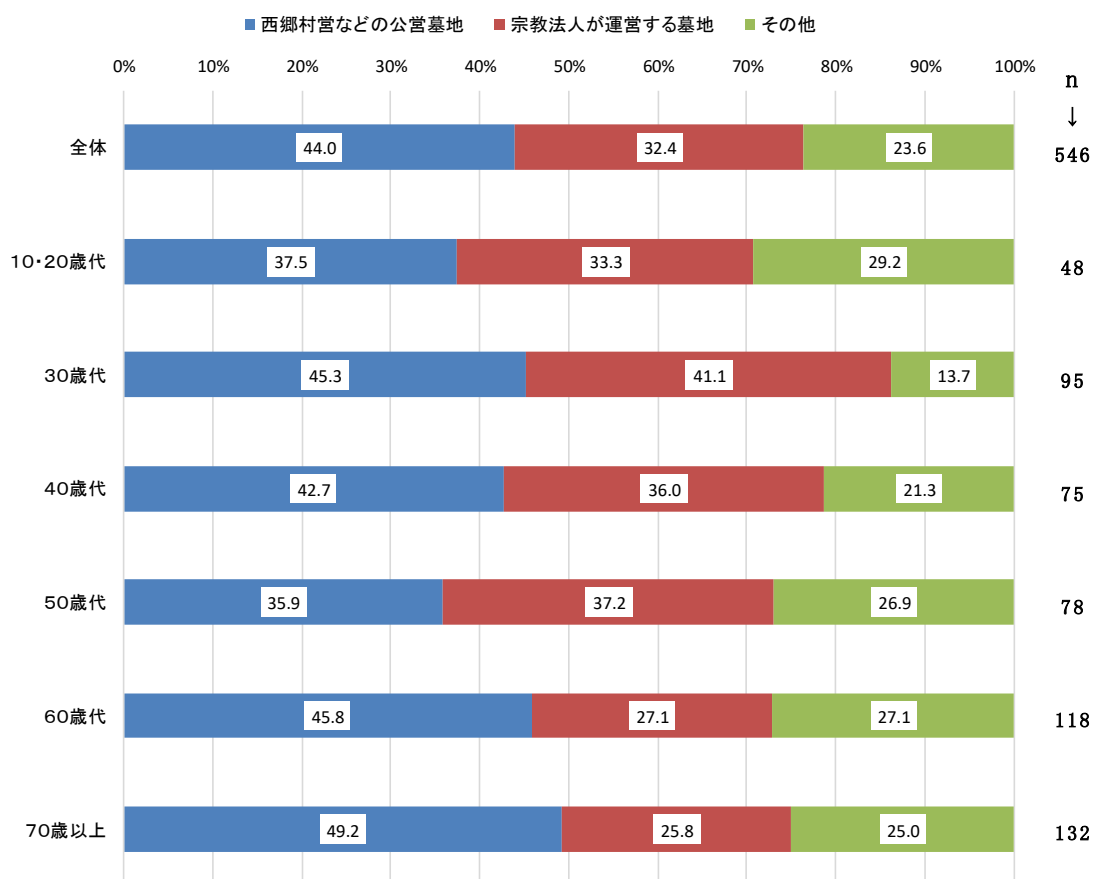
問 31-7【前問で 1. または 2. を回答した方】墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

①あなたの墓地は次のどれですか。

全体では「西郷村営などの公営墓地」が 44.0%と最も多く、次いで「宗教法人が運営する墓地」が 32.4%と多い。

年代別では「西郷村営などの公営墓地」と回答したのは 70 歳代が 49.2%、60 歳代が 45.8%、「宗教法人が運営する墓地」と回答したのは 30 歳代が 41.1%だった。

問2. 年代×問31-7①. 墓地の種別

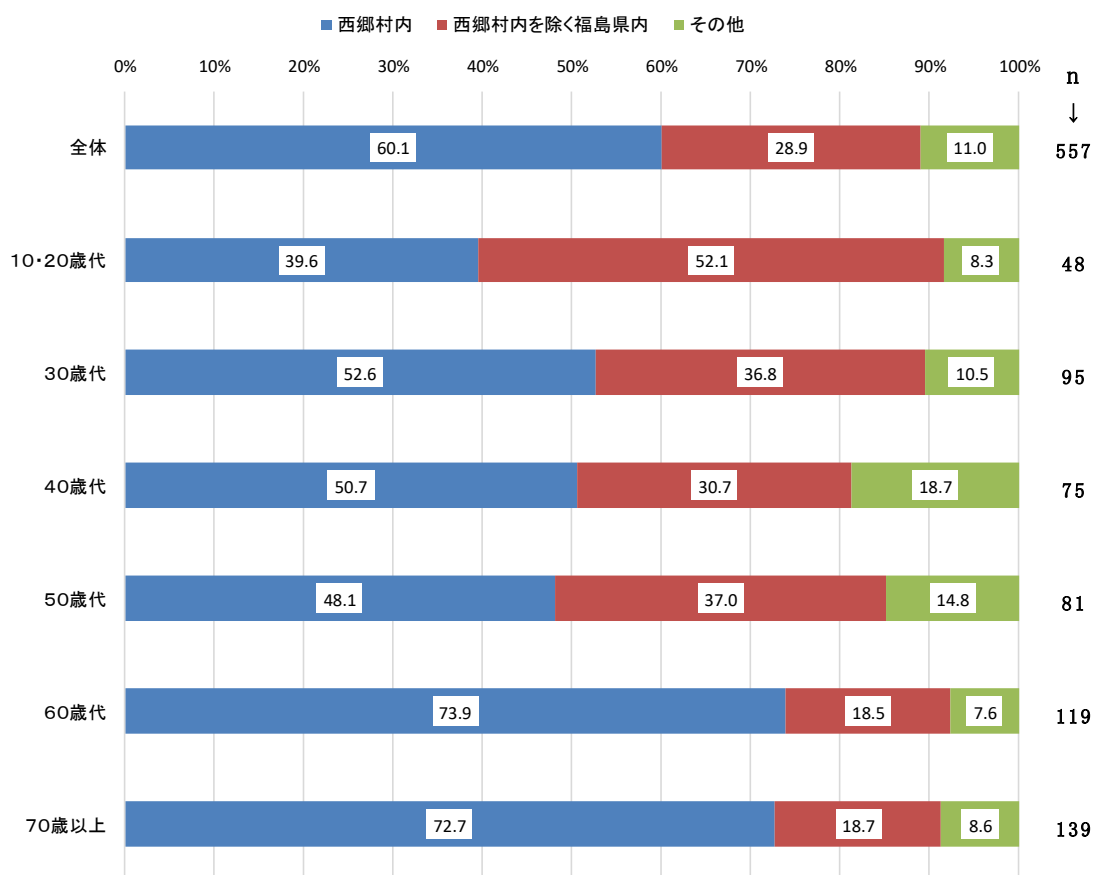


②あなたの墓地はどの地域にありますか。

全体では「西郷村内」が60.1%と最も多く、次いで「西郷村内を除く福島県内」が28.9%と多い。

年代別では「西郷村内」と回答したのは60歳代が73.9%、70歳以上が72.7%だったのに対し、「西郷村内を除く福島県内」と回答したのは10・20歳代が52.1%と多い結果となった。

問2. 年代×問31-7②. 墓地の所在地域

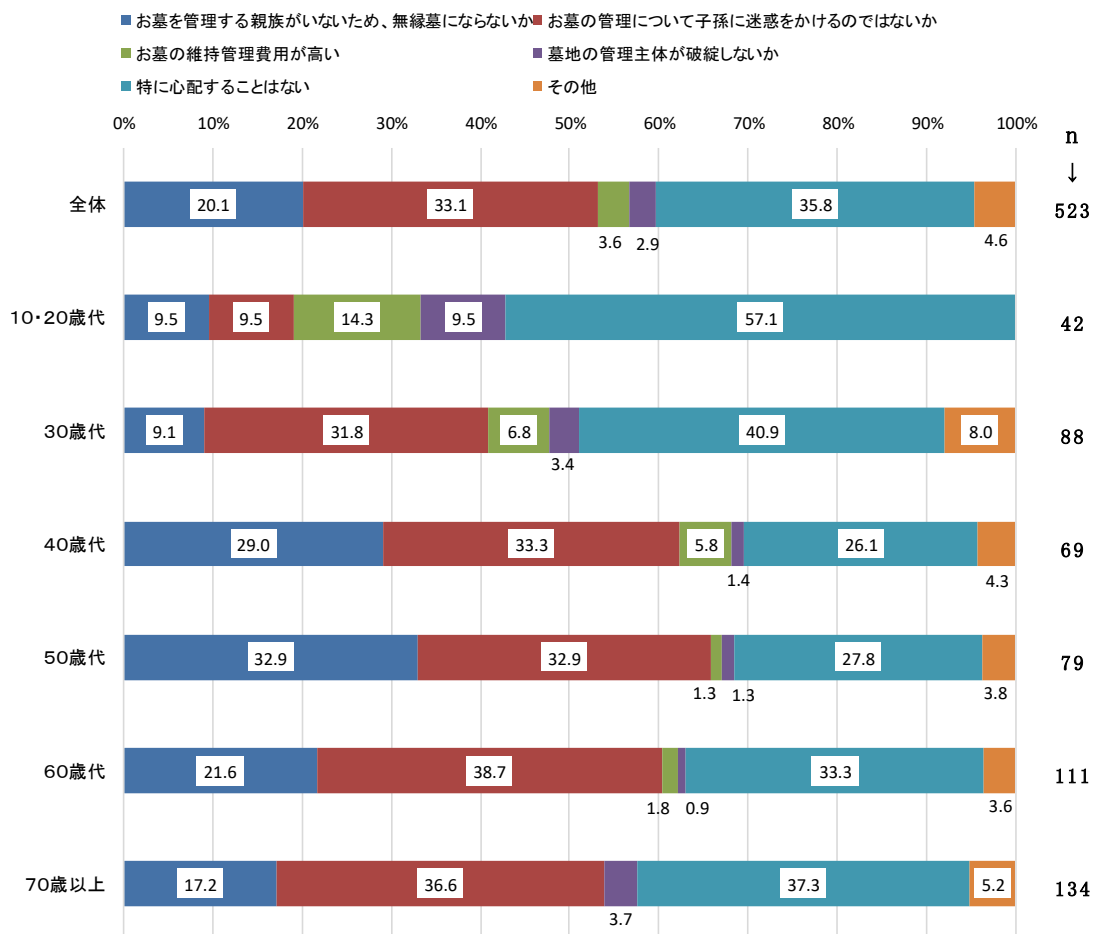


③将来も含め墓地の心配ごとは何ですか。

全体では 35.8%の人が「特に心配することはない」と回答した一方、「お墓の管理について子孫に迷惑をかけるのではないか」「お墓を管理する親族がいないため、無縁墓にならないか」と回答した人がそれぞれ 33.1%、20.1%と多い傾向にある。

年代別では「特に心配することはない」と回答したのは 10・20 歳代が 57.1%と最も多く、「お墓の管理について子孫に迷惑をかけるのではないか」と回答したのは 60 歳代が 38.7%、「お墓を管理する親族がいないため、無縁墓にならないか」と回答したのは 50 歳代が 32.9%という結果になった。

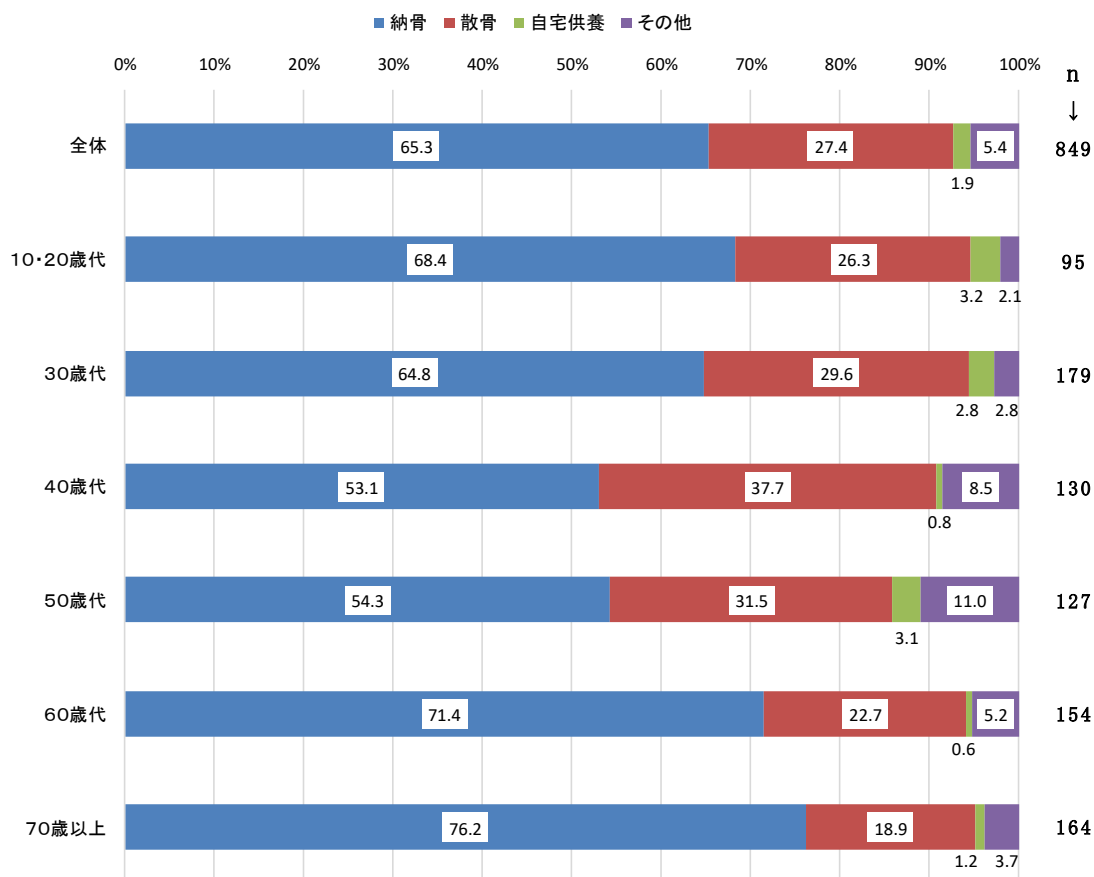
問2. 年代×問31-7③. 墓地に関する心配ごと



問 32 あなたご自身の遺骨をどのようにしてもらいたいですか。

全体では「納骨」が 65.3%と最も多く、次いで「散骨」と回答した人が 27.4%と多い。
年代別では 70 歳以上の人のうち 76.2%が「納骨」を希望。一方、40 歳代と 50 歳代では「散骨」を希望する人がそれぞれ 37.7%、31.5%と全体より多い傾向にある。

問2. 年代×問32. 希望する自身の遺骨の扱い

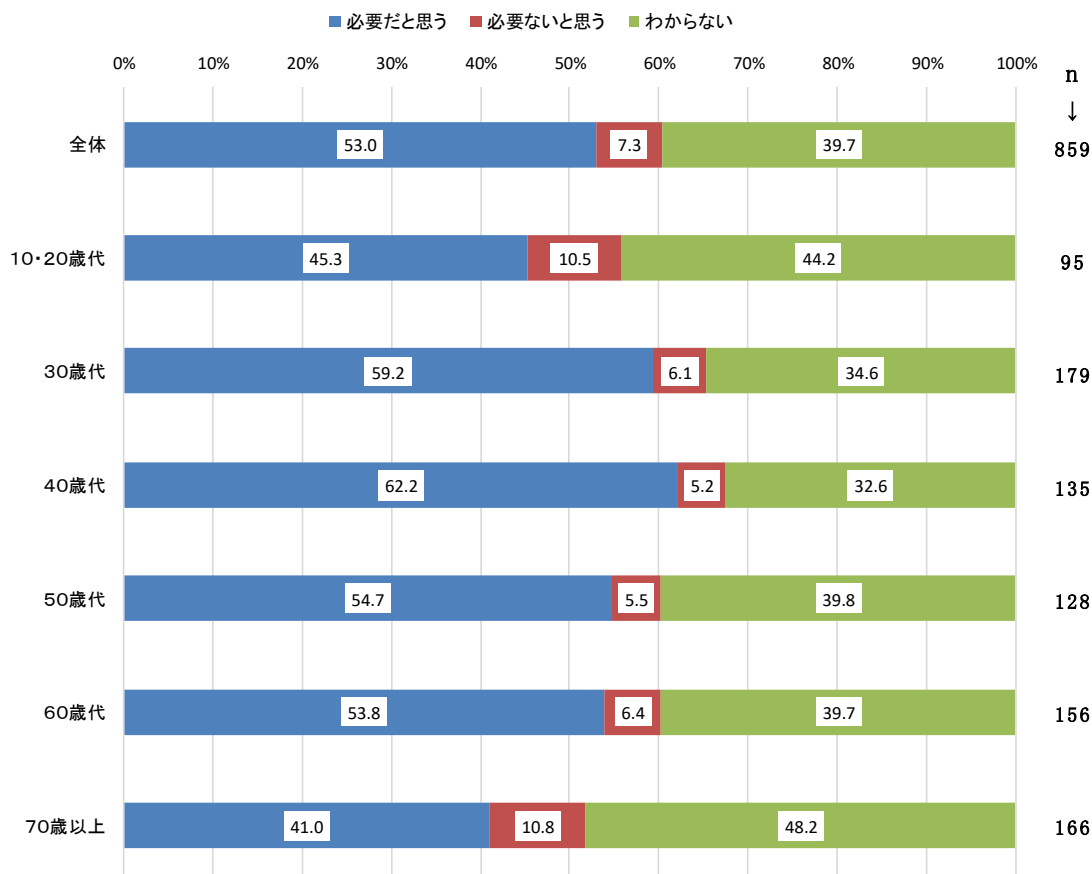


問 33 合葬式墓地についておたずねします。あなたは、西郷村に合葬式墓地が必要だと思いますか。

全体では「必要だと思う」と回答した人は 53.0%に上り、半数以上の人が合葬式墓地の必要性を認識している。一方、「わからない」と回答した人は 39.7%、「必要ないと思う」と回答した人は 7.3%となっている。

年代別では「必要だと思う」と回答した人は 40 歳代が 62.2%と最も多い。

問2. 年代×問33. 合葬式墓地の必要性に関する所感

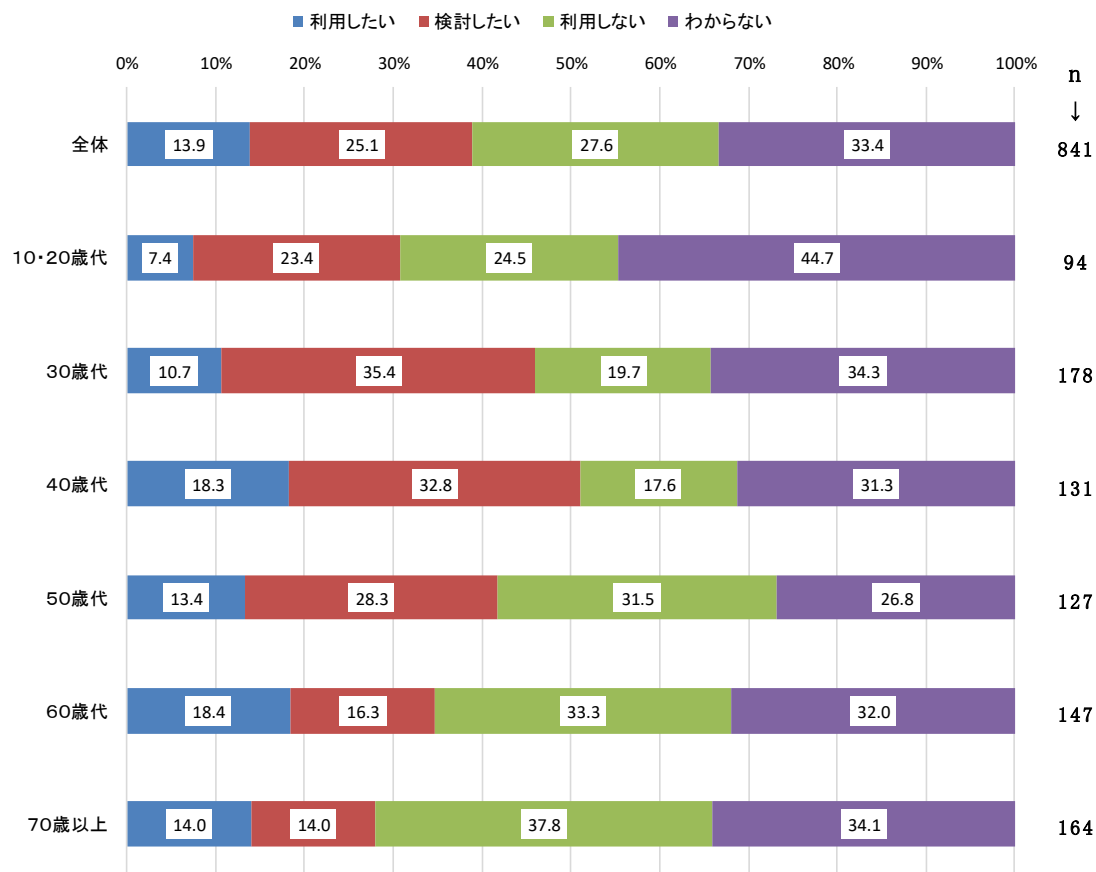


問 34 合葬式墓地が西郷村に整備された場合、利用したいですか。

全体では「わからない」と回答した人が 33.4%と最も多く、「利用しない」が 27.9%、「検討したい」が 25.1%と続いた。

年代別では「利用しない」と回答したのは 70 歳代が 37.8%、「検討したい」と回答したのは 30 歳代が 35.4%、40 歳代が 32.8%となっている。

問2. 年代×問34. 合葬式墓地の利用意向

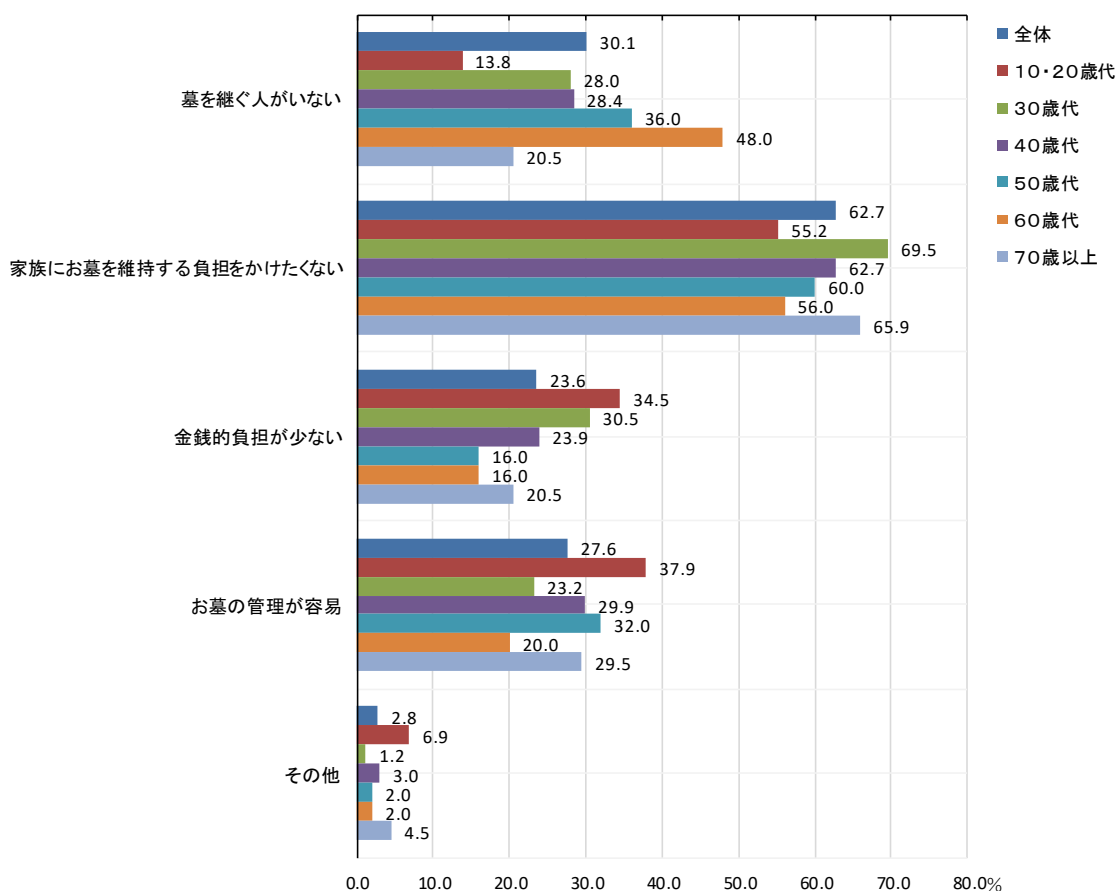


問 34-1【前問で 1. または 2. を回答した方】利用したい・検討したいと思う理由を教えてください。

全体では「家族にお墓を維持する負担をかけたくない」が 62.7%と最も多い結果となった。「墓を継ぐ人がいない」「お墓の管理が容易」「金銭的負担が少ない」がそれぞれ 30.1%、27.6%、23.6%と続く。

年代別では「家族にお墓を維持する負担をかけたくない」と回答したのは 30 歳代が 69.5%、70 歳以上が 65.9%といずれも全体より多い。また「墓を継ぐ人がいない」と回答した人は 60 歳代で 48.0%となっている。

問2. 年代×問34-1. 利用したい・検討したい理由

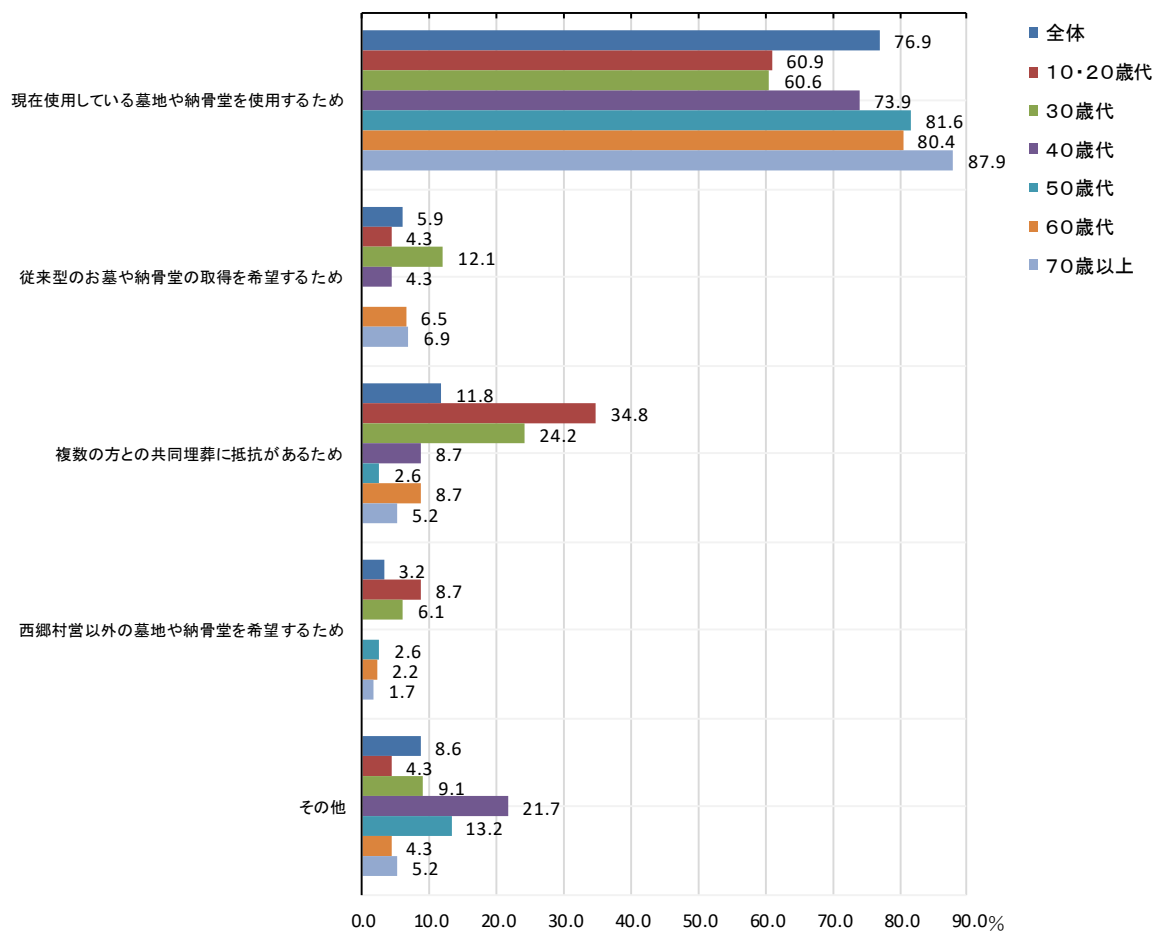


問 34-2 【問 34 で 3. を回答した方】 利用しない理由を教えてください。

全体では「現在使用している墓地や納骨堂を使用するため」と回答した人が 76.9%と最も多い。次いで「複数の方との共同埋葬に抵抗があるため」と回答した人が 11.8%と多い。

年代別では 70 歳以上のうち 87.9%が「現在使用している墓地や納骨堂を使用するため」と回答。50 歳代が 81.6%、60 歳代が 80.4%と続く。「複数の方との共同埋葬に抵抗があるため」と回答したのは 10・20 歳代が最も多く、34.8%に上る。

問2. 年代×問34-2. 利用しない理由

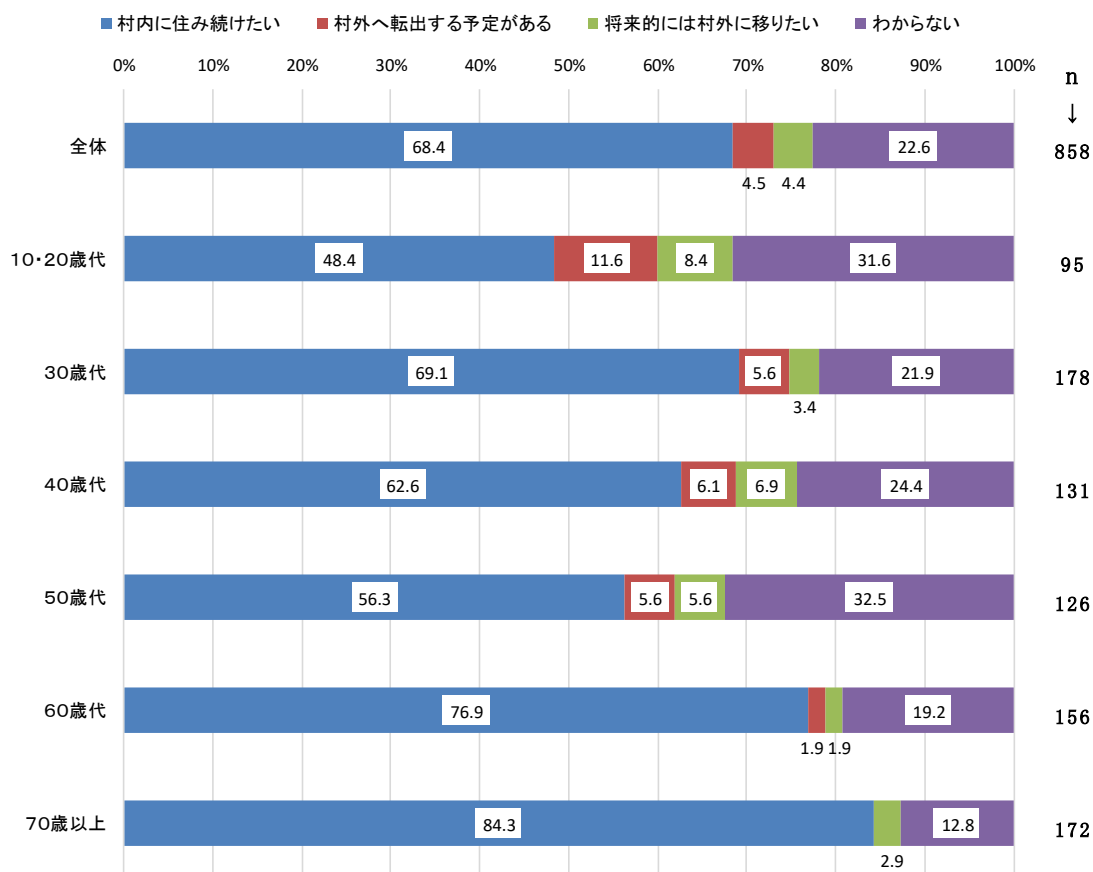


問 35【すべての方が回答】あなたは今後も西郷村に住み続けたいと思いますか。

全体では「村内に住み続けたい」と回答した人が 68.4%と最も多くなっている。

年代別では 70 歳以上のうち 84.3%が「村内に住み続けたい」と回答。一方、10・20 歳のうち 11.6%が「村外へ転出する予定がある」と回答した。

問2. 年代×問35. 今後の西郷村の継続居住意向



問 36 墓地の在り方に関するご意見や西郷村営の墓地に関してのご感想、ご意見などがございましたらご記入ください。

墓地の管理に対する不安や懸念を感じている人が多かった一方、合葬式墓地・共同墓地に対して理解を示す意見も多く見られた。

墓地のあり方

順位	内容	件数
1位	墓地の管理について	21
	・近年無縁仏のお墓が増えているように思います。自分達も今はお墓を守っていますが、その先はとて心配です。 ・(費用含め)墓地の管理方法、安い費用で外注委託できる業者を紹介してほしい。 ・県外から来たため墓地に関する説明や手続き方法などの情報がほしい。	
2位	合葬式墓地・共同墓地への理解	8
	・合葬式墓地が広まると、親も子も気が楽になるだけでなく、負担も減ってよいと思う。 ・共同墓地があると助かる人はたくさんいると思います。お墓の管理も大変だが、引き継ぐ子どもが遠方の場合や、金銭的に大変な人にとてもよいと思います。 ・少子高齢化でこれまでとは違う変化の時代が来ていると思いますので、合葬式墓地は必要だと思います。	
3位	その他	6
	・村内に住みたい人には、「ゆりかごから墓場まで」。 ・お墓参りのセットが設置されていること。 ・墓地の金額、墓地を使用しなくなった人の空いている所、西郷村で公表をお願いしたい。	
	墓地の環境	6
5位	墓じまいについて	3
	・自身のお墓が無い現実と、実家の墓じまいが必要な現実。 ・現在、持っているお墓の撤去を希望している。 ・「墓じまい」に関する方策の明確化。	

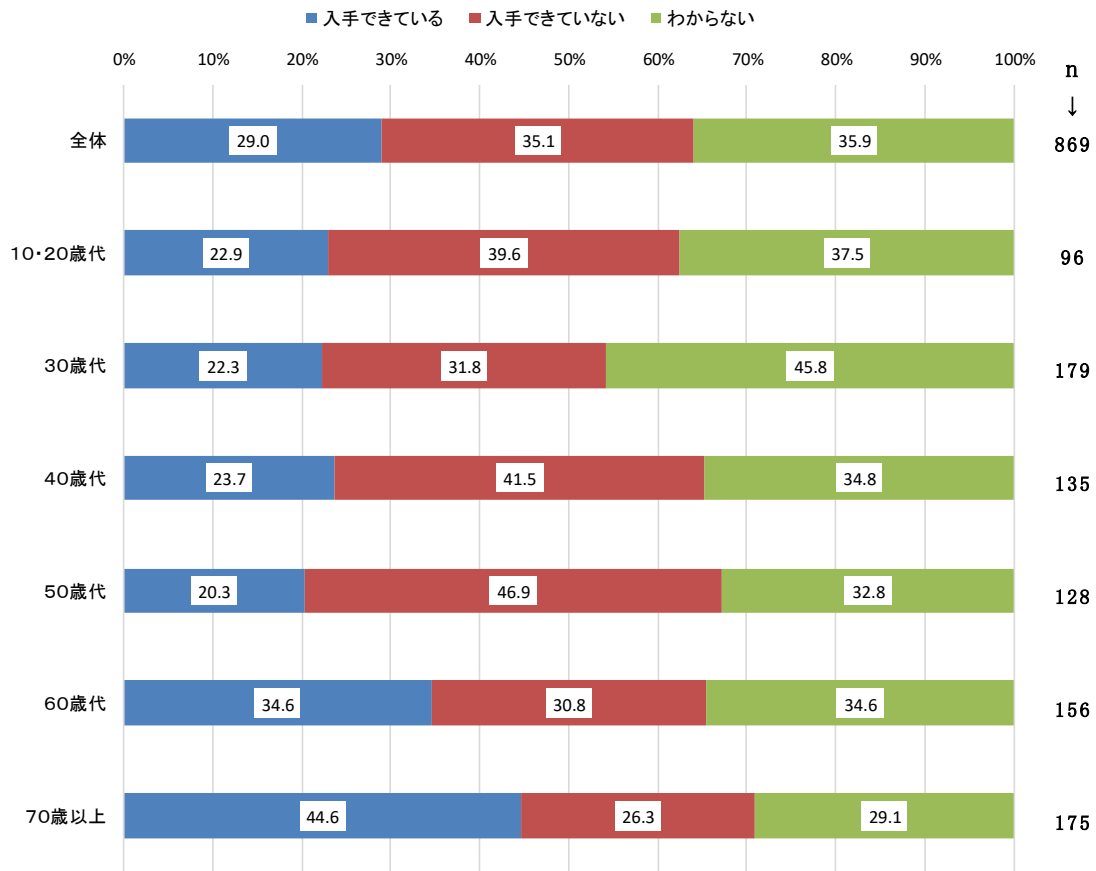
9. 福祉サービス等

問 37 あなたは、福祉サービスに関する情報を入手できていると思いますか。

全体では「わからない」と回答した人が 35.9%と最も多く、「入手できていない」が 35.1%、「入手できている」が 29.0%と続いた。

年代別では「入手できている」と回答したのは 70 歳以上が 44.6%と最も多かったのに対し、「入手できていない」と回答したのは 50 歳代が 46.9%だった。

問2. 年代×問37. 福祉サービス情報の入手状況

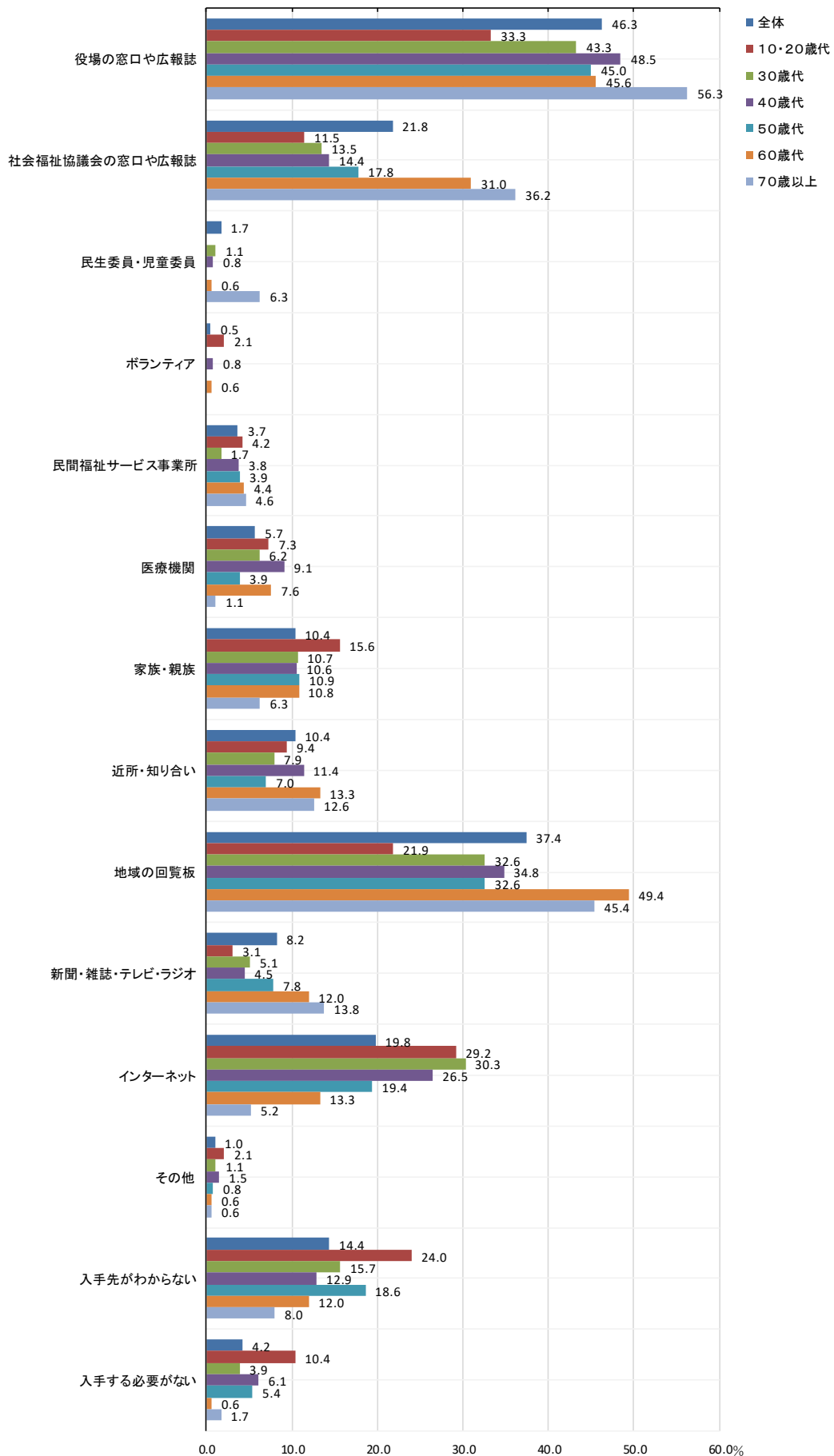


問 38 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。

全体では「役場の窓口や広報誌」が 46.3%と最も多く、次いで「地域の回覧板」が 37.4%、「社会福祉協議会の窓口や広報誌」が 21.8%、「インターネット」が 19.8%と多い。一方、14.4%の人が「入手先がわからない」と回答した。

年代別では「役場の窓口や広報誌」と回答したのは 70 歳以上が 56.3%、40 歳代が 48.5%、「地域の回覧板」は 60 歳代が 49.4%と、高齢者層に多い傾向がある。「インターネット」と回答したのは 10・20 歳代が 29.2%、30 歳が 30.3%といずれも全体より多く、10・20 歳代のうち 24.0%が「入手先がわからない」と回答した。

問2. 年代×問38. 福祉サービスに関する情報の入手原

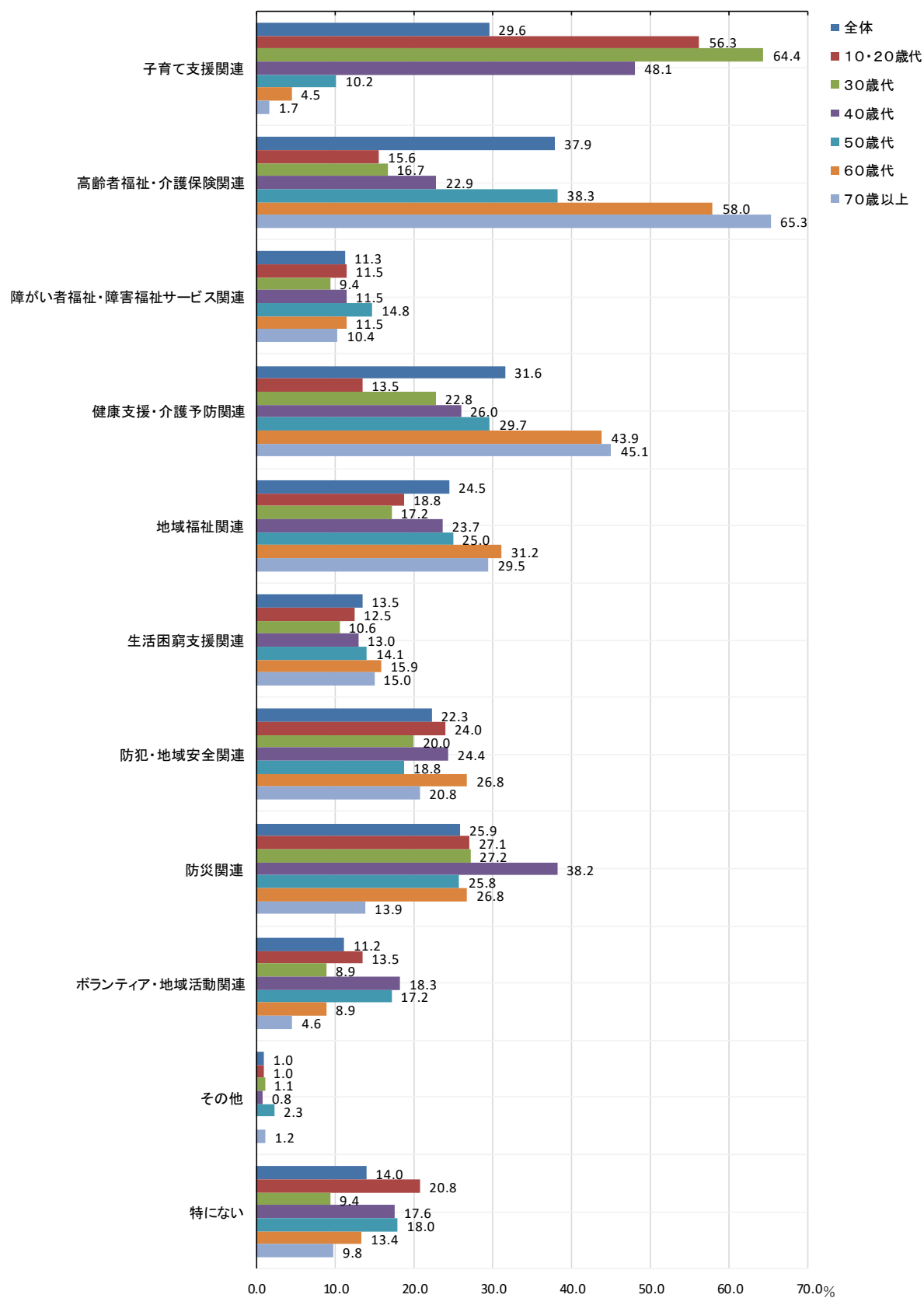


問 39 福祉について、どのような情報を知りたいですか。

全体では「高齢者福祉・介護保険関連」が 37.9%と最も多く、次いで「健康支援・介護予防関連」が 31.6%、「子育て支援関連」が 29.6%、「防災関連」が 25.9%とそれぞれ多くなっている。

年代別では 30 歳代のうち 64.4%、10・20 歳代のうち 56.3%が「子育て支援関連」と回答。一方、「高齢者福祉・介護保険関連」「健康支援・介護予防関連」と回答したのは 70 歳以上がそれぞれ 65.3%と 45.1%、60 歳代がそれぞれ 58.0%と 43.9%と、年代による差が顕著な結果となった。

問2. 年代×問39. 福祉について知りたい情報

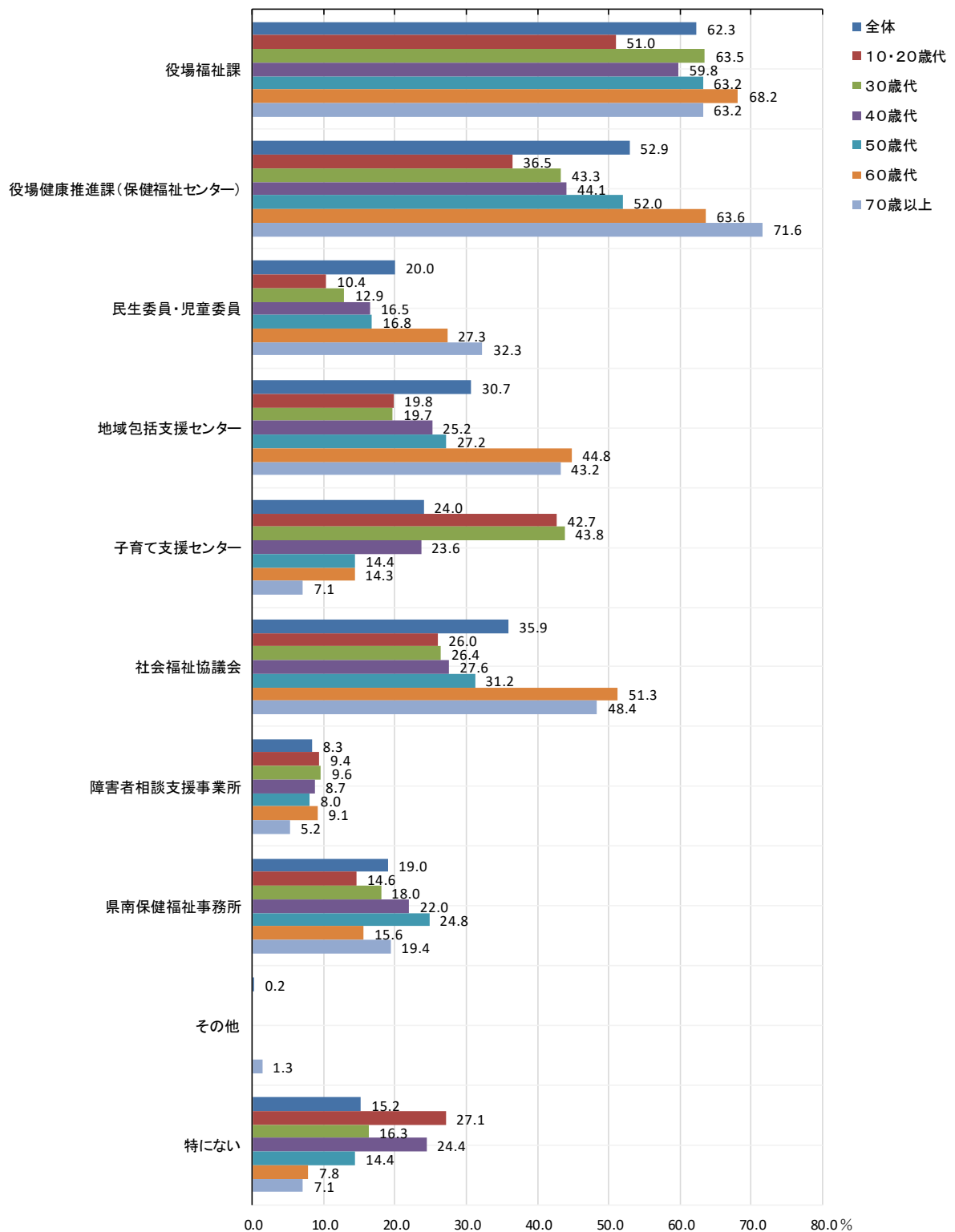


問 40 福祉相談窓口などで知っているものをお答えください。

全体では「役場福祉課」が 62.3%と最も多く、「役場健康推進課（保健福祉センター）」も 52.9%と半数以上が存在を認識している。次いで「社会福祉協議会」が 35.9%、「地域包括支援センター」が 30.7%、「子育て支援センター」が 24.0%とそれぞれ多い。

年代別では「役場福祉課」と回答したのは 60 歳代が 68.2%、「役場健康推進課（保健福祉センター）」と回答したのは 70 歳以上が 71.6%、60 歳代が 63.6%、「社会福祉協議会」と回答したのは 70 歳以上が 48.4%、60 歳代が 51.3%といずれも全体より多い。

問2. 年代×問40. 知っている福祉相談窓口

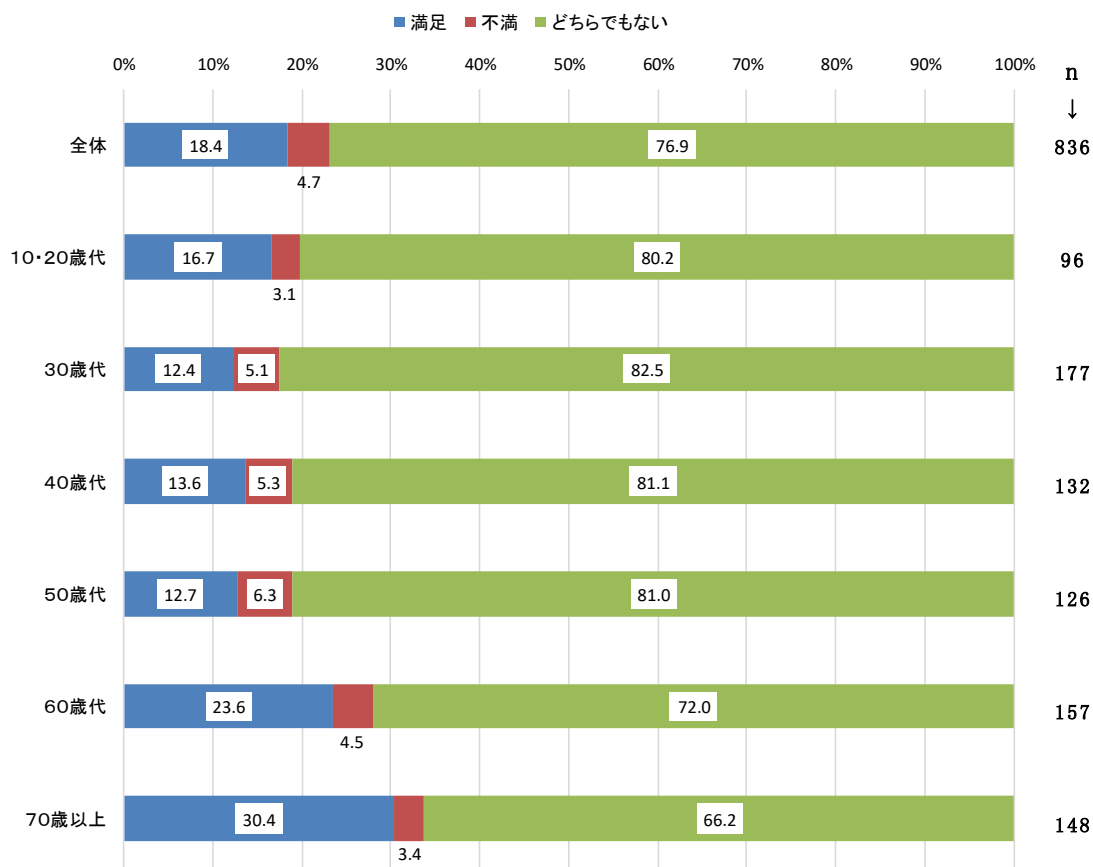


問 41 健康・福祉に関する相談窓口について満足していますか。

全体では「どちらでもない」と回答した人は 76.9%に上る一方、18.4%の人が「満足」、4.7%の人が「不満」を感じている結果となった。

年代別では「満足」と回答したのは 70 歳以上が 30.4%、60 歳代が 23.6%と全体より多い。

問2. 年代×問41. 健康・福祉に関する相談窓口の満足度

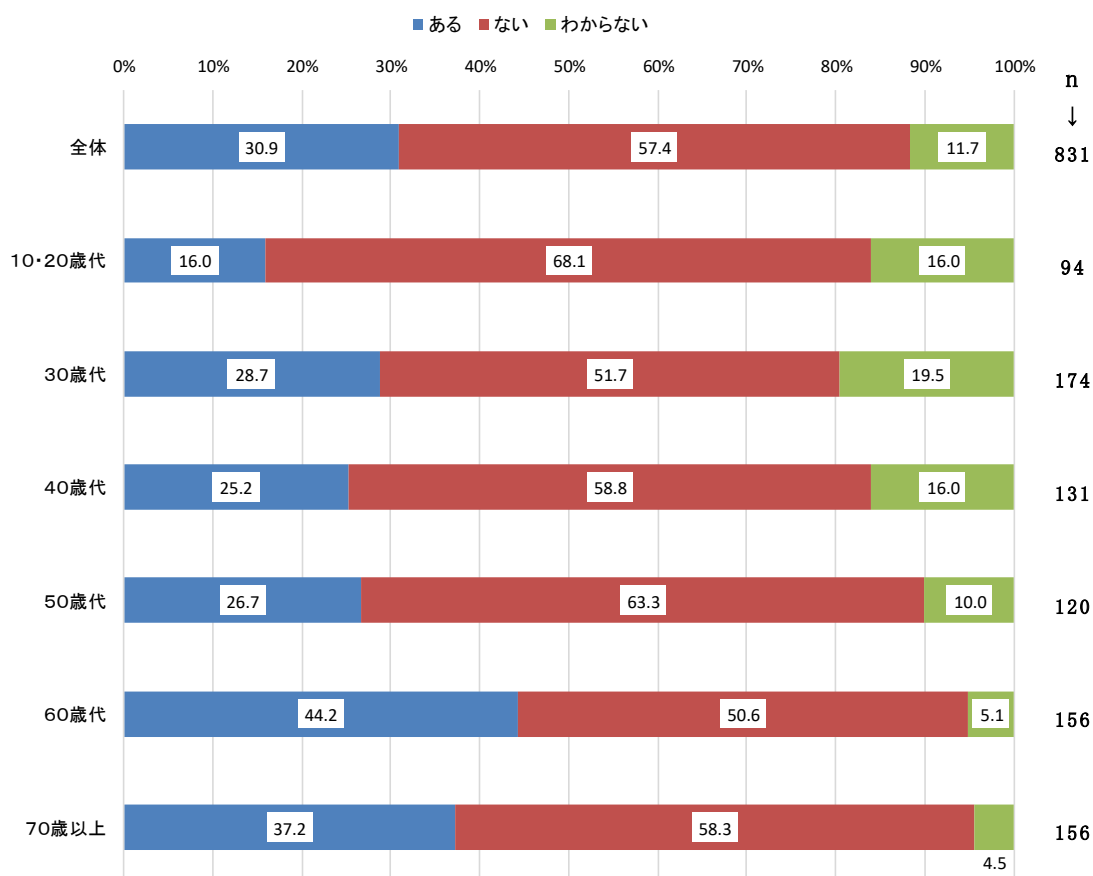


問 42 これまでに、あなたやあなたの家族は西郷村で実施している福祉サービス（高齢者・介護保険・障がい者・児童福祉サービス等）を利用したことがありますか。

全体では「ない」と回答した人が 57.4%と半数以上に上り、「ある」と回答したのは 30.9%だった。

年代別では 60 歳代のうち 44.2%、70 歳以上のうち 37.2%が「ある」と回答した。

問2. 年代×問42. 西郷村福祉サービスの利用経験

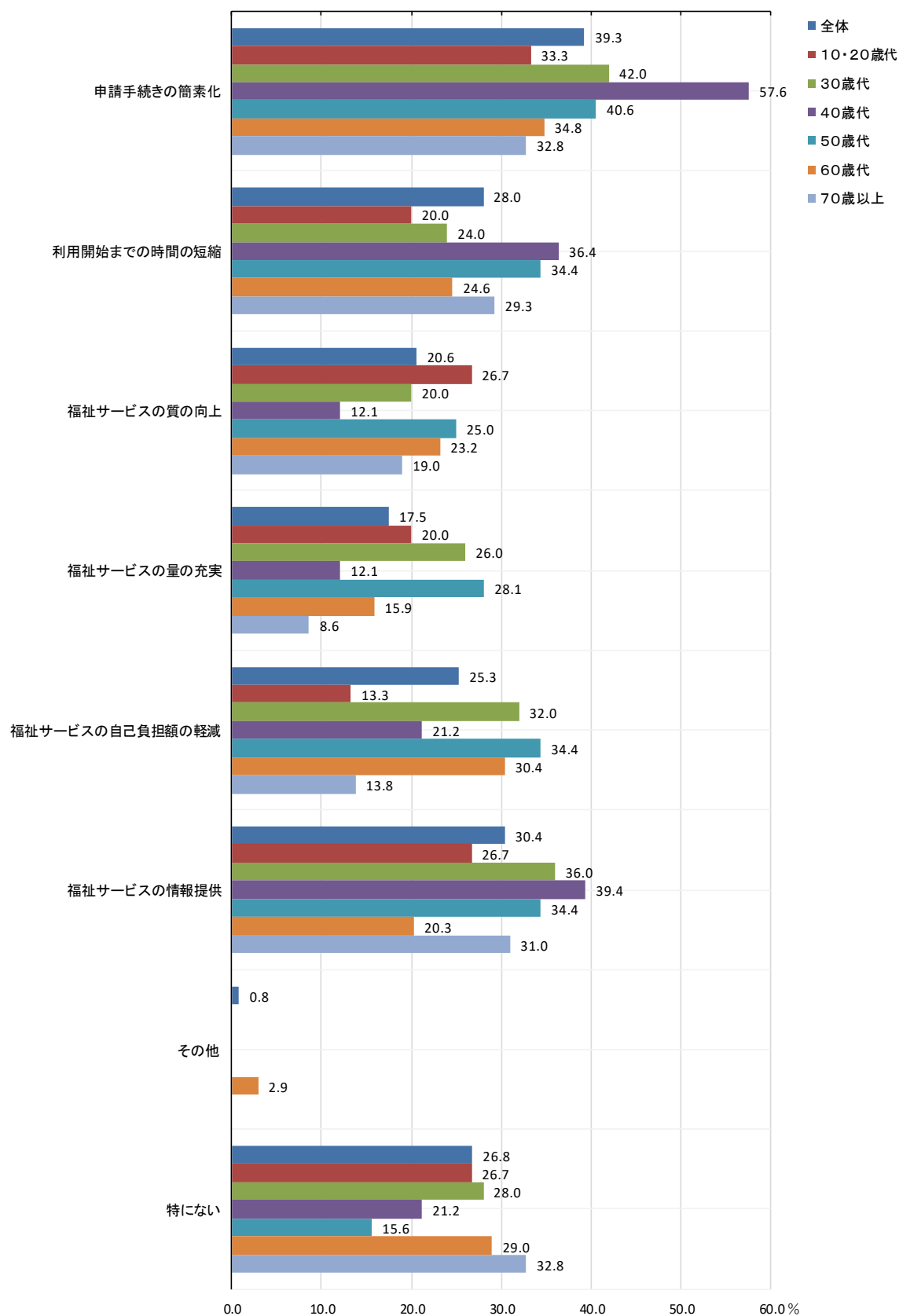


問 42-1【前問で 1. を回答した方】福祉サービスの利用に関して改善してほしいと思うことはありますか。

全体では「申請手続きの簡素化」が 39.3%と最も多く、「福祉サービスの情報提供」「利用開始までの時間の短縮」「福祉サービスの自己負担額の軽減」がそれぞれ 30.4%、28.0%、25.3%と多い傾向にある。

年代別では 40 歳代のうち 57.6%が「申請手続きの簡素化」、39.4%が「福祉サービスの情報提供」、36.4%が「利用開始までの時間の短縮」と回答し、いずれも全体より多い。

問2. 年代×問42-1. 福祉サービスの改善点

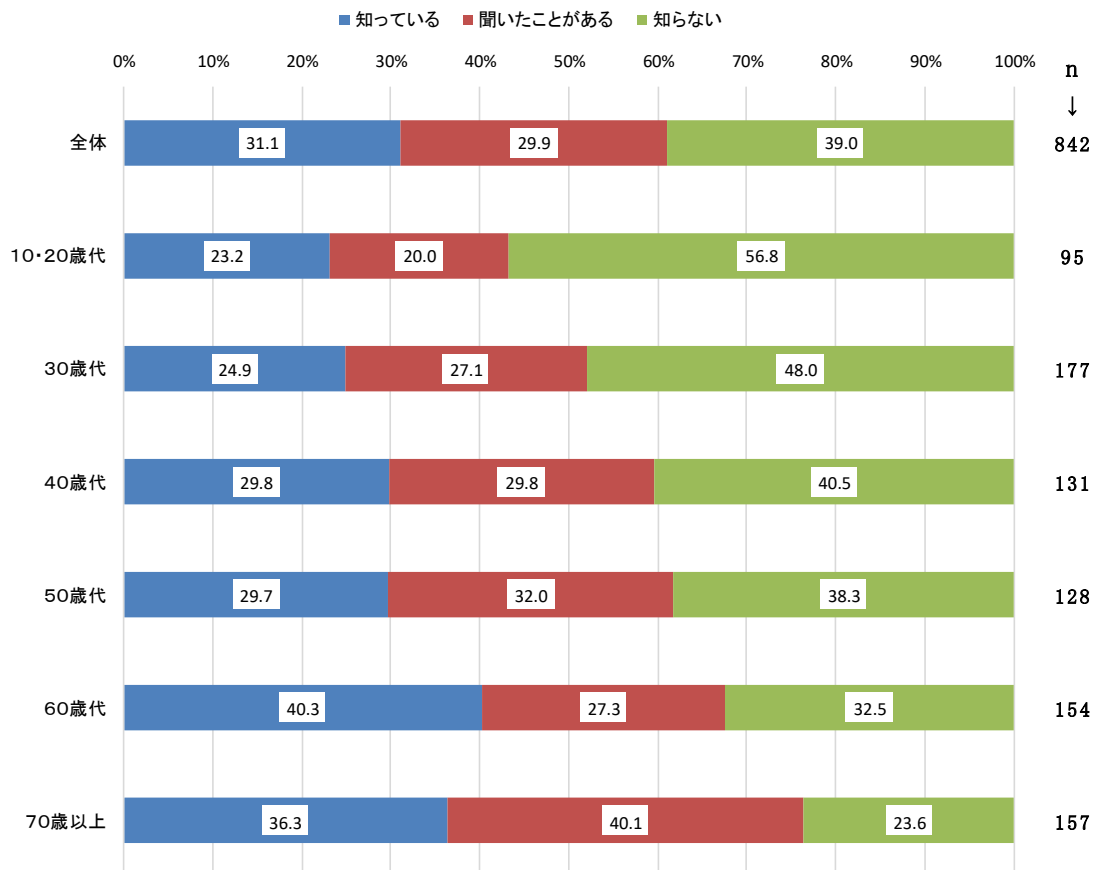


問 43 成年後見制度を知っていますか。

全体では「知っている」が31.3%、「聞いたことがある」が29.9%で、合計で半数以上の人が制度を認知している。一方、39.0%の人が「知らない」と回答した。

年代別では、70 歳以上のうち「知っている」と回答したのは36.3%、「聞いたことがある」と回答したのは40.1%と、いずれも全体より多い。

問2. 年代×問43. 成年後見制度の認知度

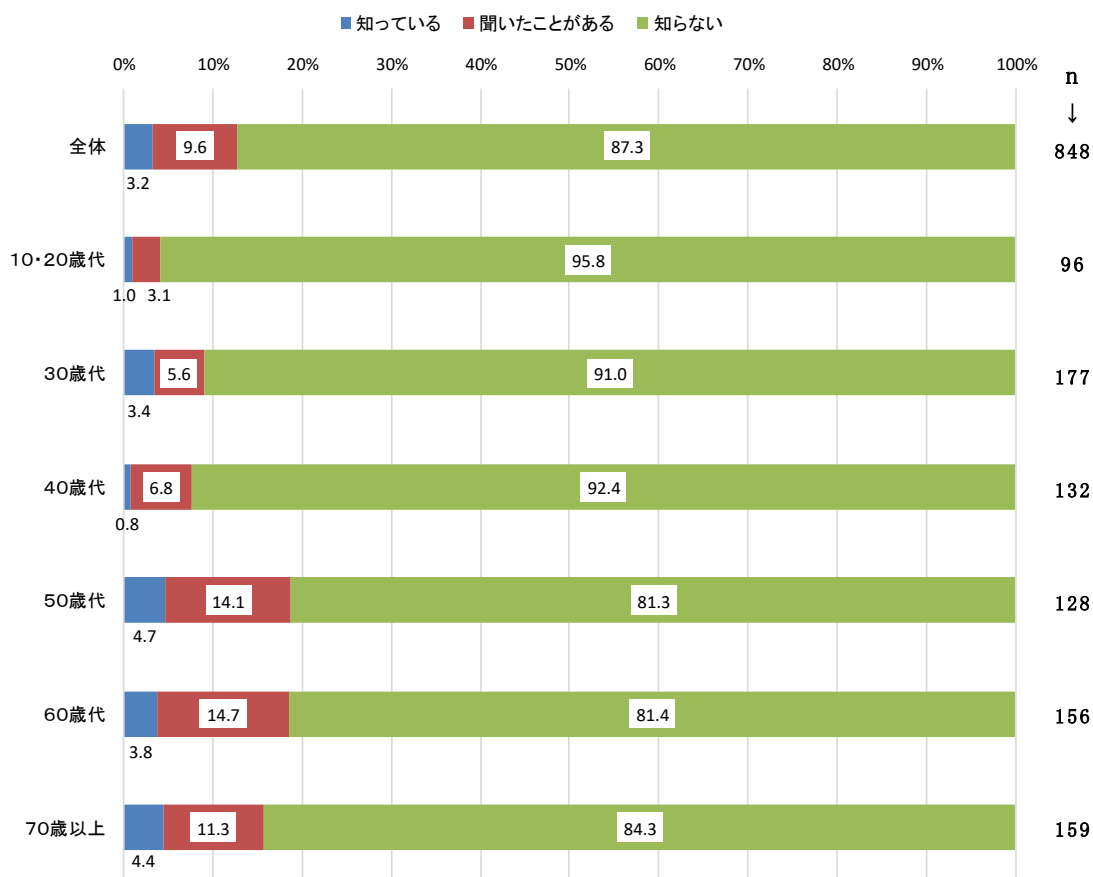


問 44 成年後見制度利用促進のための中核機関「西郷村成年後見支援センター」を知っていますか。

全体では「知らない」が 87.3%と、大多数が機関の存在を認知していない結果となった。「聞いたことがある」は 9.6%、「知っている」は 3.2%に留まる。

年代別では 10・20 歳代のうち 95.8%が「知らない」と回答。「聞いたことがある」と回答したのは 60 歳代が 14.7%と最も多い。

問2. 年代×問44.「西郷村成年後見支援センター」の認知度

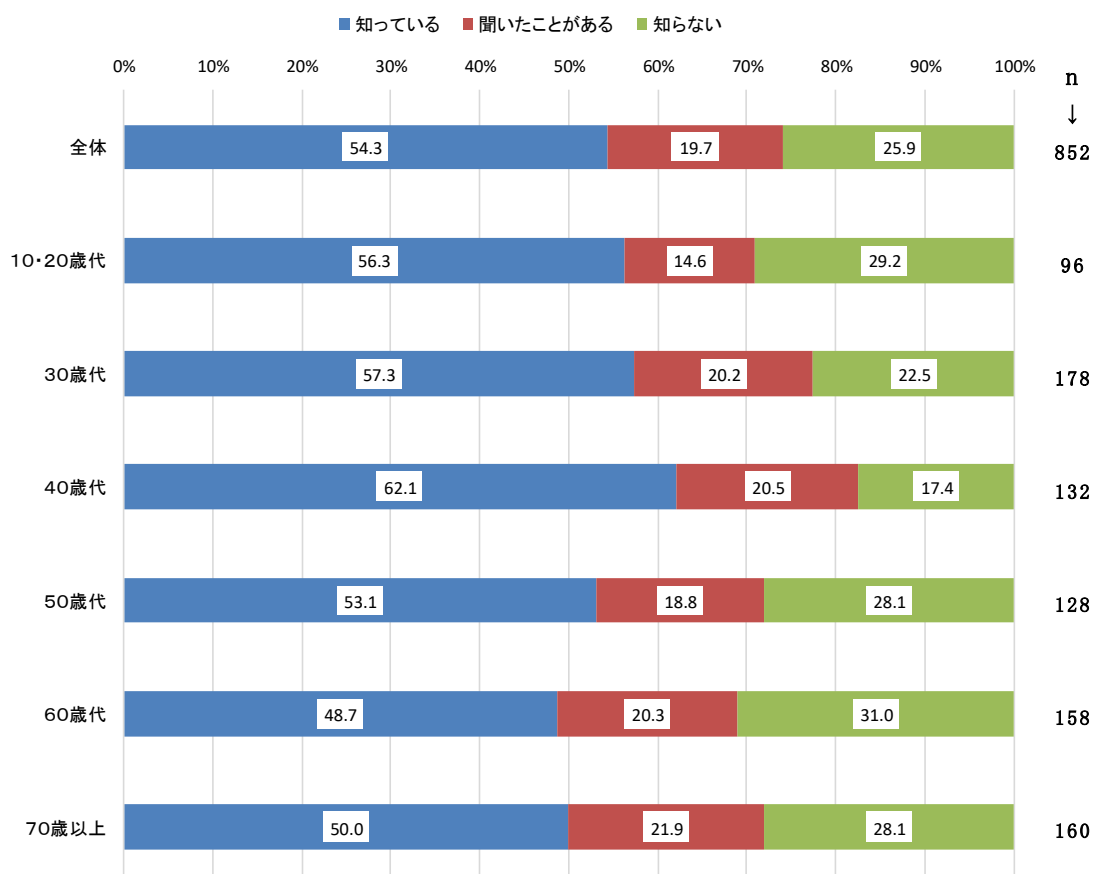


問 45 ヤングケアラーを知っていますか。

全体では「知っている」が 54.3%と最も多く、「聞いたことがある」の 19.7%と合わせ 70%以上の人が認知している。一方、25.9%の人が「知らない」と回答した。

年代別では「知っている」と回答したのは 40 歳代が 62.1%と最も多かった一方、60 歳代のうち 31.0%が「知らない」と回答した。

問2. 年代×問45. ヤングケアラーの認知度

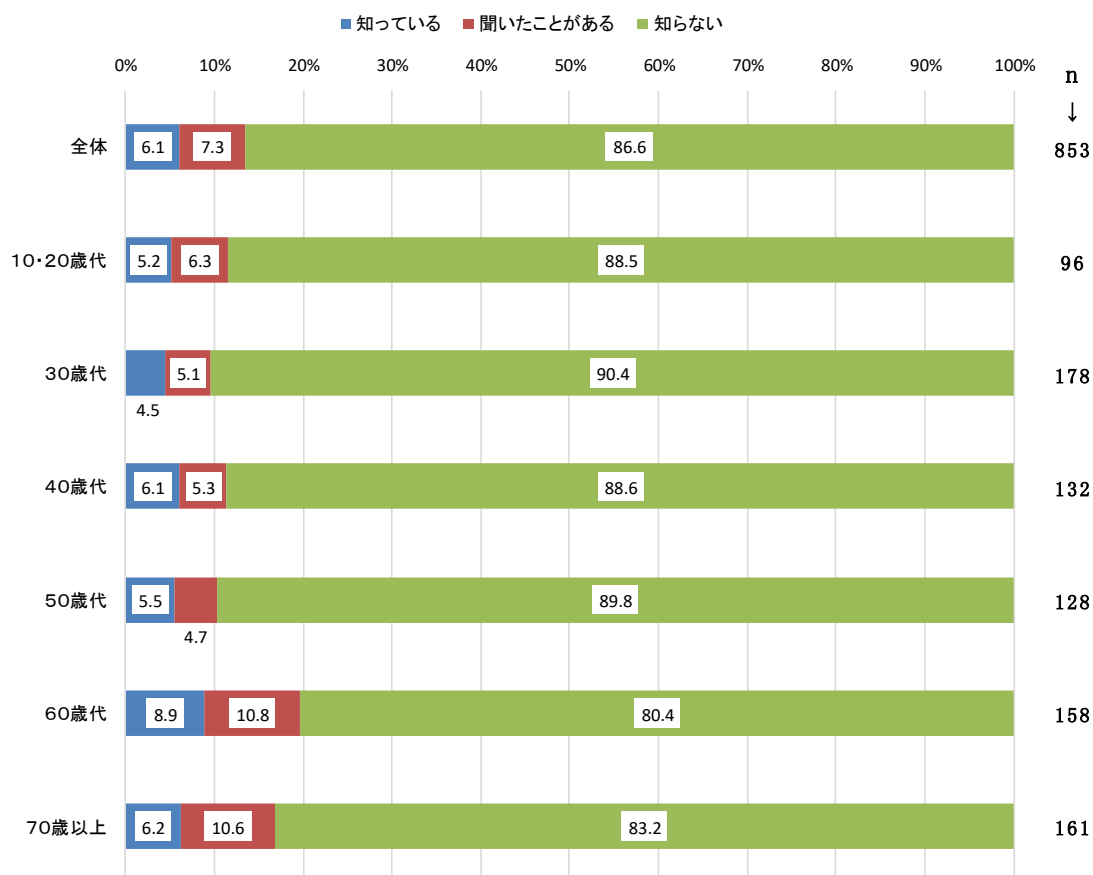


問 46 村では令和5年6月に「西郷村手話言語条例」を制定しましたが、知っていますか。

全体では「知らない」が86.6%と大多数が条例を認知していない結果となった。「聞いたことがある」「知っている」はそれぞれ7.3%、6.1%に留まる。

年代別では「知らない」と回答したのは30歳代が90.4%に上る。

問2. 年代×問46.「西郷村手話言語条例」の認知度

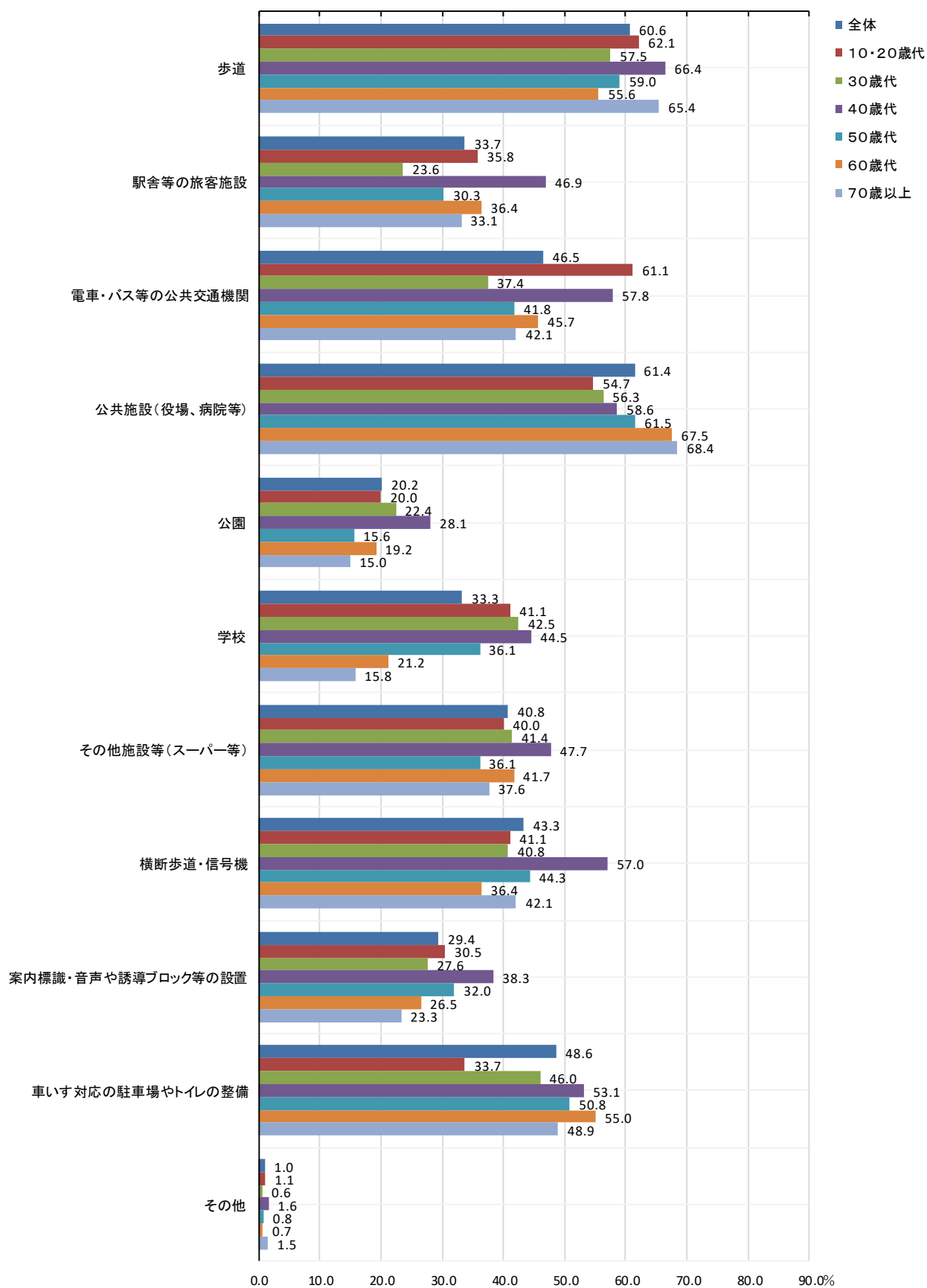


問 47 公共施設、生活関連施設や鉄道等でバリアフリーに配慮した整備を進めています
が、今後バリアフリー化が必要だと思うところはどこですか。

全体では「公共施設（役場、病院等）」が 61.4%と最も多く、「歩道」と回答した人も 60.6%と僅差で多くなっている。次いで「車いす対応の駐車場やトイレの整備」が 48.6%、「電車・バス等の公共交通機関」が 46.5%、「横断歩道・信号機」が 43.3%と続く。

年代別では「公共施設（役場、病院等）」と回答したのは 70 歳以上が 68.4%、60 歳代が 67.5%、「電車・バス等の公共交通機関」と回答したのは 10・20 歳代が 61.1%、40 歳代が 57.8%といずれも全体より多い。

問2. 年代×問47. 今後バリアフリー化が必要だと思うところ

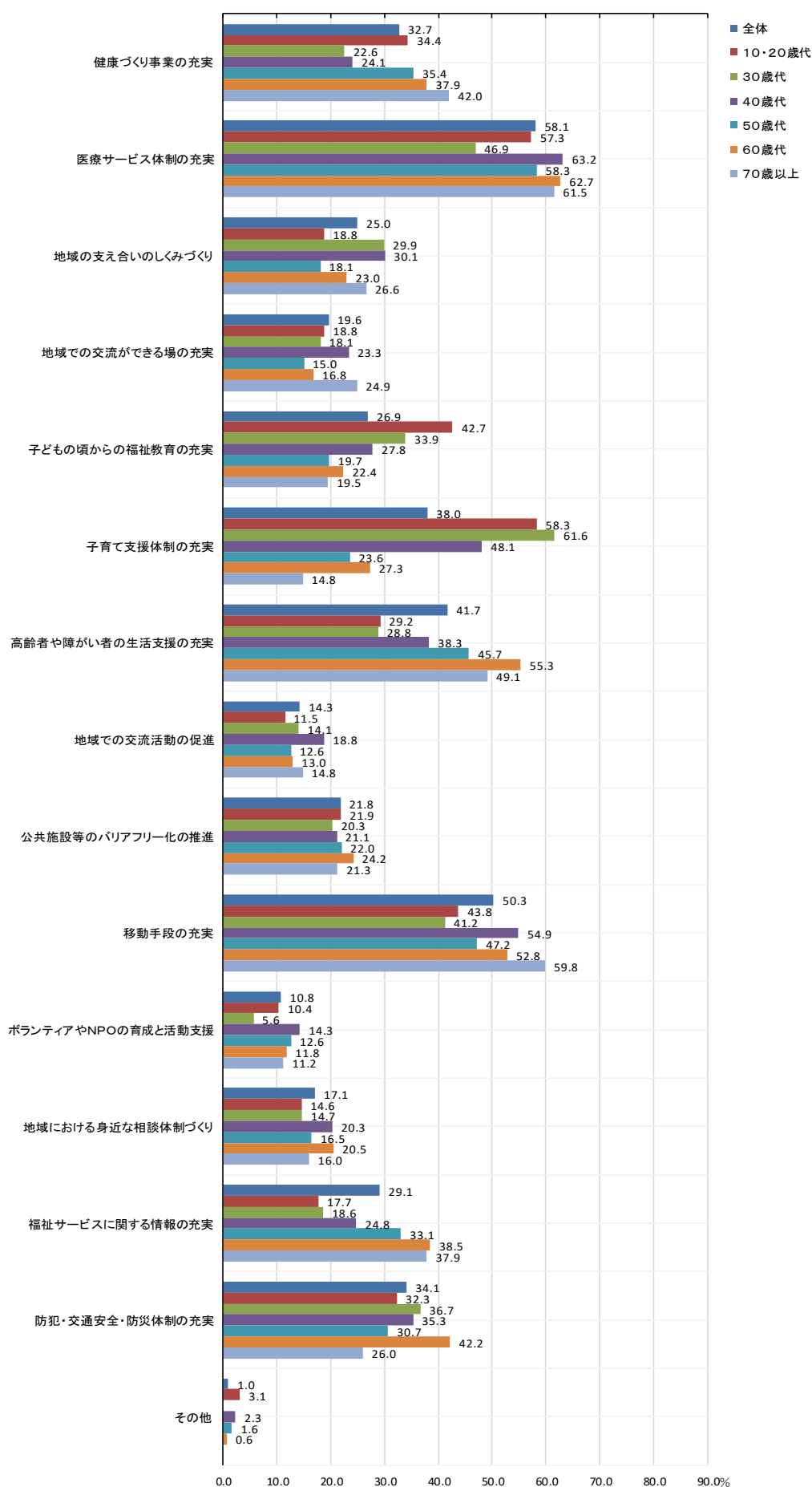


問 48 今後、地域福祉を進めるために、西郷村が取り組んでいくべきと思うことはどのようなことですか。

全体では「医療・サービス体制の充実」が58.1%と最も多く、「移動手段の充実」が50.3%、「高齢者や障がい者の生活支援の充実」が41.7%、「子育て支援体制の充実」が38.0%と続く。

年代別では「医療・サービス体制の充実」と回答したのは40歳代が63.2%、60歳代が62.7%、70歳以上が61.5%といずれも全体より多い。また「子育て支援体制の充実」は30歳代が61.6%、10・20歳代が58.3%と全体より多い傾向にある。

問2. 年代×問48. 地域福祉推進のために今後西郷村が取り組んでいくべきこと



- 西郷村の福祉行政やむらづくりについて、あなたのご意見やご要望を自由にお書きください。

サービスや施設に関する意見が最も多く見られた一方、子育て・高齢者世帯だけではなく広い世帯への支援を求める要望も多かった。

福祉行政・村づくりに関する意見

順位	内容	件数
1位	サービスや施設への希望に関すること	57
	・子どもが気軽に遊べる公園を作してほしい。「キョロロン村」の敷地を有効利用してほしい。 ・免許を返納した高齢者の移動手段の充実化。 ・「ちゃぼランド」のように村民の方々がくつろげる温泉施設がほしい。サウナや岩盤浴など。	
2位	支援体制に関する要望	18
	・子供や高齢者のいない世帯にとっても、西郷村に住んでいて良かったと思える支援がほしい。 ・産後ケアの利便性向上やオムツ無料・ミルクを安く買える券などの子育て支援があるとありがたい。 ・物価高で生活が苦しい。一人一人の生活が少しでも良くなるよう、支援があるとよい。	
3位	地域課題	15
	・ゴミ袋の素材を見直して欲しい。厚さ、丈夫なもの。 ・高齢世帯はいつまで班長や旗当番をやるのか？ 役割をこなせるか不安。 ・住居同士のつながりが薄い。住民同士の仲のよさや声のかけやすさが、村の住みごちや安全につながると思う。	
4位	感謝のこトバ	14
	・西郷村の福祉は大変良いと思います。 ・住みやすく、子育てもしやすく、何かと手厚く助けてくれて、ありがたいです。 ・安心して生活できる事に感謝しております。村長さんはじめ、職員の皆さんありがとうございます。	
5位	行政・議会への要望	12
	・土砂問題などボーっとしないで早く手を打ってほしい。議員の質が良くない。 ・税金は実のあることに使ってほしい。 ・西郷村は以前裕福な村で一番になった気がしますが、村民自体は実感がなく、還元されていないと思います。	